

1640迄 (2503件)

1621年-08:00|インドネシア| |||<即位>ケレスイク・ギリ君主「Panembahan Agung」(~1626年)
1621年-08:00|インドネシア| |||<即位>パンカン君主「Pangeran Mas」(~1624年)
1621年-07:00|ラオス| |||<即位>ランサン王「ウハ・ケヌーパ・ラス」(~1622年死去)
1621年-07:00|ラオス| |||<退位>ランサン王「ウ・ウラウ・オンサ2世」
1621年-03:00|スーダン| |||<即位>ダフル・スルタン国スルタン「アブト・アルファマン・サラフ」(~1653年頃)
1621年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「マリノ・ペーザロ」(~1625年)
1621年-02:00|ギリシャ| |||<就任>カンデリア王国総督「ジェロモ・トロヴァサン」(~1625年陥落)
1621年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Murtaza Pasha Bostanci」(~1622年)
1621年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのパシャ「カデル・パシャ」(4回目~同年)⇒「ムスタファ4世パシャ」(~同年)
1621年-01:00|ドイツ| |||<就任>バーデン＝バーデン辺境伯「ヴィルヘルム」(~16770522死去)
1621年-01:00|ベルギー/フランス| |||<就任>フランドル伯「フィリップ6世」兼ブルゴニュー伯「フェリペ4世」スペイン王(~16650917死去)
1621年-01:00|オランダ| |||スネルが光の屈折法則を発見
1621年-01:00|デンマーク| |||デンマークのイエンス・ムンクが北西航路発見のため北氷洋へ出航
1621年 00:00|カナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールト＝コスト将軍「ゲールト・レック」(~1624年)
1621年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Pedro de Barrionuevo y Melgoza」(~1624年)
1621年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ネリフェ島知事「Rodrigo Alvarez de Bohorques」(~1624年)
1621年 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長代行「アントレ・デ・イアス・ダ・フランカ」(2回目~16220313)
1621年 00:00|イギリス| |||イギリスの重商主義者トマス・マンが「東インド貿易論」を刊
1621年 00:00|セネガル/オランダ| |||オランダが西アフリカのゴレ島に要塞を建設
1621年1月-01:00|オランダ/イギリス/フィリピン| |||イギリスとオランダの連合軍がスペインが支配するマニラ湾を封鎖
1621年1月6日-09:00|日本|神奈川県大和市|元和6年12月14日|<死去>遠江横須賀藩26000石「松平重勝」⇒長男「松平重忠」が嗣ぐ(~元和8(1622)年9月25日、出羽上山4万石へ)
1621年1月10日-08:00|フィリピン| |||フィリピンのカヤン地方で反乱
1621年1月14日-09:00|日本| ||元和6年12月22日|幕府が重ねて人身売買の禁止と罰則などを布告
1621年1月22日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・隆泰4年|<即位>莫朝(大越)第9代皇帝「光祖莫敬寛」(~1638年死去)
1621年1月22日-08:00|中国| ||明・天啓1年1月1日|明・天啓と改元
1621年1月28日-01:00|バチカン| |||<死去>第233代ローマ教皇「パウル5世」/68歳(誕生15520917)
1621年1月28日 00:00|イギリス| |||<就任>パークシャー伯「フランス・ノリス」(~16220131死去)
1621年2月-08:00|インドネシア| |||オランダ東インド会社総督ヤン・ケーン(34)がバング諸島を征服
1621年2月-01:00|オランダ/スペイン| |||<就任>スペイン領ネーデルラント総督「Isabella Clara Eugenia of Austria」(~1631201死去)
1621年2月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのペイレ・イソフメット・パシャ(2回目~12.9)
1621年2月9日-01:00|バチカン| |||<就任>第234代ローマ教皇「グレゴリウス15世」(~16230708)
1621年2月15日-01:00|ドイツ| |||<死去>ミハエル・ブレトリウス、ドイツの作曲家、オルガニスト、音楽理論家(生年1571年)
1621年2月16日-09:00|日本|福岡県北九州市|元和6年閏12月25日|<交替>豊前小倉藩339000石「細川忠興」隠居⇒三男の「細川忠利」が継ぐ(⇒寛永9(1632)年12月、肥後熊本藩54万石に移封)
1621年2月22日-09:00|日本|沖縄県|元和7年|<即位>琉球国王「尚豊」(~16400623死去)
1621年2月22日-09:00|日本|静岡県浜松市|元和7年|<分知廃藩>遠江井伊谷1万5000石「近藤秀用」次男の用可に5千石、孫の貞用に3140石を分知/遠江井伊谷藩は1年で消滅
1621年2月26日-02:00|ラトヴィア/スウェーデン| |||スウェーデンがリガを占領、併合(~16600503)
1621年2月28日-01:00|イタリア| |||<死去>トスカナ大公「コジモ2世・デ・メディチ」
1621年2月28日-01:00|イタリア| |||<即位>トスカナ大公「フェルディナント2世・デ・メディチ」コジモ2世の息子(~16700523死去)
1621年3月3日-09:00|日本|福岡県大牟田市|元和7年1月10日|<加増立藩>常陸柿岡5千石「立花種次」→筑後三池藩1万石(創設⇒寛永7(1630)年3月29日、死去)
1621年3月9日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「オカリ・ヒュセイン・パシャ」(~9.17)
1621年3月14日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニャ副王「(アウグスティン)大統領」パステ・パレージョ(~1621年9月)
1621年3月17日-01:00|バチカン| |||<就任>バチカン國務長官「ルドヴィーコ・ルトヴィージ」(~16230708)
1621年3月21日-09:00|日本|京都府京都市|元和7年1月28日|町焼失
1621年3月22日 06:00|アメリカ| |||プリマス植民地とワムパノアグ族が平和条約を締結
1621年3月29日-09:00|日本|滋賀県大津市|元和7年2月7日|<死去>近江膳所藩3万石「本多康俊」⇒長男「本多俊次」が嗣ぐ(⇒7月三河西尾藩35000石へ)
1621年3月31日-01:00|スペイン/ベルギー/ポルトガル/イタリア/フランス/オランダ/ルクセンブルグ| |||<死去>スペイン国王・サルデーニャ国王「フェリペ3世」・ナポリ王・シチリア王「フィリップ2世」兼アラゴン王・ポルトガル王「フェリペ2世」兼ルクセンブルク公「フィリップ4世」兼ブルゴニュー公「フィリップ6世」兼バルセロナ伯「フェリペ3世」兼ブルゴニュー伯「アルバート」42歳
1621年3月31日-01:00|スペイン/イタリア/ポルトガル/ルクセンブルグ| |||<即位>スペイン国王・サルデーニャ国王兼ナポリ王・シチリア王兼バルセロナ伯「フェリペ4世」兼アラゴン国王・バルセロナ伯「フェリペ3世」兼ルクセンブルク公「フィリップ5世」フェリペ2世とマルガリータ・デ・オーストリアの息子(~16650917死去60歳)兼ポルトガル王「フィリペ3世」(~16401201)
1621年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ベラルデ・イーノ・ベッツイ」「ラッタンツィオ・ヴァッリ」
1621年4月10日-09:00|日本|群馬県高崎市|元和7年2月19日|<高崎大火>四ツ屋町より出火、500軒以上が焼失

1640迄 (2503件)

1621年4月15日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<死去>イギリス領ブラジル植民地総督「ジョン・カーヴァー」
1621年4月21日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ブラジル植民地総督「ウィリアム・ブラッドフォード」(~16330101)
1621年4月22日-09:00|日本| ||元和7年3月|幕府純金粒銀を改鋳
1621年4月22日-08:00|中国| ||金・天命6年3月|ヌルハチが瀋陽・遼陽を陥れ、明軍を遼河以西に駆逐/ヌルハチは都を遼陽に移す
1621年4月28日-09:00|日本| ||元和7年3月7日|<元和7年伊豆、房総半島沖船舶集団遭難>大風が一晩中吹いて房州から豆州沖の海上が大荒れとなり、航行中の船のことごとくを転覆させ数百人が死亡
1621年5月2日 05:00|パナマ/スペイン| |||<死去>パナマ大審問院暫定総督・長官「ファン・デ・ラ・クルス・リバデネイラ」
1621年5月2日 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院暫定総督・長官「ロケ・ト・シヤベス」(~同年)⇒総督・長官「ロドリゴ・ヒペロ・イ・ベラスコ」(~1627年)
1621年5月4日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「アンブロージョ・トリア」(~16210612在職中死去)
1621年5月14日-01:00|イタリア| |||<即位>ウルビーノ公「フェデリコ・ウバルド・デッラ・ローヴェレ」(~16230628死去)
1621年5月15日-01:00|オランダ| |||<死去>ヘンドリック・デ・ケイゼル、オランダの建築家(生年1565年)
1621年5月21日-09:00|日本|京都府京都市|元和7年4月|南禅寺門前・三条油小路などで火事が頻発したため、煙草を厳禁とした
1621年5月24日-01:00|ドイツ| |||ドイツのプロテスタント同盟が白山の戦いで神聖ローマ軍に破れ自己解散
1621年6月1日-05:30|インド/デンマーク| |||<就任>デンマーク領東インド諸島(トランケバル)司令官「ローランド・クラッペ」(~16361109)
1621年6月3日-01:00|オランダ/ガイアナ| |||オランダ、エセキブ植民地を中心にガイアナ地方を実効支配
1621年6月3日-01:00|オランダ| |||オランダ西インド会社が設立される/この結果アメリカ大陸とアフリカ西岸での貿易が独占的に行うことになる
1621年6月10日-09:00|日本|茨城県水戸市|元和7年4月21日|水戸藩初代藩主の徳川頼房が家康を祀るために東照宮創建(茨城県水戸市)
1621年6月12日-01:00|イタリア| |||<死去>ジェノヴァ共和国ドージェ「アンブロージョ・トリア」
1621年6月20日-08:00|中国| ||明・天啓1年5月|宦官の魏忠賢が天啓帝に信任され明の実権を掌握、専権をふるう
1621年6月21日-01:00|チコ| |||<死去>クリストフ・ハント、チコ人の貴族、軍人、テロリスト、文人、音楽家(生年1564年)
1621年6月22日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジョルジョ・セントゥリオーネ」(~16230622)
1621年6月30日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パライム代行「タマス・ゲロ・エルデディ・モニコケレック・エス・モスローイ」(~16220516)
1621年7月6日-08:00|インドネシア/オランダ| |||オランダ総督のジョン・ヒートルズーン・コーエンがバング諸島を占領
1621年7月13日-01:00|ベルギー/フランス/オランダ/ルクセンブルグ| |||<死去>ブラバント公・エノー伯・フランドル伯「アルベール2世」兼ブルゴニュ公「アルベルト7世」兼ルクセンブルク公・アルトリ伯・ベルギー総督「アルベルト」
1621年7月13日-01:00|デンマーク/オランダ/ベルギー/フランス/ルクセンブルグ| |||<即位>ブラバント公「フィリップ5世」兼ルクセンブルク公・エノー伯「フィリップ4世」兼ブルゴニュ公「フィリップ7世」兼フランドル伯「フィリップ6世」兼アルトリ伯「フェリペ8世」兼ブルゴニュ伯「フィリップ8世」イザベラとアルベルトの甥、スペイン王フェリペ4世(~16650917死去)
1621年7月13日-01:00|ベルギー/フランス/オランダ/ルクセンブルグ| |||<退位>ブラバント公・エノー伯・フランドル伯「イザベル1世」兼ブルゴニュ公兼ルクセンブルク公・アルトリ伯「イザベラ・クラウユージニア」
1621年7月14日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Juan Tribino Guillamas」(~16230410死去)
1621年7月21日-01:00|チコ| |||ブラバ旧市街広場において27名の指導者が処刑される
1621年7月23日-09:00|日本|香川県高松市|元和7年6月5日|<死去>讃岐高松171800石「生駒正俊」⇒「生駒高俊」が継ぐ(寛永17(1640)年7月26日、生駒騒動により出羽矢島藩1万石に転封)
1621年7月30日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・ツェルプスト侯「Rudolph」
1621年7月30日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・ツェルプスト侯「Johann6世」(~16670704死去)
1621年8月5日-09:00|日本|愛知県名古屋市|元和7年6月18日|<改名>尾張名古屋藩56万3206石「徳川義俊」⇒「徳川義直」(⇒慶安3年5月7日(16500605)死去)
1621年8月16日-09:00|日本|群馬県高崎市|元和7年6月29日|<死去>上野高崎藩56000石(老中)「安藤重信」⇒家督を養子「安藤重長」が継ぐ(⇒明暦3年9月29日(16571105)死去)
1621年8月18日-09:00|日本|愛知県西尾市|元和7年7月|<移封>近江膳所藩3万石「本多俊次」⇒三河西尾藩35000石(⇒寛永13(1636)年6月23日、伊勢亀山5万石に加増移封)
1621年8月18日-09:00|日本|京都府亀岡市|元和7年7月|<加増移封>三河西尾藩2万石「松平成重」⇒丹波亀山藩22200石(⇒寛永10(1633)年9月16日、死去)
1621年9月-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「ジョアン・コレイア」(~1623年)
1621年9月1日 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>スペインのポルトガル副王「政府ジュンタ(代表:コインブラ司教、マティム・アフォンソ・メシア・デ・トバー)」(~16230830)
1621年9月10日 00:00|イギリス/カナダ| |||スコットランド貴族アレクサンダー・ガバラスコシアを付与される
1621年9月12日-01:00|フランス| |||南フランスの空に出来た自然現象をオーロと名付ける
1621年9月12日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニャ副王「ゲルヴェス侯爵・プリエゴ伯爵デ・エスコ・カリジョ・デ・メントーサ・イ・ビメンテル」(~16240115)
1621年9月13日-09:00|日本| ||元和7年7月27日|幕府が、九州の諸大名に命じ、日本人の外国船での渡航・武器輸出入・外国人への日本人売り渡しを禁じる

1640迄 (2503件)

1621年9月16日-09:00|日本| ||元和7年8月|西国諸大名に難破・漂着船救助についての法度を出し、諸港に立札
1621年9月16日-09:00|日本|京都府福知山市|元和7年8月|<加増移封>丹波亀山藩32000石「岡部長盛」⇒丹波福知
山藩5万石(⇒寛永元(1624)年12月20日、美濃大垣藩5万石へ移封)
1621年9月16日-09:00|日本|滋賀県大津市|元和7年8月|<加増移封>伊勢長島藩2万石「菅沼定芳」⇒近江膳所藩3万
1100石(⇒寛永11(1634)年10月、丹波亀山藩41000石へ)
1621年9月17日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「デ・イラウ・エル・パ・シャ」(~16220520)
1621年9月20日-01:00|フランス| ||<死去>メヌ伯「ヘンリー」
1621年9月20日-01:00|フランス| ||<就任>メヌ伯「シャル7世」(~16310830死去)
1621年9月25日-01:00|スウェーデン| ||スウェーデン王グスタフ2世アドルフが、バルト海沿岸の要衝リガを攻略
1621年9月26日-02:00|ラトビア/スウェーデン| ||リガ市がスウェーデン軍に降伏
1621年9月29日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド王国大蔵卿兼主席アトバ・イザー「クランフィールド男爵・ミッドルセックス伯ライオ
ル・クランフィールド」(~16240514)
1621年10月-01:00|ポズナニ・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ポズナニ総督「ハ・イラム・パ・シャ」(1回目~1622年6月)
1621年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョ・アント・レア・ベルツィ」「ファブ・リツィオ・ベルツィ」
1621年10月9日-01:00|ポーランド/トルコ/リトアニア| ||ポーランド・リトアニア共和国軍とトルコ軍がホルムで会戦
1621年10月11日 03:00|ブラジル/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「デ・イゴ・デ・メントンサ・フルタド」(~1624051
0、オランダの捕虜となる~1626年)
1621年10月15日-02:00|ルーマニア| ||<就任>モルダヴィア総督「シュテファン・トムサ」(2回目~1623年8月)
1621年10月15日-08:00|中国| ||明・天啓1年9月|明で四川永寧の土司奢崇明が反乱をおこす
1621年10月15日-09:00|日本/タイ|東京都千代田区|元和7年9月1日|徳川秀忠がシャム国使節と会見し、通商を許可
1621年10月16日-01:00|オランダ| ||<死去>ヤン・ピーテルスゾーン・スウェーリク、オランダの作曲家、オルガニスト(生年1562年)
1621年10月21日 04:00|パラグアイ/スペイン| ||<就任>パラグアイ総督「マヌエル・デ・フリアス」(~1627年没)
1621年10月26日 00:00|サントメ・プリンシパ/ポルトガル| ||<死去>サントメ植民地総督「Frei Pedro da Cunha Lobo」
1621年10月26日 00:00|サントメ・プリンシパ/ポルトガル| ||<就任>サントメ植民地総督「Felix Pereira」(~1623.5)
1621年11月-08:00|フィリピン| ||フィリピンのカヤン地方で反乱
1621年11月 04:00|チリ/スペイン| ||<就任>チリ総督「ペドロ・オソリス・デ・ウジヨア」(~16240907没)
1621年11月6日-01:00|ポーランド/ウクライナ/リトアニア| ||ポーランド・リトアニア共和国軍とトルコ軍がホルムで会戦し、講和
1621年11月29日-01:00|ベルギー/スペイン| ||<就任>ベルギー総督「アイト侯爵フアンスコ・デ・モンカダ」(⇒1633年、暫定総督~
1634年)
1621年12月 00:00|イギリス| ||7年ぶりに開かれた議会在が、ジェームズ1世の外交と財政政策を厳しく批判
1621年12月9日-01:00|ハンガリー/トルコ| ||<就任>ブダペストのペイルベイ「ケン・パ・シャ」(~1622年2月)
1621年12月13日-09:00|日本| ||元和7年11月|<転封>遠江横須賀「松平重忠」⇒出羽上山藩4万石(⇒寛永3年7月1
日死去)
1621年12月13日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|元和7年11月|<創建>紀州東照宮(和歌山県和歌山市)
1621年12月24日-09:00|日本|和歌山県新宮市|元和7年11月12日|<死去>紀伊新宮藩35000石(紀州藩附家老)「水野
重仲(重央)」⇒元和9(1623)年6月、長男「水野重良」が継ぐ(⇒万治元(1658)年9月25日、隠居)
1621年12月31日 05:00|ペルー/スペイン| ||<就任>ペルー副王「Juan Jimenez de Montalvo」(~16220725)
1622年-07:00|ラオス| ||<死去>ランサン王「ウバ・クヌーバース」
1622年-07:00|ラオス| ||<即位>ランサン王「フォティサラス2世」(~1627年死去)
1622年-05:30|インド/オランダ| ||<就任>オランダ領インド総督「アブラハム・ファン・ウフェレン」(~1624年)
1622年-05:30|スリランカ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領セイロン総督「ルイス・アルバ・カーキ」(~1623年)
1622年-05:30|インド| ||シャージャハーンがこのころからジャハングールに反逆
1622年-05:00|カザフスタン| ||<即位>ノガイ・オルタ・ハーン「Kanai Khan」(~1634年)
1622年-03:00|イェメン/トルコ| ||<就任>オスマン帝国サ総督「Fazli Pasha」(~1624年)
1622年-02:00|エストニア/スウェーデン| ||<就任>スウェーデン・エストニア総督「パー・グスタフソン・パネル」(~1626年)
1622年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Mehmed Pasha Rushand」(~1623年)
1622年-02:00|トルコ| ||オスマン朝でアバザ・メフメト・パシャが反乱
1622年-01:00|スペイン| ||<死去>ペラガア公「ヌニョ・アルバ・レス・ペレイラ・ゴン・デ・ポルトガル」
1622年-01:00|アルジェリア/トルコ| ||<就任>アルジェのパシャ「フスルフ・パシャ」(~同年)
1622年-01:00|ポーランド| ||<就任>ポーランド公「トランシルヴァニア公ベトレン・カール」(~1625年)
1622年-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領メリダ総督「Francisco Ruiz」(~1624年)
1622年-01:00|ドイツ| ||<就任>バーテン・ドゥルラハ辺境伯「フリートリヒ5世」(~16590908死去)
1622年-01:00|ドイツ| ||<就任>ヘッセン＝ホンブルク方伯「フリートリヒ1世」ヘッセン＝ダルムシュタット方伯ゲオルク1世の三男(~16380509
死去)
1622年-01:00|スペイン| ||<就任>ペラガア公「アルバ・ロ・ゴン・デ・ポルトガル・イ・エスピノサ」先代の子(~1636年没)
1622年 04:00|チリ| ||フリートンは手兵800を率いサンチアゴを略奪
1622年 04:00|ボリビア| ||ボトシ銀山でスペイン人精錬業者の内紛がおこる
1622年 05:00|キューバ| ||イギリス人海賊のハバナ襲撃攻略には失敗
1622年 06:00|ニカラガア/スペイン| ||<就任>ニカラガア総督「クリストバル・デ・ビジャグラン」(~同年)⇒「アロンソ・ラソ・デ・ラ・ベガ」(~
1623年)
1622年1月1日 05:00|ペルー/スペイン| ||<就任>ペルー副王「(アデ・イェンシア大統領)ファン・ヒメネス・デ・モンタルヴォ」(~7.25)
1622年1月7日-01:00|ドイツ/ルーマニア| ||皇帝フェルディナント2世が、トランシルヴァニア公ベトレンと和約する(ニコルスブルクの講和)

1640迄 (2503件)

1622年1月12日-08:00|中国/朝鮮| ||金・天命6年12月|後金軍が朝鮮の西北地方に侵入
1622年1月17日-01:00|ドイツ| ||<死去>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン＝ビッセンブルク伯「エルスト」
1622年1月17日-01:00|ドイツ| ||<就任>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン＝ビッセンブルク伯「ヨーブ・スト・ヘルマン」(~16351105死去)
1622年1月24日-09:00|日本| ||元和7年12月13日|<死去>織田長益(生年1547年)大名・茶人、織田信長の実弟
1622年1月24日-09:00|日本|大阪府摂津市|元和7年12月13日|<死去改易>摂津味舌藩1万石「織田有楽斎長益」75歳、無嗣廃絶
1622年1月25日-01:00|スウェーデン| ||<死去>セーデルマンランド公「カール・フリッパ」
1622年1月31日 00:00|イギリス| ||<死去>パークシャー伯「フランス・ノリス」
1622年2月-01:00|ハンガリー/トルコ| ||<就任>プダのベイレハ「スフィー・メフメット・パシャ」(3回目~10.14)
1622年2月4日-09:00|日本|愛知県岡崎市|元和7年12月24日|狩野探幽が山王社歌仙を描く
1622年2月10日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・隆泰5年|<即位>パントウランガ王「Po Klong M'hnai」(~1627年死去)
1622年2月10日-08:00|中国| ||金・天命7年・明・天啓2年1月|後金と明が広寧で戦い、明軍が大敗
1622年2月11日-09:00|日本|茨城県つくば市|元和8年|<拝領>常陸玉取藩1万石「堀利重」(⇒寛永10(1633)年、4000石加増され14000石)
1622年2月11日-09:00|日本|滋賀県彦根市|元和8年|井伊直継が彦根城築城(金亀城)/滋賀県
1622年2月11日-09:00|日本|滋賀県蒲生郡日野町|元和8年1月|<分与>近江仁正寺藩2万石「市橋長政」が「市橋長吉」に2000石⇒18000石(⇒慶安元(1648)年2月11日死去)
1622年2月21日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|元和8年1月11日|<加増移封>常陸江戸崎藩2万石「丹羽長重」⇒陸奥棚倉藩5万石(⇒寛永4(1627)年2月10日、陸奥白河藩100700石に加増移封)
1622年3月5日-01:00|イタリア| ||<即位>パルマ公(ファルネーゼ家)オットーアルド1世(~16460911死去34歳)
1622年3月13日 00:00|モロッコ| ||<就任>タンジール首長「モタルガ・アン侯爵ルハ・デ・マスカレンニャス」(~1624年7月)
1622年3月21日-09:00|日本| ||元和8年2月10日|幕府が喧嘩争論・火事場への弥次馬を禁止・撰銭、駅伝、火災などの規則を出す
1622年3月22日 06:00|アメリカ| ||「ヴァージニア」のイギリス植民地で、ホーハトン族のインディアンが一斉蜂起して、植民者347人が殺害される
1622年3月29日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|元和8年2月18日|<死去改易>下野烏山藩1万石「成田氏宗」無嗣
1622年4月-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ヒューバー・メフメット・パシャ」(~75日後に解雇)⇒「シラフタル・イブラヒム・パシャ」(~1623年、解雇)
1622年4月-01:00|チエリ| ||プロテスタント軍はウイスルでティエリの軍をうちやぶったが、その後の戦いで連敗
1622年4月 06:00|アメリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領ウェサット植民地総督「リチャード・グリーン」(~1622.10死去)
1622年4月1日-01:00|サマリノ| ||<就任>サマリノ共和国執政「ジローモ・ゴジ」|「ピエール・マリノ・リッチ」
1622年4月13日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| ||<就任>カーボベルデ総督「ロム」(~9.12没)
1622年4月26日-09:00|日本|京都府京都市|元和8年3月16日|<死去>灰屋紹由(85)/紺灰座を支配した京都有数の豪商で連歌・茶道・蹴鞠などに造詣が深かった
1622年5月3日-03:30|イラン/ポルトガル| ||サファビ朝がポルトガルからホルムズを奪還
1622年5月4日-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| ||<死去>コンゴ王国マニコンゴ「アルヴァロ3世ニミ・ア・ムハ・ンズ」
1622年5月4日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド副卿代行判事「パワーズ・コート子爵リチャード・ウینگフィールド」(2回目~9.8)
1622年5月10日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド副卿代行判事「イーリーのロフタス子爵アダム・ロフタス」(1回目~9.8)
1622年5月14日-06:30|ミャンマー| ||<即位>ムラウケー国王「シリ・サマ」(~16380529)
1622年5月16日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国パラタイン「スタニスロー・ゲロ・トゥルグ・ベスレンファルグイ」(~16250501没)
1622年5月18日-02:00|トルコ| ||オスマン朝で、常備歩兵軍団イエニチェリらが反乱を起こし、オスマン2世を退位させる
1622年5月19日-02:00|トルコ| ||<廢位>オスマン帝国第16代スルタン「オスマン2世」翌日カラ・ダウト・パシャに殺される
1622年5月19日-02:00|トルコ| ||<復位>オスマン帝国第(15)代スルタン「ムスタファ1世」(~16230910廢位)16390120死去
1622年5月20日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「カラ・ダウト・パシャ」(~6.13)
1622年5月26日-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| ||<即位>コンゴ王国マニコンゴ「ヒョートル2世・ソカン・ムギヤ」(~16240403没)
1622年6月-01:00|ホスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ホスニア総督「サロシュ・イブラヒム・パシャ」(~9月)
1622年6月9日-08:00|中国| ||明・天啓2年5月|河北・山東で徐鴻儒の白蓮教徒の乱がおこる
1622年6月13日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「メレ・ヒュセイン・パシャ」(1期目~7.8)
1622年6月16日 00:00|イギリス| ||<死去>スコットランド大法官「タンフェルムライン伯アレクサンダー・セトン」
1622年7月-01:00|クアアチ| ||<就任>クアアチ・タルマチのバン「ジュラジ5世シュビッチ・ゲロ・スリンスキ」(~16261218没)
1622年7月-01:00|オランダ/台湾| ||オランダが澎湖諸島を占領
1622年7月3日 00:00|イギリス| ||<就任>スコットランド大法官「ジョージ・ヘイ卿」(⇒16270504, タップリン子爵⇒16330525, キーナル伯) (~16340114死去)
1622年7月8日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「レフケリ・ムスタファ・パシャ」(~9.21)
1622年7月23日-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレクサ・ワリス(総督)「Tayyar Mehmed Pasha」(~1623年)
1622年7月25日 05:00|ペルー/スペイン| ||<就任>ペルー副王「グアダスカサル侯爵デ・イコ・フェルナンデス・デ・コルトバ・イ・ロペス・デ・ラス・ロエラス・ベネデクス・イ・メルカレホ」(~16290114)
1622年8月7日-09:00|日本|宮城県仙台市|元和8年7月1日|太平洋横断という偉業を成し遂げた支倉常長は失意の

1640迄 (2503件)

うちひっそりと死去

1622年8月8日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「ウルヘル司教ルイ・デ・イエス・オクス・ド・アルメンダリッツ」(~16270103)

1622年8月19日-09:00|日本|島根県出雲市|元和8年7月13日|<死去>出雲の阿国(75)

1622年8月19日-09:00|日本|長崎県長崎市|元和8年7月13日|貿易業者の平山常陳、ドミニコ会士ズニガ・フォルスら15人が長崎で処刑される(平山常陳事件)

1622年9月-01:00|ポスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポスニア総督「バイルム・パシャ」(2回目~1623年10月)

1622年9月6日-09:00|日本|滋賀県|元和8年8月|<相続>近江国野洲藩2万石「田中吉官」(⇒元和9年9月18日(16231110)徐封)

1622年9月6日-09:00|日本|山梨県甲府市|元和8年8月|<加増>甲斐甲府藩18万石「徳川忠長」→25万石(⇒寛永元(1624)年7月、駿河府中藩55万石へ加増移封)

1622年9月8日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「フォーグラント子爵ヘンリー・ケアリー」(~16291026)

1622年9月10日-09:00|日本| ||元和8年8月5日|幕府が大名の転封について法度を出す

1622年9月10日-09:00|日本|長崎県長崎市|元和8年8月5日|イタリア人イエス会司祭、カル・スピノらが外人宣教師9人、日本人宣教師・武士・一般信徒46人とともに長崎立山で処刑される(元和大殉教)

1622年9月12日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<死去>カーボベルデ総督「ロム」

1622年9月12日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「マヌエル・アフォンソ・デ・ゲラウ司教+商工会議所上院」(~16240308没)

1622年9月12日-09:00|日本|長崎県長崎市|元和8年8月7日|籠手田がスパースらドミニコ第3会員、長崎で殉教

1622年9月13日 00:00|イギリス| |||<就任>カーライル伯「ジェームズ・ヘイ」(~1636.3死去)

1622年9月14日-01:00|マルタ| |||<死去>マルタ騎士団総長「アロフ・デ・ウイグナール」

1622年9月14日 00:00|イギリス| |||<就任>デンビー伯「ウィリアム・Feilding」(~16430408死去)

1622年9月16日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「ペドロ・デ・ウレア・カマサ」(~17日)

1622年9月17日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「ルイス・メンデス・デ・ウアスコヤロス」(~16230307没)

1622年9月17日-09:00|日本|京都府京丹後市|元和8年8月12日|<拝領>丹後峰山藩13000石「京極高通」(朽木宣綱の次男、京極高知の養子⇒寛文5年12月14日(16660119)死去)

1622年9月17日-09:00|日本|京都府舞鶴市|元和8年8月12日|<拝領>丹後田辺藩35000石「京極高三」(京極高知の3男⇒寛永13(1636)年9月13日、死去)

1622年9月17日-09:00|日本|京都府宮津市|元和8年8月12日|<死去>丹後宮津藩12万3千石「京極高知」⇒「京極高広」が継ぐ(4万4800石を分知し7万8200石⇒承応3(1654)年4月23日、隠居)

1622年9月21日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ハデ・イム・メフメト・パシャ」(~16230205)

1622年9月25日-09:00|日本| ||元和8年8月20日|幕府新寺の建立を禁ず

1622年9月26日-09:00|日本|滋賀県東近江市|元和8年8月21日|<改易移封>出羽山形藩57万石「最上義俊」家督相続をめぐる家中騒動で⇒近江大森藩1万石(⇒寛永8年11月22日(16320113)死去、継嗣が幼児のため所領半減、旗本に降格)

1622年9月26日-09:00|日本|山形県鶴岡市|元和8年8月21日|<加増移封>信濃松代藩10万石「酒井忠勝」⇒出羽庄内藩13万8000石(⇒正保4年10月17日(16471113)死去)

1622年10月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<死去>イギリス領ウェサット植民地総督「リチャード・グリーン」

1622年10月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ウェサット植民地総督「ジョン・サントース」(~1623.3)

1622年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「アンニバル・ベルツツイ」「マリノ・ベルツツイ」

1622年10月14日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのバイルバエ「テリタルム・イシュパシャ」(~同月)

1622年10月18日-01:00|フランス| |||フランス南部のモンペリエで「モンペリエ協定」が結ばれる/武装したユグノーの都市は、フランス西部のラ・ロシェル(ポワトゥー=シャラント地域圏)とフランス南部のモン・パン(ミディ=ピレネー地域圏)の2つに滅らされる

1622年10月25日-08:00|中国| |||中国・寧夏省で地震(M7)死者1万2千人

1622年10月25日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領バミューダ総督代理「ジョン・ハリソン」(1期目~同年)

1622年10月28日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス総督「Francisco Henriques」(~16240623死去)

1622年10月28日-09:00|日本|茨城県水戸市|元和8年9月24日|<加増>常陸水戸藩25万石「徳川頼房」+松岡・小川3万石⇒28万石(⇒寛文元年7月29日(16610823)死去)

1622年10月29日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|元和8年9月25日|<拝領>遠江横須賀52500石「井上正就」(⇒寛永5(1628)年8月10日殺害される)

1622年10月29日-09:00|日本|長野県上田市|元和8年9月25日|<移封>信濃小諸藩57000石「仙石忠政」⇒信濃上田藩6万石(⇒寛永5(1628)年4月20日、死去)

1622年10月29日-09:00|日本|山形県上山市|元和8年9月25日|<加増移封>遠江横須賀藩26000石「松平重忠」⇒出羽上山藩4万石(⇒寛永3(1626)年7月1日、死去)

1622年10月29日-09:00|日本|山形県新庄市|元和8年9月25日|<加増移封>常陸松岡藩4万石「戸沢政盛」⇒出羽新庄藩6万石(⇒寛永2(1625)年、68200石に高直し)

1622年10月29日-09:00|日本|山形県鶴岡市|元和8年9月25日|<立藩>出羽左沢藩1万2000石「酒井直次」(~寛永7(1630)年3月10日死去無嗣断絶)

1622年10月29日-09:00|日本|山形県山形市|元和8年9月25日|<加増移封>陸奥磐城平藩12万石「鳥居忠政」⇒出羽山形藩22万石(⇒寛永5(1628)年9月5日、死去)

1622年11月-08:00|フィリピン| |||フィリピンのホーホル島タンブロット、レイ島パンカで反キリスト教の反乱

1622年11月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのバイルバエ「ス・フィー・メフメト・パシャ」(4回目~1623年9月)

1640迄 (2503件)

1622年11月 04:00|ハ・ミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領ハ・ミューダ 総督「ジョン・ベールナルド」(~1623年死去)
 1622年11月1日-09:00|日本|千葉県安房郡鋸南町|元和8年9月28日|<加増移封>常陸・下総・上総・相模国内2万6000石「内藤清政」⇒安房勝山藩3万石(⇒元和9年6月26日(16230723)死去一時的に改易)
 1622年11月1日-09:00|日本|千葉県富津市|元和8年9月28日|<移封立藩>武蔵深谷8千石「松平(桜井)忠重」⇒上総佐貫藩15000石(~寛永10(1633)年8月9日、駿河田中25000石へ)
 1622年11月1日-09:00|日本|福島県いわき市|元和8年9月28日|<加増移封>下総国田子15000石「土方雄重」⇒陸奥窪田藩2万石(⇒寛永5年12月29日(16290123)死去)
 1622年11月1日-09:00|日本|福島県いわき市|元和8年9月28日|<加増移封>上総佐貫藩45000石「内藤政長」⇒陸奥磐城平藩7万石(⇒寛永11(1634)年10月17日、死去)
 1622年11月1日-09:00|日本|福島県いわき市|元和8年9月28日|<転封>上総国内2万石「内藤忠興」⇒陸奥泉藩2万石(~寛永11(1634)年10月28日、宗家磐城平藩の養子となる)
 1622年11月3日-09:00|日本|長野県下高井郡木島平村|元和8年10月|<加増>信濃中村藩1万石「岩城吉隆」+出羽由利郡内1万石⇒2万石(⇒翌年11月、出羽亀田藩2万石へ藩庁移転)
 1622年11月3日-09:00|日本|長野県長野市|元和8年10月|<加増移封>信濃上田藩95000石「真田信之」⇒信濃松代藩13万石(沼田3万石は継承⇒慶安元年2月23日(16480415)支藩埴科藩17000石を収公⇒明暦2(1656)年10月晦日、隠居)
 1622年11月3日-09:00|日本|長野県長野市|元和8年10月|<拝領>信濃埴科藩17000石「真田信政」(~寛永16(1639)年6月、上野沼田領を相続)
 1622年11月3日-09:00|日本|東京都千代田区|元和8年10月1日|<解任>老中「本多正純」
 1622年11月3日-09:00|日本|東京都千代田区|元和8年10月1日以降|<就任>老中「永井尚政」(~寛永10(1633)年3月15日)
 1622年11月3日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|元和8年10月1日|<移封>下総古河藩11万石「奥平忠昌」⇒下野宇都宮藩11万石(⇒寛文8年2月19日(16680331)61歳で死去)
 1622年11月3日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|元和8年10月1日|<改易>下野宇都宮藩15万5千石「本多正純」秀忠への謀反の意思ありとのことで所領を没収、出羽に配流
 1622年12月9日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|元和8年11月7日|<死去改易>下野烏山藩1万石「成田泰之」無嗣
 1622年12月12日-09:00|日本|東京都千代田区|元和8年11月10日|江戸城の本丸の修理が完成
 1622年12月19日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「グイェイェイ伯フランスコ・ダ・ガマ」(2度目~16270308)
 1623年-08:00|インド/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ 総督「Jacques le Febre」(~1627年)
 1623年-08:00|インド/スペイン| |||<就任>モルッカ諸島スペイン総督「Pedro de Heredia」(~1636年)
 1623年-05:30|スリランカ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セイロン総督「コンスタンティヌス・デ・サ・デ・ノロニャ」(2度目~16300802)
 1623年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ヒヴァハン国第12代ハン「イスファンディヤール」アラブ・ムハンマドの子(~1643年)
 1623年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝大宰相「ハリフェ・ソルタン・アル・ウラマ」(1回目~1632年)
 1623年-03:00|イラク/イラン| |||<就任>バグダッド 総督「サフィ・クリ・ハーン」(~1625年)
 1623年-03:00|クウェート/イラン| |||ペルシアがクウェート占領(~1638年)
 1623年-03:00|イラク/イラン| |||ペルシアによるモスル占領(~1625年)
 1623年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Hamidli Mustafa Pasha」(~同年)⇒「Murad Pasha」(~1624年)
 1623年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Mustafa Pasha al-Hannaq」(~1624年)
 1623年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リス・テ・クア、モモタハ 総司令官代行「ヌノ・ダ・ケニャ」⇒代行「ロペ・デ・アルメイダ」(~1624年)
 1623年-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミアハン国第25代ハン「メフメト3世ギレイ」(~1628年)
 1623年-02:00|バハーン| |||アンジェルの戦いでバハーンのアッパル・アッティーンが勝利
 1623年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのバシャ「ムラト・パシャ」(~1626年)
 1623年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定提督「Miguel Luis de Meneses」(4期目~同年)⇒提督「Antonio da Costa Albuquerque」(~1624年)
 1623年-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「ペドロ・デ・ソウザ・コエリョ」(5ヶ月)⇒「コンゴ司教マスカレヤスのサイモン」(~1624年)
 1623年-01:00|リビア/トルコ| |||<即位>オスマン帝国フェザーン・スルタン(トリポリタン総督)アフマト・ビン・フワディ(~1626年)
 1623年-01:00|イタリア| |||<即位>ケラチーナ公「Ferdinando2世Orsini」(~1658年)
 1623年-01:00|オランダ/チリ| |||ハコボ・レルミテ提督の率いる11隻のオランダ船団の内ヤコフ・ショウテン船長の船は、南米の南端に達し、ホーン岬と名づける
 1623年-01:00|リビア/トルコ| |||フェザーンはオスマン帝国に編入(~1626年)
 1623年 00:00|イギリス| |||<死去>13代クロフォート伯「ヘンリー・リンジー」
 1623年 00:00|イギリス| |||<就任>14代クロフォート伯「ジョージ・リンジー」(~1633年死去)
 1623年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「アトール・ロサド」(~1624年)
 1623年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Sir Ferdinando Leigh」(~1624年)
 1623年 00:00|イギリス| |||<就任>リッチモンド公「ルトウィック・ステュワート」レノックス公(~16240216死去)
 1623年 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ・スルタン(フェス 政権)「アブト・エル・マレク」(~1627年)
 1623年 00:00|イギリス| |||イングランド 北部で大飢饉
 1623年 00:00|ポルトガル/スリランカ| |||ポルトガルが、キャンディ王国からトリコマリを奪取

1640迄 (2503件)

1623年 04:00|バミューダ/イギリス| |||<死去>イギリス領バミューダ 総督「ジョン・ベルナルト」
1623年 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領バミューダ 総督代理「ジョン・ハリソン」(2期目~12月)
1623年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「ファン・マルチネス・テリオ」(~1624年)
1623年 06:00|ニカラガ/スペイン| |||<就任>ニカラガ 総督「サンティアゴ・カルバハル・イ・フィゲロア」(~1625年)
1623年1月-01:00|ノルウェー| |||オソ西部の山脈で銀鉱脈が発見
1623年1月-01:00|オランダ/台湾| |||オランダが澎湖島、台湾を占領
1623年1月3日-09:00|日本|群馬県前橋市|元和8年12月3日|<加増>上野厩橋藩95000石「酒井忠世」+上野国緑野郡
藤岡・武蔵国榛沢郡26000石、後に新田と併せ⇒12万2500石(⇒寛永13年3月19日(16360424)死去)
1623年1月3日-09:00|日本|埼玉県深谷市|元和8年12月3日|<拝領>武蔵深谷藩1万石「酒井忠勝」(⇒寛永元(1624)
年8月、上総・下総・武蔵3国のうちから2万石を加増)
1623年1月7日-09:00|日本|茨城県笠間市|元和8年12月7日|<移封>常陸真壁藩5万石「浅野長重」⇒常陸笠間藩5350
0石(⇒寛永9(1632)年9月3日、死去)
1623年1月7日-09:00|日本|茨城県古河市|元和8年12月7日|<加増移封>常陸笠間藩52000石「永井直勝」⇒下総古河
藩72000石(⇒寛永2年12月29日(16260127)、63歳で死去)
1623年1月28日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 総督「トマス・ワナー」(1回目~1
6290907)
1623年1月28日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<設立>イギリス植民地セントクリストファーズ
1623年1月30日-09:00|日本|福井県福井市|元和8年12月30日|松平忠直、老臣永見貞澄の一族を皆殺しにする
1623年1月31日-09:00|日本|千葉県市原市|元和9年|<加増>上総潤井戸藩15000石「永井尚政」+遠江5千石および新
田4千石⇒24000石余(⇒寛永2年12月29日(16260127)、下総古河藩72000石を継ぐ)
1623年1月31日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|元和9年|<拝領>下総生実25000石「酒井(金森)重澄」(~寛永10(1
633)年5月13日、勤仕怠慢で改易)
1623年1月31日-09:00|日本|福岡県福岡市博多区|元和9年|黒田長政が住吉神社本殿を再建(福岡県)
1623年1月31日 00:00|イギリス/日本| |||イギリスが平戸商館を閉鎖し、対日貿易から撤退
1623年2月1日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド 総督「Pieter de Carpentier」(~16270930)
1623年2月5日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「メル・ヒュセイン・パシャ」(2期目~8.30)
1623年2月8日 00:00|イギリス| |||<死去>エッセー伯「トマス・セシル」
1623年2月8日 00:00|イギリス| |||<就任>エッセー伯「ウィリアム・セシル」(~16400706死去)
1623年2月20日-01:00|ドイツ| |||<解任>プファルツ選帝侯「フリートリヒ5世」(~16321129°ストで死去)
1623年2月24日-09:00|日本|東京都千代田区|元和9年1月25日|幕府が大奥の法度を定める
1623年2月25日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||<就任>バイエルン選帝侯「マクシミリアン1世」(~16510927死去)/神聖ローマ皇帝が、プ
ファルツ選帝侯位と上プファルツを与える
1623年3月-08:00|マレーシア| |||<死去>ジョホール・リアウ王国スルタン「スルタン・アブドゥラ・マヤット・シャー」
1623年3月-08:00|マレーシア| |||<即位>ジョホール・パハン・リアウ・リンガ(ジョホール帝国)スルタン「スルタン・アブドゥル・ジャリル・シャー3世」(~1
677年没)
1623年3月7日-01:00|マルタ| |||<死去>マルタ騎士団総長「ルイス・メンデス・デ・ウァスコセロス」
1623年3月9日-08:00|インドネシア/オランダ/イギリス| ||ユリウス暦:1623/2/27|アンボン事件。インドネシアのアンボン島で、オランダ商館
長がイギリス商館員ら20人を処刑
1623年3月9日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「ハルタザール・ダグ・エル・ドム・リエ」(~10日)
1623年3月10日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「アントワヌ・ド・ホール」(~16360609没)
1623年3月10日-09:00|日本|福井県福井市|元和9年2月10日|<改易>越前福井藩67万石「松平忠直」乱行により廃絶
、豊後に配流
1623年3月15日-09:00|日本| ||元和9年2月15日|幕府が武家屋敷内に町人・浪人が居住することを禁じる
1623年3月31日-01:00|ベルギー| |||<就任>レックハイム伯「エルスト」(~16360824没)
1623年4月-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド 総督「ニルス・フリヘ・ビエルケ・ティル・サレストッド」(~1631
年)
1623年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャコモ・ボネッティ」「アンニバレ・レゴジ」
1623年4月10日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<死去>スペイン領ベネチア総督「Juan Tribino Guillamas」
1623年4月10日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Alonso Felix de Aguilar (1期目) + Al
onso Rodriguez Santos (1期目)」(~9.12)
1623年4月12日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・天啓3年3月13日|<即位>李氏朝鮮国王「仁祖」(~16490617死去)
1623年4月12日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・天啓3年3月13日|<廃位>李氏朝鮮国王「光海君」クーデターによって
1623年4月14日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|元和9年3月15日|<移封>常陸小張20800石「松下重綱(吉綱)」⇒下
野烏山藩20800石(⇒寛永4(1627)年3月14日、陸奥国二本松藩5万石に加増移封)
1623年4月15日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李元翼」(~16270126)
1623年4月18日 00:00|イギリス| |||<就任>初代アングルー伯「クリストファー・ヴァリアーズ」(~16300430死去)
1623年4月19日-09:00|日本|山形県米沢市|元和9年3月20日|<死去>出羽米沢藩30万石「上杉景勝」⇒5月13日、長男
「上杉定勝」が継ぐ(⇒正保2年9月10日(16451029)死去)
1623年5月 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Jeronimo de Melo Fernando」(~1627年)
1623年5月1日-09:00|日本|岐阜県揖斐郡揖斐川町|元和9年4月2日|<死去改易>美濃揖斐藩25000石「西尾嘉教」34
歳、無嗣
1623年5月17日 00:00|イギリス| |||<就任>リッチモンド公「ルトヴァック・ステュート」レノックス公(~16240216死去)

1640迄 (2503件)

1623年5月18日 00:00|イギリス| |||<就任>パッキンガム公・コヴェントリー伯「ジョージ・ウイリアムズ」ジョージ・ウイリアムズの子(〜16280823死去)

1623年5月22日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「ディエゴ・パイス・デ・クラウザー」(〜9.30没)

1623年5月25日-09:00|日本|群馬県渋川市|元和9年4月26日|<死去改易>上野白井藩1万石「本多紀貞」無嗣

1623年5月25日-09:00|日本|東京都千代田区|元和9年4月26日|幕府が江戸城西の丸法度10か条を定める

1623年5月29日-09:00|日本|島根県浜田市|元和9年5月|<交替>石見浜田藩54000石「古田重治」隠居⇒長男「古田重恒」が継ぐ(⇒慶安元年6月16日(16480804)死去無嗣改易)

1623年6月13日-09:00|日本|京都府京都市|元和9年5月16日|<死去>本因坊算砂、囲碁棋士(生年1559年)将棋所の開祖

1623年6月19日-09:00|日本|愛媛県大洲市|元和9年5月22日|<死去>伊予大洲藩6万石「加藤貞泰」⇒7月13日、長男「加藤泰興」が継ぐ(弟「直泰」へ1万石分与し5万石⇒延宝2(1674)年2月25日、隠居)

1623年6月19日-09:00|日本|愛媛県大洲市|元和9年5月22日|<分知>伊予新谷藩1万石「加藤直泰」(天和2(1682)年正月5日、68歳で死去)

1623年6月25日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「フェデリコ・フランキ」(〜16250616)

1623年6月28日-01:00|イタリア| |||<死去>ウルビーノ公「フェデリコ・ウバルト・デッラ・ローヴェレ」

1623年6月28日-01:00|イタリア| |||<復位>ウルビーノ公「フランチェスコ・マリ」72世・デッラ・ローヴェレ」(〜16310423死去)

1623年7月4日 00:00|イギリス| |||<死去>ウィリアム・バード、イングランドの作曲家(生年1540年)

1623年7月8日-01:00|パチカン| |||<死去>234代ローマ教皇「グレゴリウス15世」69歳(誕生15540109)

1623年7月14日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1623/7/4|イギリス教会音楽の作曲家ウィリアム・バード 没/80歳(誕生:1543)

1623年7月20日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「カ・ムスタファ・パシャ」(1回目〜10.9)

1623年7月23日-09:00|日本|千葉県安房郡鋸南町|元和9年6月26日|<死去改易>安房勝山藩3万石「内藤清政」21歳、無嗣

1623年8月-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督代行「ギ・アンゲア」(1回目〜9月)

1623年8月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「アレクサンダー」5世」(〜1627年11月)

1623年8月-01:00|パチカン| |||<就任>パチカン国務長官「ロレンツォ・マッロティ」(〜1628年)

1623年8月6日-01:00|パチカン| |||<就任>第235代ローマ教皇「ウルバヌス8世」(〜16440729死去)

1623年8月12日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国第94代ドージェ(元首)「アントニオ・フリリ」

1623年8月23日-09:00|日本|東京都千代田区|元和9年7月27日|<補任>第3代征夷大将軍「徳川家光」20歳/直轄江戸800万石(⇒慶安4年)/秀忠は大御所となり西丸に住む

1623年8月29日-09:00|日本|福岡県福岡市|元和9年8月4日|<死去>筑前福岡藩50万2416石「黒田長政」生年1568年)⇒閏8月8日、嫡男「黒田忠之」が継ぐ

1623年8月30日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ケナンケシュ・カラ・アリ・パシャ」(〜16240403)

1623年8月30日 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>スペインのポルトガル副王「政府ジュンタ(代表:ディエゴ・デ・カストロ・バスターロ)」(〜1631年)

1623年9月-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ラドゥ・ミフネア」(2回目〜16260113死去)

1623年9月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのバイエルン・メフメット・パシャ」(〜10月)

1623年9月 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューイングランド 総督「ロバート・コーズ」(〜1624年)

1623年9月8日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第95代ドージェ(元首)「フランチェスコ・コンタリーニ」(〜16241206死去)

1623年9月10日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第17代スルタン「ムラト4世」先代の甥、14代アフメット1世の子(〜16400208死去)

1623年9月10日-02:00|トルコ| |||<廃位>オスマン帝国第(15)代スルタン「ムスタファ1世」(〜16390120死去)

1623年9月12日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督暫定「Diego Gil de la Sierpa」(〜12.31)

1623年9月17日-01:00|ドイツ| |||<死去>トリア選帝侯「ロタル」

1623年9月17日-01:00|ドイツ| |||<就任>トリア選帝侯「フィリップ・クリストフ」(〜16520207死去)

1623年9月18日-09:00|日本| ||元和9年8月24日|幕府が市中に浪人が徘徊することを禁止する

1623年9月19日 00:00|イギリス| |||<就任>初代キャロウェイ伯「アレクサンダー・ステュアート」(〜16491009死去)

1623年9月26日 00:00|イギリス| |||<死去>第7代セント伯「チャールズ・グレイ」

1623年9月26日 00:00|イギリス| |||<就任>第8代セント伯「ヘンリー・グレイ」(〜16391121死去)

1623年9月27日-09:00|日本|大阪府松原市|元和9年閏8月3日|<拝領>河内丹南藩1万石「高木正次」(⇒寛永7年11月30日(16310102)、63歳で死去)

1623年9月27日-09:00|日本/タイ|東京都千代田区|元和9年閏8月3日|シャム(タイ)使節が将軍家光に謁見

1623年9月28日-01:00|ドイツ| |||<死去>ホーエンツォレルン＝ヘンゲン侯国「Johann Georg」

1623年9月28日-01:00|ドイツ| |||<就任>ホーエンツォレルン＝ヘンゲン侯国「Eitel Frederick」5世」(〜1661年死去)

1623年9月30日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<死去>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「ディエゴ・パイス・デ・クラウザー」

1623年9月30日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「アロンソ・ペレス・デ・サラザール」(〜16240918)

1623年10月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのバイエルン・メフメット・パシャ」(5回目〜1626年8月)

1623年10月-01:00|ホースニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ホースニア総督「ムラサ・パシャ」(〜1626年)

1623年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ベルツィ」(「エネ・ホーリ」)

1623年10月2日-09:00|日本|福岡県朝倉市|元和9年閏8月8日|<分封>筑前秋月藩5万石「黒田長興」(⇒寛文5(1665)年3月20日、56歳で死去)

1623年10月2日-09:00|日本|福岡県直方市|元和9年閏8月8日|<分封>筑前東蓮寺藩4万石「黒田高政」(⇒寛永16(1639)

1640迄 (2503件)

39) 年11月13日)

1623年10月2日-09:00|日本|福岡県福岡市|元和9年閏8月8日|<分与>筑前福岡藩52万3000石「黒田忠之」が弟「長興」に秋月藩5万石、「高政」に東蓮寺藩4万石分与⇒43万3000石(⇒承応3(1654)年2月12日、死去)
1623年10月9日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「チシュ・アリ・パシャ」(~同年)
1623年10月10日-09:00|日本|京都府京都市|元和9年閏8月16日|<就任>関白「近衛信尋」(~寛永6年8月1日)
1623年10月14日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|元和9年閏8月20日|<移封>遠江掛川藩3万石「(松平)久松定綱」⇒山城淀藩35000石(⇒寛永10(1633)年3月23日、美濃国大垣藩6万石へ加増移封)
1623年10月16日-08:00|インドネシア/イギリス| |||<死去>バンラム大統領「Richard Fursland」
1623年10月16日-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>バンラム大統領「トマス・Brockedon」(2期目~1625年)
1623年11月1日-09:00|日本|東京都千代田区|元和9年9月9日|<就任>老中「土井利勝」(~寛永15年11月7日)
1623年11月2日-09:00|日本|山口県萩市|元和9年9月10日|<交替>長州藩369000石「毛利輝元」隠居⇒「毛利秀就」(⇒慶安4(1651)年1月5日、57歳で死去)
1623年11月8日-09:00|日本|滋賀県大津市|元和9年9月16日|<創建>日吉東照宮(滋賀県大津市)
1623年11月10日-09:00|日本|滋賀県|元和9年9月18日|<改易>近江国野洲藩2万石「田中吉官」家臣の不正
1623年11月15日-09:00|日本|京都府京都市|元和9年9月23日|幕府が京都市中に牢人取締令を出す
1623年11月17日-09:00|日本|愛知県岡崎市|元和9年9月25日|<死去>三河岡崎藩5万石「本多康紀」⇒長男「本多忠利」が継ぐ(⇒寛永11(1634)年、5000石加増され55000石)
1623年11月20日-09:00|日本|福島県いわき市|元和9年9月28日|<加増移封>上総佐貫藩45000石「内藤政長」⇒陸奥磐城平7万石(⇒寛永11年10月17日(1634)1207)死去)
1623年12月 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領バミューダ総督「ヘンリー・ウッドハウス」(~16260920)
1623年12月4日-09:00|日本|東京都|元和9年10月13日|キリスト教徒のモン遠甫、原胤信ら50名が江戸で火刑に処せられる
1623年12月9日-09:00|日本|秋田県にかほ市|元和9年10月18日|<加増立藩>常陸武田5千石「仁賀保挙誠」+5000石⇒出羽仁賀保藩(塩越城)1万石(⇒寛永2(1624)年2月24日、死去。違領を4人の子供で相続し旗本に降格)
1623年12月9日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|元和9年10月18日|<加増移封>常陸府中藩1万石「六郷政乗」⇒出羽本荘藩20400石(⇒寛永11(1634)年4月28日死去)
1623年12月9日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|元和9年10月18日|<転封>信濃中村藩2万石「岩城吉隆」⇒出羽亀田藩(天鷲城)2万石(⇒寛永3(1626)年4月2日、出羽久保田藩主「佐竹義宣」の養子となり「佐竹義隆」と名乗る)
1623年12月10日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|元和9年10月19日|<加増移封>相模小田原藩5万石「阿部正次」⇒武蔵岩槻藩56000石(⇒寛永3(1626)年4月摂津で3万石加増され86000石)
1623年12月10日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|元和9年10月19日|<減転封>武蔵岩槻藩55000石「青山忠俊」⇒上総大多喜藩2万石(欠礼により⇒寛永2(1625)年、除封、下総細戸へ蟄居)
1623年12月10日-09:00|日本|東京都千代田区|元和9年10月19日|<解任>老中「青山忠俊」
1623年12月31日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Alonso Felix de Aguilar」(2期目~16240530)、「Alonso Rodriguez Santos」(2期目~16240101)
1624年-08:00|マレーシア| |||<死去>バタニ王国国王「ラジャ・ヒル(青の女王)」
1624年-08:00|インドネシア| |||<即位>バタニ君主「Cakraningrat1世」(~1648年)
1624年-08:00|マレーシア| |||<即位>バタニ王国国王「ラジャ・ウング(紫の女王)」(~1635年)
1624年-07:00|タイ| |||<即位>バタニ女王「ラ・ウング(紫の女王)」(~1635年)
1624年-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督「アント・リース・スーリー」(2回目~1626年)
1624年-04:00|ロシア| |||<死去>シビル・ハーン「イシュ・ムハンマド」
1624年-04:00|マーン| |||<即位>ヤア・リバ王朝イム「ナスイル・イブン・ムルシド」(~16490414死去)
1624年-03:00|エメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Haydar Pasha」(~1626年)
1624年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワシ(総督)「Nigdeli Mustafa Pasha」(~1625年)
1624年-01:00|オランダ/ブラジル| |||26隻3千3百名からなるオランダ艦隊、総督府所在地カハートルを占領
1624年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領マスカレンhas「Fernando de Mascarenhas」(~1625年)
1624年-01:00|ベルギー| |||<就任>リニユ公「アルベール・アンリ」(~1641年)
1624年-01:00|フランス/仏領ギアナ| |||南米大陸の一角に今日仏領ギアナと呼ばれる植民地を創設
1624年-01:00|スペイン/ウルグアイ| |||ウルグアイのサント・ドミンゴ・デ・ツァーノにスペイン人入植地建設。まもなくチャルア族により破壊される
1624年-01:00|オランダ| |||オランダのナッソー艦隊がホーン岬経由で太平洋に入り地球周回
1624年-01:00|フランス| |||ケルシ地方でクロアの乱
1624年 00:00|カリヤ諸島| |||<死去>フェルベントウ島主「Andres Lorenzo Arias de Saavedra」
1624年 00:00|ガナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールド・コースト総裁「エイトリアン・ヤコブ・ズー・ファン・アムスフォールト(ナッソー-砦)」(~1629年)
1624年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地ケラン・カリヤ島知事「Gabriel Frias de Lara」(~1625年)
1624年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国植民地テリフェ島知事「Diego de Alvarado Bracamonte」(~1625年)
1624年 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>フェルベントウ島主「Fernando Arias de Saavedra」(~1667年)、「Gonzalo Arias de Saavedra」(~1630年)
1624年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「フランスコ・コトウ・ウイ」

1640迄 (2503件)

1624年 00:00|ガナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールド・コースト長官「フランシスコ・デ・ソウト・マイオール」(~1626年)
1624年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Edward Fletcher」(~1625年)
1624年 00:00|ガナ/オランダ| |||オランダが西アフリカのファンテと軍事条約
1624年 00:00|ギニアビサウ/オランダ| |||オランダによるカチー占領(~1630年)
1624年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 総督代行「ジョン・ジャフレソン」(~1626年)
1624年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「ディエゴ・デ・アケナ」(~1627年)
1624年 06:00|アメリカ/オランダ| |||<就任>オランダ 領ニューネーデルラント指導者「コルネリス・ヤコブ・セン・マイ」(~1625年)
1624年1月1日 04:30|ベネズエラ/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネズエラ総督「Nicolas de Penalosa」(~5.30)
1624年1月3日-09:00|日本/イギリス|長崎県平戸市|元和9年11月13日|イギリスが長崎の平戸商館を閉鎖
1624年1月5日-09:00|日本|京都府京都市|元和9年11月15日|幕府:京都市中に牢人取締令
1624年1月14日-03:00|イラク/イラン| |||サファビ朝アッハース大帝がバグダットを奪回(~16381225)
1624年1月15日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニヤ副王「大審問院」(~10.3日)
1624年1月24日-09:00|日本|東京都千代田区|元和9年12月5日|<就任>老中「稲葉正勝」(~寛永11年1月25日)
1624年1月28日 00:00|イギリス/セントクリストファー・ネイビス| |||英国人トマス・ウォーナ、小アンティル諸島のセント・キッツ(セント・クリストファー)島に植民開始/フランス人との共同作戦でカリブ族の抵抗を撃破
1624年2月-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「フェルナン・デ・ソウサ」(~16300904)
1624年2月12日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「カラムタフ・ハッシャ」(2回目~16260516)
1624年2月16日 00:00|イギリス| |||<死去>リッチモンド公・レノックス公「ルトヴィック・ステュアート」
1624年2月16日 00:00|イギリス| |||<就任>レノックス公「エスメ・ステュアート」(~7.30死去)
1624年2月16日-09:00|日本|茨城県石岡市|元和9年12月28日|<拝領>常陸府中藩1万石「皆川広照」(元信濃飯山藩主⇒寛永2(1625)年4月、隠居)
1624年2月19日-09:00|日本|茨城県石岡市|元和10・寛永1年|<拝領>常陸柿岡藩1万石「稲葉正勝」(⇒寛永5年9月17日(16281014)、下野真岡藩を継ぎ自領と合わせ4万石)
1624年2月19日-09:00|日本|京都府京都市北区|元和10・寛永1年|水野勝成、亡父母追善のため京都大徳寺境内に瑞源院を建立
1624年2月19日-09:00|日本|京都府京都市西京区|元和10・寛永1年|八条宮智仁親王(後陽成天皇皇子)が桂に別荘(桂離宮)を造営
1624年2月19日-09:00|日本|京都府京都市東山区|元和10・寛永1年|瀬戸の陶工三文字屋九右衛門が粟田口で製陶を始めた(粟田口焼)/京焼最古の窯とされる
1624年2月19日-09:00|日本|千葉県佐倉市|元和10・寛永1年|<死去>下総三浦藩1万石「三浦重成」⇒「三浦重勝」が嗣ぐ(~寛永8年8月4日(16310831)死去無嗣断絶)
1624年2月19日-09:00|日本|東京都中央区|元和10・寛永1年|雄誉霊巖上人が霊巖寺を創建(中央区)
1624年2月19日-09:00|日本|長崎県島原市|元和10年・寛永元年|<移転>肥前日野江藩43000石「松倉重政」⇒肥前島原藩(島原城完成⇒寛永7年11月16日(16301219)死去)
1624年2月19日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・天啓4年1月|朝鮮で李祹の乱勃発
1624年2月19日-08:00|中国/台湾/オランダ| ||明・天啓4年1月|明が澎湖島を攻撃
1624年2月19日-09:00|日本|栃木県大田原市|元和10年1月1日|<交替>下野那須藩14000石「那須資景」隠居⇒長男の「那須資重」が嗣ぐ(~寛永19年7月25日(16420820)死去無嗣廃藩)
1624年2月24日-09:00|日本|島根県出雲市|元和10年1月6日|本樹院日出出雲橋渡に円東山松久寺を創す
1624年2月28日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リス・デ・クア、モモバ 総司令官「ディエゴ・デ・ソウザ・デ・メネス」(1回目~1628年)
1624年2月29日-09:00|日本|静岡県掛川市|元和10年1月11日|<加増移封>駿河柿島など1万6千石「朝倉宣正」⇒遠江掛川藩26000石(⇒寛永9(1632)年10月20日、主君「徳川忠長」に連座改易)
1624年3月-01:00|オランダ/コロンビア| |||シュルテのオランダ 船隊、8月の二度にわたりゲアヤルの港を襲撃
1624年3月-01:00|フランス| |||フランス王ルイ13世、建築長官ジュアン・ド・フルンに命じ、石工ニコラ・ユオが担当した「館」が、パリ南西20kmのところに完成(のちの「ヴェルサイユ」)
1624年3月8日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<死去>カーボベルデ 総督「マヌエル・アフォンソ・デ・ゲラウ司教」
1624年3月8日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「商工会議所上院」(~4.10)
1624年3月28日 00:00|イギリス| |||<死去>ドーセット伯「リチャード・サックビル」
1624年3月28日 00:00|イギリス| |||<就任>ドーセット伯「エドワード・サックビル」(~16520717死去)
1624年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエトロ・ド・シニ・コルベッリ」「ジャン・ジャコモ・セラフィニ」
1624年4月1日-09:00|日本|秋田県にかほ市|元和10年2月14日|<死去>出羽仁賀保藩(塩越城)1万石「仁賀保拳誠」
違領を4人の子供で相続し旗本に降格
1624年4月2日-09:00|日本|東京都中央区|元和10年2月15日|猿若(中村)勘三郎、猿若座(の中村座)を興し、歌舞伎興行を行う(江戸歌舞伎のはじめ)
1624年4月3日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「フェルハス・メフメド・ハッシャ」(~16250128)
1624年4月3日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ 王国マニココ「ヒョートル2世・ソカンガ・ムウイカ」
1624年4月5日-09:00|日本|宮城県仙台市|元和10年2月18日|(&22日)仙台藩でポルトガル人宣教師カブラリア神父他8名のキリスト教徒が大橋の下の水牢で殉教
1624年4月10日 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「フランシスコ・ヴァスコネルス・ダ・クーニャ」(~1628年)

1640迄 (2503件)

1624年4月16日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官代行「ファン・エスキバル・デ・サベドラ/タミオン・ベラスケス・デ・コントラス・イ・オソリア(1回目、16250503まで)/ファン・アロンソ・アボット・リーヴァ・マティン(16250503から)」(~16250606)

1624年4月17日-09:00|日本| ||寛永1年2月30日|「寛永」に改元

1624年4月18日-09:00|日本|東京都中央区|寛永1年3月|猿若(中村)勘三郎が猿若座(>中村座)、歌舞伎公演『新発地太鼓』初演目

1624年4月27日-01:00|アングラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ 王国マニコンゴ「ガルシア1世アフォンソ・ムベンバ・アンカガ」(~16260307没)

1624年5月1日-09:00|日本|三重県桑名市|寛永1年3月14日|<死去>伊勢桑名藩11万7千石「松平(久松)定勝」⇒次男「松平定行」が継ぐ(⇒寛永12(1635)年7月28日、伊予松山藩15万石へ加増転封)

1624年5月2日-09:00|日本|新潟県上越市|寛永1年3月15日|<拝領>越後高田25万9千石「松平光長」(⇒延宝9(1681)年6月21日、改易。光長は伊予国松山藩へ配流)

1624年5月2日-09:00|日本|福井県福井市|寛永1年3月15日|<本家相続>越後高田藩25万石「松平忠昌」⇒越前福井藩50万石(⇒寛永11(1634)年8月、50万5280石に高直し)

1624年5月6日-01:00|オランダ/アメリカ| |||オランダ 人のミッツガ、アメリカのマサチューセッツ州を買収。ニューアムステルダムと命名

1624年5月10日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督代行「アンタニョ・デ・メスキータ・デ・オリヴェイラ」(~15日)

1624年5月10日 03:00|ブラジル/オランダ| |||オランダ 西インド 会社がブラジル北東部サルバドールを占領(~16250430)

1624年5月11日-01:00|ドイツ| |||デューセルドルフ協定が締結され、ブランデンブルク公とノイブルク公が相互防衛を約束

1624年5月11日-09:00|日本/スペイン/フィリピン| ||寛永1年3月24日|幕府、スペインの貿易再開要請を拒否/日本とメキシコは国交断絶

1624年5月14日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 王国大蔵卿兼首席アドバイザー代理「ウスター伯爵エドワード・サマセット」(~5.25)

1624年5月15日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督代行「マルコス・テイシェイラ・デ・メントンサ」(~7.16没)

1624年5月15日 07:00|メキシコ| |||副王ヘルベスと大司教とのあいだにクリオージョ資産家の逮捕をめぐる抗争。貧民層を巻き込む内乱に発展

1624年5月16日-09:00|日本|東京都|寛永1年3月29日|<襲名>初代横綱「明石志賀之助」

1624年5月24日-01:00|オランダ/アメリカ| |||ヴァージニア植民地がイングランド 王領となる

1624年5月25日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 王国大蔵卿兼首席アドバイザー代理「リチャード・ウェストン卿」(1期目~12.11)

1624年5月30日 04:30|ベネズエラ/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネズエラ総督「Juan Manuel de Meneses y Padilla」(~16300619)

1624年5月31日-09:00|日本|新潟県糸魚川市|寛永1年4月15日|<改易>越後糸魚川藩2万石「稲葉正成」逐電退去。息子の正勝の領内(常陸柿岡藩1万石余)で謹慎処分

1624年6月6日 05:00|エカトル/オランダ| |||オランダ 提督ヤン・ウィレムズ・ゾーンがグアヤキルを奪う

1624年6月14日-09:00|日本| ||寛永1年4月29日|<死去>近江国・山城国1万6600石「板倉勝重」元京都所司代(生年1545年)遺領は重宗と重昌で分割して相続

1624年6月14日-09:00|日本|愛知県額田郡幸田町|寛永1年4月29日|<加増立藩>三河深溝藩15000石「板倉重昌」(兄「板倉重宗」から6610石分与⇒寛永15年1月1日(16380214)島原の乱で戦死)

1624年6月23日 00:00|ポルトガル| |||<死去>マテウス総督「Francisco Henriques」

1624年6月23日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス暫定総督「Jeronimo Fernando」(1期目~16250411)

1624年7月-08:00|フィリピン/スペイン| |||<死去>スペイン領フィリピン諸島総督「アロンソ・ファバルド」

1624年7月-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「Jeronimo de Silva」(~1625.6)

1624年7月 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「リヤリス・バグメル・デ・ノロニャ」(~16280514)

1624年7月3日-09:00|日本|岐阜県大垣市|寛永1年5月18日|<死去>美濃大垣藩5万石「松平(久松)忠良」43歳⇒次男「松平憲良」が継ぐ(⇒9月、信濃小諸に移封、庶兄「忠利(忠節)」に小県郡3000石・佐久郡2000石を分知し4万5000石)

1624年7月3日-09:00|日本|福井県坂井市|寛永1年5月18日|<拝領>越前丸岡藩46300石「本多成重」(⇒正保3(1646)年5月19日、隠居)

1624年7月16日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領ブラジル総督代行「マルコス・テイシェイラ・デ・メントンサ」

1624年7月16日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「アレグレ伯爵マティアス・デ・アルバ・カキ・コエリョ」(~9.24)

1624年7月18日-09:00|日本|秋田県秋田市|寛永1年6月3日|秋田藩の佐竹義宣がキリスト教徒33人を処刑

1624年7月21日-09:00|日本|福井県勝山市|寛永1年6月6日|松平直基が越前勝山に東照宮創建(福井県/→川越→前橋)

1624年7月23日-09:00|日本|福井県大野市|寛永1年6月8日|<加増移封>上総姉崎藩2万石「松平直政」⇒越前大野藩5万石(⇒寛永10(1633)年4月22日、信濃松本藩7万石へ加増移封)

1624年7月23日-09:00|日本|福井県大野市|寛永1年6月8日|<拝領>越前木本25000石「松平直良」(結城秀康の六男⇒寛永12(1635)年8月1日、越前勝山藩35000石へ加増移封)

1624年7月23日-09:00|日本|福井県勝山市|寛永1年6月8日|<拝領>越前勝山藩25000石「松平直基」(⇒寛永12(1635)年8月1日、越前大野藩5万石に加増移封)

1640迄 (2503件)

1624年7月26日-01:00|イタリア| |||ベネチアで国勢調査
1624年7月30日 00:00|イギリス| |||<死去>レノックス公・マーチ伯「エズメ・ステュアート」
1624年7月30日 00:00|イギリス| |||<就任>レノックス公・マーチ伯・ダークリー伯「ジェームズ・ステュアート」先代の子(⇒16410808兼リッチモンド公~16550330死去)
1624年7月31日-01:00|フランス/イタリア| |||<死去>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「アンリ2世」兼カラブリア公(ホーリ王の推定相続人の称号)「エンリコ」
1624年7月31日-01:00|イタリア| |||<就任>カラブリア公(ホーリ王の推定相続人の称号)「フランチェスコ」シャル3世の三男。ロレーヌ公「フランソワ2世(同年)⇒「カルロ」フランソワ2世の次男。ロレーヌ公シャルル4世(~1634年)
1624年7月31日-01:00|フランス| |||<即位>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「ニコル」アンリ1世の娘(~116251125)
1624年8月-08:00|中国/オランダ/台湾| |||明とオランダの協定により、澎湖島は明が支配し、台湾はオランダが支配することになる
1624年8月-01:00|オランダ/スペイン| |||東南アジアで再びオランダとスペインが海戦
1624年8月12日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国首席大臣(宰相)「アルマン・ジャン・デュ・プレシ・ド・リシュリュー」(~16421204死去)
1624年8月14日-09:00|日本|山梨県都留市|寛永1年7月|<加増>甲斐谷村藩1万8千石「鳥居成次」⇒3万5000石(~寛永8(1631)年6月18日死去)
1624年8月25日-09:00|日本|長崎県大村市|寛永1年7月12日|<死去>宣教師ルイス・ソト(49)大村で火刑により殉教
1624年8月26日-08:00|台湾/オランダ| |||オランダ 台南に到着、台湾西部を占領(~16620201)
1624年8月26日-09:00|日本|長野県上高井郡高山村|寛永1年7月13日|<死去改易>信濃高井野藩45000石「福島正則」(生年1567年)検死前火葬により(正則の子「福島正利」に旧領から3112石を与えて旗本とした)
1624年9月7日 04:00|チリ/スペイン| |||<死去>チリ総督「ペドロ・オルス・デ・ウゼヨ」
1624年9月7日 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ総督代行「フランシス・デ・アラヤ・イ・ヌレーニャ」(~1625年5月)
1624年9月13日-09:00|日本|埼玉県深谷市|寛永1年8月|<加増>武蔵深谷藩1万石「酒井忠勝」+上総・下総・武蔵3国のうちから2万石⇒3万石(~寛永4(1627)年11月14日、父の遺領武蔵川越藩8万石を継ぐ)
1624年9月16日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|寛永1年8月4日|<死去>肥前鹿島藩25000石「鍋島忠茂」⇒「鍋島正茂」が継ぐ(⇒寛永19(1642)年辞任)
1624年9月18日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「フランシスコ・デ・セスペデス」(~16311226)
1624年9月23日-09:00|日本|静岡県静岡市駿河区|寛永1年8月11日|<加増移封>甲斐・信州小諸25万石「徳川忠長」(秀忠の三男)+駿河・遠江東部25万石⇒駿河府中藩55万石(⇒寛永9(1632)年10月20日、改易)
1624年9月23日-09:00|日本|山梨県都留市|寛永1年8月11日|<加増>甲斐谷村藩18000石「鳥居成次」⇒35000石(⇒寛永8年6月18日(16310717)死去)
1624年9月24日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「フランシスコ・ヌネス・マリーニョ・デ・サ」(~12. 3)
1624年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ラッタンツィオ・ウァッリ」
1624年10月3日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニャ副王「セラルヴ・オ侯爵ロドリゴ・パチェコ・イ・オリオ」(~16350916)
1624年10月5日 04:00|シント・マルテン/サン・マルタン/オランダ| |||最初に記録されたヨーロッパの、オランダの船員ピーター・シュテンが、シント・マルテン島に上陸
1624年10月12日-09:00|日本|京都府福知山市|寛永1年9月|<移封>摂津中島藩45700石「稲葉紀通」⇒丹波福知山45700石(⇒慶安元年8月20日(16481006)自害改易)
1624年10月12日-09:00|日本|長野県小諸市|寛永1年9月|<移封>美濃大垣藩5万石「松平憲良」⇒信濃小諸藩(庶兄「忠利(忠節)」に小県郡3000石・佐久郡2000石を分知し4万5000石⇒正保4(1647)年8月13日死去無嗣改易)
1624年10月14日-09:00|日本|大阪府大阪市中央区|寛永1年9月3日|<工事完了>大坂城本丸
1624年10月16日-03:00|サウジアラビア| |||<退任>メッカ・シャリフ「トリス・ベーン・ハッサン」
1624年10月17日-09:00|日本|京都府京都市東山区|寛永1年9月6日|<死去>高台院(77, 豊臣秀吉の正室北政所(ねね))が京都東山の高台寺で(誕生:天文17(1548))豊臣秀吉の正室で、秀吉の死後落飾して高台院と称していた
1624年10月28日 05:00|エクトル/スペイン| |||<就任>スペイン領トリス総督・総司令官・大審問院長「ファン・デ・マノスカ・イ・サエラ」(~16270918)
1624年10月28日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ルイス・デ・ロハス・イ・ホルハ」(~16300630)
1624年11月1日-01:00|フランス/イタリア| |||フランスが、ヴェネチア・サヴォイアと同盟してヴァルデナを占領
1624年11月2日 00:00|イギリス| |||<就任>初代クレア伯「ジョン・ホーレス」(~16371004死去)
1624年11月2日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永1年9月22日|江戸城西丸が完成・徳川秀忠は江戸城西丸へ移る
1624年11月3日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニャ副王「Rodrigo Pacheco y Osorio de Toledo, 3rd Marquess of Cerralvo」(~16350916)
1624年11月10日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ササンプトン伯「ヘンリー・リスリー」
1624年11月10日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ササンプトン伯「トマス・リスリー」(⇒16531221兼2代チェスター伯~16670516死去断絶)
1624年11月11日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|寛永1年10月|<廃城>伏見城解体完了/郡山城へ六基の城門を移築(柳門、桜門、鉄門、一庵丸門、西追手門、南門)
1624年12月3日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「フランシスコ・デ・モウラ・ロドリ」(~16261228)
1624年12月5日-01:00|スイス| |||<死去>キャサール・ボアン、スイスの植物学者(生年1560年)何千もの植物を記載し古今の名称が対照されている全12巻の「植物対照図表」を著した
1624年12月6日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネチア共和国第95代ドージェ(元首)「フランチェスコ・コンタリーニ」

1640迄 (2503件)

1624年12月11日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド王国大蔵卿兼首席アドバイザー「レイ男爵・マルセル・ローバジェームス・レイ」(~16280715死去)

1624年12月11日-09:00|日本|福井県小浜市|寛永1年冬|<加増>若狭小浜藩9万2000石「京極忠高」+越前国敦賀郡⇒113500石(⇒寛永11(1634)年出雲松江藩26万石)

1624年12月14日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ノッティンガム伯「チャールズ・ハワード」

1624年12月14日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代ノッティンガム伯「チャールズ・ハワード」(~16421003死去)

1624年12月23日-09:00|日本| ||寛永1年11月13日|武家諸法度で大名の妻は江戸居住に決定/島津家久が初めて妻子を江戸藩邸に移す

1624年12月28日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ボリングブルック伯「オリバー・シンジョン」(~1646.6死去)

1624年12月29日 00:00|イギリス| |||<就任>ウェストモラント伯「フランス・フェイン」(~16290323死去)

1624年12月31日 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督「フラ・ファン・デ・エチャウス・イ・ベラスコ」(~1630年9月)

1625年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ総督「Jan van Gorcum」(~1628年)

1625年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>パトナム大統領「ヘンリー・Hawley」(~1628年)

1625年-08:00|インドネシア| |||<即位>スラバヤ君主「Surabaya conquered by Mataram」(~1625年)

1625年-04:00|モリシャス/フランス| |||フランスがロdrigues島領有宣言(入植地なし)

1625年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「ハフィズ・アフメド・パシャ」(2回目~1631年)

1625年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサ・ワリス(総督)「Mustafa Pasha」(~同年)⇒「Nogay Murtaza Pasha」(~1631年)

1625年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティエ公「ロナルド・フォスコロ」(~1627年)

1625年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>カンティエ王国総督「フランチェスコ・モロシーニ」(~1628年)

1625年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Gurci Mehmed Pasha1世」(~1626年)

1625年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定提督「Goncalo Correia Alcoforado」(~同年)⇒提督「Miguel de Meneses」(5期目~1626年)

1625年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリウ総督「Luis de Sotomayor」(~16320314死去)

1625年-01:00|スペイン| |||<昇格>オリバーレス伯「ガスパール・デ・グスマン・イ・ビメンタル」⇒オリバーレス公(~16450722死去)

1625年-01:00|ベナン| |||<即位>アゲボムのファン王国国王「ダコヌ」(~1645年没)

1625年-01:00|チャド| |||<即位>バギルミ王国スラン「Dalai, Mbangi」(~1635年)

1625年-01:00|オランダ| |||ゲロティウスが「戦争と平和の法」を刊

1625年-01:00|オランダ/スペイン| |||ブレダはスペイン領ネデルラントによって管理(~1637年)

1625年-01:00|オランダ/アメリカ| |||ホウデウイン・バンドリック(バルトウイノ・エンリコ)の率いるオランダ人海賊がフェルトリコのサンファンを襲撃/町の攻略に失敗し撃退される

1625年 00:00|イギリス| |||<就任>初代アンデイル伯「ジョン・マレー」(~1640年死去)

1625年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー管理者「フランシスコ・ソトレ・ペレイラ」(~1632年)

1625年 00:00|イギリス| |||ロンドンでペストが流行、人口のほぼ4分の1が死亡

1625年 04:00|米領グァージン諸島/イギリス| |||<設立>セントクロア(セントクルス)のイギリス植民地(~1631年にスペイン人によって破壊された)

1625年 04:00|マルティニーク/フランス| |||フランスがマルティニーク領有宣言

1625年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サンティアゴ総督「フランシスコ・テリル」(~1632年)

1625年 05:00|ハイチ/イギリス/フランス| |||トルトゥーガ島にイギリスとフランスの海賊が入植(~1629年)

1625年 06:00|カタラ/フランス| |||<就任>第6代フランス領カタラ副王「アンリ・ド・ルイス・ド・ベント・ウル」(~1627年)

1625年 06:00|アメリカ/オランダ| |||<就任>オランダ領ニューネーデルラント指導者「ウィレム・フェルフルスト」(~1626年)

1625年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマヤグア県総督「ペドロ・デル・ロサル」(~1632年)

1625年 06:00|ニカラガア/スペイン| |||<就任>ニカラガア総督「アルビス・アのサロ」(~1627年)

1625年1月-01:00|フランス| |||フランス西部のボワウー、フランス南部のラングドックで「ユグノーの反乱」がおこる

1625年1月1日-01:00|サンマリノ/バチカン| |||サンマリノは教皇の保護下(1631年正式化~17391028)

1625年1月7日-09:00|日本|京都府京都市|寛永1年11月28日|女御徳川和子、中宮となる

1625年1月24日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第96代ドーージェ(元首)「ジョヴァンニ・コルネーリ1世」(~16291223死去)

1625年1月28日-09:00|日本|岐阜県大垣市|寛永1年12月20日|<移封>丹波福知山藩5万石「岡部長盛」⇒美濃大垣藩5万石(⇒寛永9(1632)年11月2日、死去)

1625年2月6日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ポズナメル＝グオルカ公「フィリップ・ユリウス」

1625年2月6日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<領土統合>ポズナメル＝シュテッティン公「ボギスラフ12世社交公」⇒ポズナメル公(~16370310死去)

1625年2月7日-09:00|日本|茨城県石岡市|寛永2年|<領土返上>常陸片野藩2万石「滝川正利」多病で勤仕に堪えられず、嗣子もないことから⇒2千石/子孫は旗本

1625年2月7日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|寛永2年|<徐封>上総大多喜藩2万石「青山忠俊」下総細戸へ蟄居

1625年2月7日-09:00|日本|山形県新庄市|寛永2年|<高直し>出羽新庄藩6万石「戸沢政盛」+8200石⇒6万8200石(⇒慶安元(1648)年間1月22日死去)

1625年2月7日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・隆泰8年|大越莫朝の莫敬恭が後黎朝に討たれて滅びた/莫敬寛は降伏

1625年2月7日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|寛永2年1月|<移封>遠江掛川藩3万石「松平(久松)定綱」⇒山城淀藩35000石(⇒寛永10(1633)年3月23日、美濃大垣藩6万石へ加増移封)

1640迄 (2503件)

1625年2月23日-09:00|日本|愛知県犬山市|寛永2年1月17日|<死去>尾張犬山藩3万石「成瀬正成」(尾張藩徳川義直の附家老)⇒長男「成瀬正虎」が継ぐ(⇒万治2(1659)年5000石加増し3万5000石)

1625年3月2日 00:00|イギリス| ||<死去>2代ハミルトン侯・4代アラン伯・初代ケンブリッジ伯「ジェームズ・ハミルトン」

1625年3月2日 00:00|イギリス| ||<就任>3代ハミルトン侯・2代ケンブリッジ伯・5代アラン伯「ジェームズ・ハミルトン」先代の息子(⇒16430412初代ハミルトン公・初代クライステル侯・初代アラン=ケンブリッジ伯〜16490309処刑される)

1625年3月7日-01:00|ドイツ| ||<死去>ブランデンブルク=アンスバハ辺境伯「ヨアヒム・エルンスト」

1625年3月7日-01:00|ドイツ| ||<就任>ブランデンブルク=アンスバハ辺境伯「フリードリヒ3世」(~16340906死去)

1625年3月27日 00:00|イギリス| ||<死去>ジェームズ1世、イングランド王(生年1566年)

1625年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「オrazio・ベッルツィ」「ピエール・レオーネ・コルベッリ」

1625年4月6日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1625/3/27|<即位>イングランド王国国王・スコットランド王「チャールズ1世(聖チャールズ殉教王)」ジェームズ1世とアン・オブ・デンマークの男子(~16490130斬首刑48歳)

1625年4月6日 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Juan de Haro y Sanvitores」(~1631年)

1625年4月6日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1625/3/27|<死去>イングランド王「ジェームズ1世」兼スコットランド王「ジェームズ6世」58歳

1625年4月7日-09:00|日本|山形県新庄市|寛永2年3月|出羽新庄藩「戸沢政盛」新庄城を築城

1625年4月7日-08:00|中国| ||明・天啓5年3月|魏忠賢が東林党の弾圧を開始し、楊連らが獄中で惨殺される

1625年4月8日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「ハフズ・アフメト・パシャ」アフメト1世の娘アイシェ・スルタンの7人の夫のうちの1人(1期目~16261201)

1625年4月11日 00:00|ポルトガル| ||<就任>マデira総督「Fernao de Saldanha」(~16260810死去)

1625年4月21日-09:00|日本|愛媛県上浮穴郡久万高原町|寛永2年3月15日|佃十成、和気郡長建寺の梵鐘を鑄造、浮穴郡久万山に法然寺を建立

1625年4月23日-01:00|オランダ| ||<死去>ネーデルラント連邦共和国総督・総司令官・提督「オラニエ公・ナッソー伯爵マウリッツ」57歳(誕生15671113)

1625年4月23日-01:00|オランダ| ||<就任>ネーデルラント連邦共和国総督・総司令官・提督「オラニエ公・ナッソー伯爵フレデリック・ヘントリック」オラニエ公ウィレム1世の末子(~16470314死去63歳)

1625年5月 04:00|刊/スペイン| ||<就任>刊総督「ルイ・フェルナンデス・デ・コルトバ・イ・アルセ」(~1629年12月)

1625年5月1日-01:00|オランダ/ポルトガル/スペイン/ブラジル| ||ハバ7, 64隻からなるポルトガル/スペインの連合艦隊により奪回

1625年5月1日-01:00|ハンガリー| ||<死去>ハンガリー王国パラティン「スタニスロー・グロフ・トゥルジ・ベスレンファルウイ」

1625年5月1日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国パラティン代行「ミクロシュ・バルロ・エステルハージ・ガラントイ」(⇒16451025、ハ・ライン~16450911没)

1625年5月7日-09:00|日本|茨城県石岡市|寛永2年4月27日|<交替>常陸府中藩1万石「皆川広照」隠居⇒嫡男「皆川隆庸」が継ぐ(自領5000石を合わせ、弟「宗富」に1700石分与し13300石⇒寛永8(1631)年、近江浅井郡内4000石加増され18000石)

1625年5月14日 04:00|バルバドス/イギリス| ||<就任>イギリス領バルバドス総督「ジョン・パウエル」(1期目~同年)⇒「ウィリアム・D eane」(~1628. 7)

1625年5月14日 04:00|バルバドス/イギリス| ||<就任>バルバドス領主卿「ウィリアム・コウルテン卿」(~16270702)

1625年5月14日 04:00|バルバドス/イギリス| ||バルバドスは、ウィリアム・コウルテン卿のために働いていたジョン・パウエル大尉によってイングランド領宣言

1625年5月29日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<再設置>スペイン王国カリヤ諸島総司令部(スペイン王国植民地گران・カリヤ島、ネリフェ島含む)

1625年6月-08:00|フィリピン/スペイン| ||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督代理「Fernando de Silva y Silva」(~16260629)

1625年6月 00:00|イギリス| ||<死去>18代オックスフォード伯「ヘンリー・ト・グアイア」

1625年6月 00:00|イギリス| ||<就任>19代オックスフォード伯「ロバート・ト・グアイア」先代の二従兄弟(~16320807死去)

1625年6月2日-09:00|日本|山口県|寛永2年4月27日|<死去>毛利輝元、長州藩初代藩主(73歳、生年1553年)

1625年6月5日-01:00|オランダ| ||<死去>オランダ・ギボンス、イングランドの作曲家・オルガニスト(生年1583年)

1625年6月6日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官代行「ダミアン・ベラスクス・デ・コントレラス・イ・オリョ」(2回目~16260916)

1625年6月9日-09:00|日本| ||寛永2年5月5日|幕府が武家宅地を商人に貸出すことを禁じる

1625年6月16日-01:00|イタリア| ||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジャコモ・ロメッリ」(~16270625)

1625年6月23日-01:00|フランス/イギリス| ||ユリウス暦:1625/6/13|イギリスのチャールズ1世が、フランス王女アンリエット・マリと結婚

1625年7月 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Francisco Gonzalez de Andia Irrazabal y Zarate」(~1626年)

1625年7月2日-01:00|オランダ/スペイン| ||オランダの対スペイン独立戦争の重要拠点の1つのブレダが、1年にわたるスペイン軍の包囲攻撃で陥落

1625年7月21日-09:00|日本|熊本県熊本市|寛永2年6月17日|熊本で地震のため熊本城の火薬庫爆発、天守付近の石壁の一部が崩れた。城中の石垣にも被害、死約50

1625年8月19日-01:00|ドイツ| ||<死去>東フリースラ伯「Enno3世」

1625年8月19日-01:00|ポーランド| ||<死去>チェシ公「フリデリク・ヴァイルヘルム」

1625年8月19日-01:00|ドイツ| ||<就任>東フリースラ伯「Rudolf Christian」(~16280417死去)

1625年8月19日-01:00|ポーランド| ||<就任>チェシ公「エルジエブ・エタ・ルクツィア」(~16530519死去)

1640迄 (2503件)

1625年8月19日-01:00|ポーランド| |||<即位>チェシ公(シロンスク・ピャスト家)エルジュビェタ・ルクツィア(〜16530519死去)
1625年8月27日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|寛永2年7月25日|<拝領>相模玉縄23000石「松平(大河内)正綱」(⇒慶安元年6月22日16480810)死去)
1625年9月-01:00|フランス| |||島の戦いでフランス艦隊はユグノー側のレ島を奪取
1625年9月15日-01:00|フランス| |||フランスのユグノーの指導者スビーヌ・ガ、ラ・ロシェルでの蜂起に失敗してイギリスに逃亡
1625年9月28日-09:00|日本| |||寛永2年8月27日|関所・駅伝・貨幣等の制を定む
1625年9月30日-09:00|日本|高知県四万十市|寛永2年8月29日|<死去>土佐中村落2万石「山内康豊」⇒次男「山内政豊」が嗣ぐ(⇒寛永6(1629)年4月8日、死去無嗣断絶)
1625年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ガミッロ・ボネリ」「ジヤンパッティスタ・ファブリ」
1625年10月2日-09:00|日本|千葉県佐倉市|寛永2年9月|<加増>下総国佐倉藩6万2500石「土井利勝」⇒14万2000石(⇒寛永10(1633)年4月7日、下総国古河藩16万2000石に加増移封)
1625年10月3日-09:00|日本|群馬県安中市|寛永2年9月2日|<拝領>上野板鼻藩3万石「酒井忠行」(⇒寛永13(1636)年3月19日、父の違領上野前橋を相続し、廃藩)
1625年10月11日-09:00|日本|福島県相馬市|寛永2年9月10日|<死去>陸奥中村落49234石「相馬利胤」⇒長男「相馬義胤」が継ぐ(⇒慶安4年3月5日(16510424)死去)
1625年10月31日-09:00|日本|東京都台東区|寛永2年10月|僧天海、江戸忍岡に東叡山寛永寺を創建<天台宗関東総本山>
1625年11月9日-09:00|日本|茨城県石岡市|寛永2年10月10日|<減封>常陸片野藩2万石「滝川正利」病弱⇒旗本2000石
1625年11月16日-01:00|イタリヤ| |||<死去>ソフィスタ・アンゲイッラ、イタリヤの女性画家(生年1532年)
1625年11月22日-09:00|日本|新潟県長岡市|寛永2年10月23日|<加増>越後長岡藩72000石「牧野忠成」+新墾田2000石⇒74000石(⇒承応3(1654)年12月16日、死去)
1625年11月23日-09:00|日本|大阪府大阪狭山市|寛永2年10月24日|<死去>河内狭山藩11000石「北条氏信」⇒長男「北条氏宗」が継ぐ(⇒寛文10(1670)年10月1日、隠居)
1625年11月25日-01:00|フランス| |||<即位>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「フランソワ2世」(〜12.1廃位)
1625年12月1日-01:00|フランス| |||<即位>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「シャルル4世(3世)」(〜16340119廃位)
1625年12月1日-01:00|フランス| |||<廃位>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「フランソワ2世」
1625年12月8日-01:00|クロアチア| |||<即位>クロアチア王「フェルディナンド3世」(〜16570402死去)
1625年12月9日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||デンマークがドイツへ侵攻し、30年戦争が第2ラウンドへ
1625年12月21日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「ルイス・デ・ロハス・イ・ボルハ」(〜16300630)
1626年-08:00|インドネシア| |||<即位>ガラニク・ギリ君主「Panembahan Mas Witana」(〜1680年)
1626年-05:30|インド| |||<建国>ダティア国
1626年-05:30|インド| |||<死去>クトゥブ・シャーヒー朝スルタン「スルターン・ムハンマド・クトゥブ・シャー」
1626年-05:30|インド| |||<死去>コールコンダ王国スルタン「スルターン・ムハンマド・クトゥブ・シャー」
1626年-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督「マルテン・アイズブラント・ランツォーン」(1回目〜1632年)
1626年-05:30|インド| |||<即位>クトゥブ・シャーヒー朝スルタン「アフドゥッラー・クトゥブ・シャー」(〜16720421死去)
1626年-05:30|インド| |||<即位>コールコンダ王国スルタン「アフドゥッラー・クトゥブ・シャー」(〜16720421死去)
1626年-05:30|インド| |||アグラにヌール・ジャハンの父の廟が建設
1626年-04:00|ロシア| |||<即位>カシモフ・ハン国(シビル・ハン国系)ハン・サイイト・フルハン[アルフ・アルスラーンの子](〜1679年)
1626年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Gurcu Ahmed Pashaj」(〜1628年)
1626年-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ソモン朝)対立皇帝「ヤコブ・サルサ・デングェル」(2回目)
1626年-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「ヨハン・デ・ラ・カルティエ」(〜1628年)
1626年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Tayyar-oglu Mehmed Pashaj」(〜1628年)
1626年-01:00|クロアチア| |||<死去>クロアチア・ダルマチアのバン「ジュリジ5世シュビッチ・グロフ・ズリンスキ」
1626年-01:00|ルクセンブルク/スペイン| |||<死去>スペイン領ルクセンブルク総督兼総司令官「バルモン伯フロラン」
1626年-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリ・リタニア・ベイルベイル「ラマザン・デイ」⇒「サキス・リ・マフメト・パシャ」(〜1631年1月)
1626年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ダルマチアのバン代行「ハラルド・ミトロウ・イチ、ザグレバ・チュキ」(3度目)、「トマ・ミクリッチ」(〜1627年)
1626年-01:00|リテンシュタイン| |||<就任>ファトゥーツ執行官「ザカリヤス・フルテンバッハ・フォン・シュレーゲンベルク」(〜1646年)
1626年-01:00|ポズニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズニア総督「ガジ・ムスタファ・パシャ」(〜1627年)
1626年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン伯「Gaston de France」(〜1660年)
1626年-01:00|リビア/トルコ| |||<即位>オスマン帝国フェザール・スルタン「ムハンマド1世」(〜1658年)
1626年-01:00|クロアチア| |||<即位>ホルツァ大公「ジュル・シノフチチ」(〜1628年)
1626年-01:00|オランダ/アメリカ| |||オランダ人、ニューサウスランド(現在のニュージャージーとマンハッタン)を建設
1626年-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||ントンゴ国はポルトガルの属国(〜1657年)
1626年 00:00|イギリス| |||<死去>2代リバーデイン伯「ウィリアム・マレー」
1626年 00:00|イギリス| |||<死去>第4代モントローズ伯「ジョン・グラーム」
1626年 00:00|イギリス| |||<就任>第5代モントローズ伯「ジェームズ・グラーム」(⇒1644年初代モントローズ侯〜16500521死去)
1626年 00:00|カナリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カナリヤ諸島総司令官代理「Juan de Carvajal y Sande」(〜1629年)
1626年 00:00|セザール/フランス| |||<就任>セザール・ンビアのルナン商会総督「トマス・ランペール」(〜1631年没)

1640迄 (2503件)

1626年 00:00|ガナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴート・コースト長官「ジョアン・ダ・セラ・デ・モライス」(~1629年)
1626年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Edward Holmewood」(~1627年)
1626年 00:00|セカール/フランス| |||<設立>セカールで最初のフランス人入植地(サンルイ)(セカール・ビニアのノルマン商会の下で)
1626年 01:00|アゾレス諸島/スペイン| |||<死去>グアラソーザ島ドナトリア長官「Fernando Coutinho4世」
1626年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラ・プラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官代行「アロンソ・ペレス・デ・サラザール・イ・ロサス」(~1627年)
1626年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル・サン・ミゲル州市長「エウヘニオ・デ・レダ・イ・ゴンゾラ」(~1636年)
1626年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル・サン・ミゲル州市長「ペドロ・デ・トレス・イトレ」(~1631年)
1626年1月9日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|寛永2年12月11日|<加増>武蔵岩槻藩55000石「阿部正次」+上総・下総・武蔵に新田⇒56000石(⇒寛永3(1626)年4月6日、摂津国内3万石を加増され86000石)
1626年1月13日-02:00|ルーマニア| |||<死去>モルダヴィア総督「ラドゥ・ミフネ」
1626年1月13日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督代行「シュテファン・トゥミラス」(~20日)
1626年1月20日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ミロン・バルフスキ・モグーラ」(1回目~16290830)
1626年1月28日-09:00|日本|京都府京都市中京区|寛永3年|狩野探幽、二条城の二の丸御殿襖絵を描く
1626年1月28日-09:00|日本|千葉県安房郡鋸南町|寛永3年|<再興>安房勝山藩2万石「内藤正勝」復帰(⇒寛永6年8月3日(16290919)死去継嗣が幼く滅封廃藩)
1626年1月28日-09:00|日本|兵庫県たつの市|寛永3年|<藩庁移転>播磨鶴藩1万石「池田重利」⇒播磨新宮藩1万石(陣屋を設置⇒寛永8年1月10日(16310210)死去)
1626年1月28日-09:00|日本|山形県山形市|寛永3年|<加増>出羽山形藩20万石「鳥居忠政」寒河江2万石⇒22万石(⇒寛永5(1628)年9月5日、死去)
1626年1月28日-08:00|中国| |||明・天啓6年1月|後金軍が寧遠を攻囲するが明将の袁崇煥が撃退
1626年2月5日-01:00|フランス| |||<ラ・ロシェルの和約>フランス王ルイ13世とユグノーが和睦する
1626年2月5日 00:00|イギリス| |||<就任>初代マルバラ伯「ジェームズ・リー」(~1629年死去)
1626年2月5日 00:00|イギリス| |||<就任>初代マンチェスター伯「ヘンリー・モンタギュー」(~16421107死去)
1626年2月7日 00:00|イギリス| |||<就任>パーキシャー伯「トマス・ハワード」(~16690716死去)
1626年2月28日-08:00|マレーシア| |||<死去>ケダ・スルタン国スルタン「スライマン・シャー2世」
1626年2月28日-08:00|マレーシア| |||<即位>ケダ・スルタン国スルタン「リジャルディン・ムハンマド・シャー」(~16521004死去)
1626年3月3日 00:00|イギリス| |||<死去>初代デヴォンシャー伯「ウィリアム・キャヴァンディッシュ」
1626年3月3日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代デヴォンシャー伯「ウィリアム・キャヴァンディッシュ」先代の息子(~16280620死去)
1626年3月5日-01:00|フランス/スペイン| |||フランス・スペイン間の平和条約
1626年3月7日-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ王国マニコンゴ「ガリシア1世アフォンソ・ムハンバ・アンカガ」
1626年3月7日-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ王国マニコンゴ「アンソ・ロース1世ニミア・ンカガ」(~16310307殺害される)
1626年3月28日-08:00|中国| |||明・天啓6年3月|魏忠賢が東林派の周順昌を逮捕し、蘇州市民が反宦官暴動をおこす
1626年4月-01:00|デンマーク/ドイツ| |||デンマーク戦争/ワレンシュタインの傭兵部隊は、ドイツのデッサウでプロテスタント遠征軍に最初の勝利をおさめる
1626年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「フランチェスコ・ジャンニニ」「リビオ・ペリチェリ」
1626年4月7日-09:00|日本|山形県鶴岡市|寛永3年3月11日|<加増>出羽庄内藩13万8千石「酒井忠勝」+武蔵鳴戸領・上総姉崎領内2万石⇒15万8千石(⇒正保4(1647)年10月17日、死去)
1626年4月9日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦:1626/3/30|<死去>フランス・ペーコン、イングランドの神学者、哲学者、法律家(65歳、15610122生)
1626年4月26日-09:00|日本|群馬県高崎市|寛永3年4月|<死去改易>上野豊岡藩(根津)1万石「根津信直」無嗣断絶
1626年4月27日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|寛永3年4月2日|<廃藩>出羽亀田藩2万石「岩城吉隆」出羽久保田藩主「佐竹義宣」の養子となり「佐竹義隆」と名乗る(⇒寛永5(1628)年8月、叔父「岩城宣隆」と交替)
1626年5月1日-09:00|日本|大阪府大阪府中央区|寛永3年4月6日|<交替>大坂城代「内藤信正」⇒「阿部正次」(⇒正保4(1647)年11月14日)
1626年5月1日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|寛永3年4月6日|<加増>武蔵岩槻藩56000石「阿部正次」+摂津国内3万石⇒86000石(⇒正保4年(1647)11月14日大坂城にて79歳で死去)
1626年5月1日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永3年4月6日|<解任>老中「阿部正次」
1626年5月4日 06:00|アメリカ/オランダ| |||<就任>オランダ領ニューネーデルラント指導者「ピーテル・ミヌイト」(~1631年)
1626年5月7日-08:00|台湾/スペイン| |||マニラのスペイン人は台湾基隆港内社寮島(現在の和平島)で占領式(セント・サルバドル城)を築城
1626年5月16日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「バイルム・パシャ」(~1628年)
1626年5月17日-01:00|スペイン| |||<死去>ジョアン・パウ・フジョル、スペインの作曲家、オルガニスト(生年1570年)
1626年5月19日-09:00|日本|長野県|寛永3年4月24日|幕府が松平忠輝を飛騨国の配所から信濃に移す
1626年5月21日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永3年4月26日|長崎奉行水野守信・ベズス会宣教師・キリスト教徒らを処刑
1626年5月23日-09:00|日本|滋賀県|寛永3年4月28日|<死去>近江・山城・紀伊5万石「内藤信正」⇒嫡男「内藤信照」が継ぐ(⇒翌年2月10日、陸奥国棚倉藩5万石へ移封)
1626年5月24日 06:00|アメリカ/オランダ| |||オランダ西インド会社、インディアナからマンハッタンを60千ポンド(約20ドル)で購入(実は別部族に騙されベナ族と抗争に)

1640迄 (2503件)

1626年5月28日 00:00|イギリス| |||<死去>サフォーク伯「トマス・ハワード」
1626年5月28日 00:00|イギリス| |||<就任>サフォーク伯「セオフィラス・ハワード」(~16400603死去)
1626年6月20日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永3年閏4月26日|F・パシエコ、イルマン、ガスパール貞松が長崎で殉教
1626年6月21日-09:00|日本| ||寛永3年閏4月27日|人身売買を禁ず
1626年6月25日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1626/6/15|チャールズ1世が議会を解散し、3月5日に議会の弾劾を受けたパ
ックガム公を救う
1626年6月26日 01:00|アゾレス諸島/スペイン| |||<就任>サンタマリア島トナリオ長官「Pedro Soares de Sousa」(~1634年)
1626年6月27日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン＝ダルムシュタット方伯「ルートヴィヒ5世(誠実伯)」
1626年6月27日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン＝ダルムシュタット方伯「ゲオルク2世」ルートヴィヒ5世の息子(~16610611死去)
1626年6月27日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン＝フ라우ンハフ方伯「ヨハン・ヘッセン＝ダルムシュタット方伯」ルートヴィヒ5世の次男(~16510
401死去、1代で断絶)
1626年6月29日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「フアン・ニニョ・デ・シムラ」(~16320722死去)
1626年6月30日-09:00|日本|兵庫県姫路市|寛永3年5月7日|<移封>播磨龍野藩5万石「本多政朝」廃藩⇒播磨姫路新
田藩5万石(播磨姫路藩宗家の嫡子となる(⇒寛永8(1631)年8月10日、父「本多忠政」の死去に伴い播磨姫路藩15
万石を継ぐ)
1626年6月30日-09:00|日本|兵庫県姫路市|寛永3年5月7日|<死去改易>播磨姫路新田藩10万石「本多忠刻」無嗣
1626年7月7日 01:00|アゾレス諸島/スペイン| |||<就任>ガラオサ島トナリオ長官「Fernando Coutinho5世」(~1666年死
去)
1626年7月10日-09:00|日本|群馬県甘楽郡甘楽町|寛永3年5月17日|<死去>上野小幡藩2万石「織田信良」⇒次男「織
田信昌」が継ぐ(⇒慶安3年7月9日(16500806)死去)
1626年7月13日 00:00|イギリス| |||<死去>レスター伯「ロバート・シドニー」
1626年7月13日 00:00|イギリス| |||<就任>レスター伯「ロバート・シドニー」(~16771102死去)
1626年8月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのペイレル・イスマト・ムルタサ・パシャ」(~1630年2月)
1626年8月6日-01:00|フランス| |||<即位>オルアン公・ヴァロア公「ガストン」(~16600202死去51歳)兼アンジュー公、シャトル公、プロ
バ、アランソン公
1626年8月10日 00:00|ポルトガル| |||<死去>マテウス総督「Fernaõ de Saldanha」
1626年8月19日-01:00|フランス| |||「シャレー伯」アンリ・タレーラン＝ペリゴール、宰相リシュリューに対する陰謀の罪で斬首される
1626年8月22日-09:00|日本|山形県上山市|寛永3年7月1日|<死去>出羽上山藩4万石「松平重忠」⇒養子「松平重直」
が継ぐ(⇒同月11日、摂津三田藩3万石に減移封)
1626年8月27日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||「ヴァレンシュタイン率いる神聖ローマ帝国軍が、ルッターでデンマーク軍に大勝
1626年9月1日-09:00|日本|兵庫県三田市|寛永3年7月11日|<減移封>出羽上山藩4万石「松平重直」⇒摂津三田藩3
万石(⇒寛永9(1632)年、豊前国竜王藩37000石)
1626年9月16日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「ロレンソ・デ・カブレラ・イ・コルベラ」(~16
301007)
1626年9月17日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛永3年7月27日|幕府が大坂定番制を制定
1626年9月20日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>バミューダ総督「フィリップ・ハル」(~1629年)
1626年9月21日-09:00|日本|広島県福山市|寛永3年8月|<加増>備後福山藩10万石「水野勝成」+1000石⇒101000石(
⇒寛永16(1639)年間11月16日隠居)
1626年9月26日-09:00|日本|京都府京都市|寛永3年8月6日|<死去>脇坂安治が京都で(生年1554年)前伊予大洲藩
主、賤ヶ岳の七本槍のひとり
1626年9月28日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス暫定総督「Jeronimo Fernando」(2期目~16280501)
1626年9月30日-08:00|中国| ||金・天命11年8月11日|<死去>晋(後金)皇帝「ヌルハチ」寧遠包圍戦での負傷で/67歳(
生年1539)清の建国の祖
1626年10月 03:00|ブラジル| |||ハレンテ知事、反乱を計画したとしてベインの先住民指導者24人を捕らえ処刑
1626年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ベルツォ・ベルツツィ」「ヒエール・マリノ・リッチ」
1626年10月17日 00:00|イギリス| |||<就任>ノーリッチ伯「エドワード・デニ」(~16371024死去)
1626年10月20日-08:00|中国| ||金・天命11年9月1日|<即位>晋(後金)皇帝「洪泰治(ホンタイジ)」(~16360515)
1626年10月29日-01:00|イタリア| |||<死去>マントヴァ公「フェルディナント・ゴンザーガ」兼モンフェラート公「フェルディナント1世」
1626年10月29日-01:00|イタリア| |||<即位>マントヴァ公・モンフェラート公「ヴィンチェンツォ2世・ゴンザーガ」ヴィンチェンツォ1世の四男(~
16271225死去)
1626年10月30日-01:00|オランダ| |||<死去>ガイブホルト・スネル、オランダの天文学者、数学者(生年1580年)光の屈折に関
するスネルの法則で知られる
1626年11月4日-09:00|日本|兵庫県たつの市|寛永3年9月16日|<拝領>播磨龍野藩6万石「小笠原長次」(⇒寛永9(16
32)年10月11日、豊前中津藩8万石へ加増移封)
1626年11月16日-09:00|日本|山形県上山市|寛永3年9月28日|<立藩>出羽上山藩4万石「蒲生忠知」(~寛永4(1627)
年2月20日、宗家会津藩相続)
1626年11月22日 00:00|イギリス| |||<就任>初代リンジー伯「ロバート・パーティ」(~16421024死去)
1626年11月22日-09:00|日本|京都府京都市|寛永3年10月4日|幕府:再び女院・中宮の規則
1626年12月1日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ダマト・ハル・パシャ」(2期目~16280406)
1626年12月8日-01:00|ハンガリー| |||<即位>ハンガリー王「フェルディナント3世」(16370215まで共同統治~16570402没)
1626年12月27日-09:00|日本|大分県臼杵市|寛永3年11月9日|<死去>豊後臼杵藩5万石「稲葉典通」⇒翌年3月、長男
の「稲葉一通」が継ぐ(⇒寛永18(1641)年8月16日、死去)

1640迄 (2503件)

1626年12月28日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||ブレスブルクの和約
1626年12月28日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「ミランダ 伯爵デ・イコ・ルイス・デ・オリヴェイラ」(~16351211)
1627年-08:00|マレーシア| |||<死去>ペラ・スルタン「マンスール・シャー2世」
1627年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ 総督「Gilles van Zeijst」(~1629年)
1627年-08:00|インドネシア| |||<即位>ティモール・スルタン「Ngarolamo」(~1634年)
1627年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテ・スルタン「Hamzah」(~1648年)
1627年-08:00|マレーシア| |||<即位>ペラ・スルタン「マフムド・シャー1世」(~1630年没)
1627年-07:00|ラオス| |||<死去>ランサン王「フォティサラス2世」
1627年-07:00|ラオス| |||<即位>ランサン王「モン・ケーオ」(~1633年死去)
1627年-06:30|ミャンマー/オランダ| |||オランダ 東インド 会社がビルマに商館を建設
1627年-05:30|インド| |||<建国>サウジアラビア国
1627年-05:00|カザフスタン| |||<復位>カザフ汗国ハン「イシム」(~1628年)
1627年-04:00|ロシア| |||<死去>カシモフ・ハン国ハン「アルフ・アルスラン」
1627年-04:00|ロシア| |||<即位>カシモフ・ハン国ハン「サイド・フルハン」アルフ・アルスランの子(~1679年)
1627年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「マルコ・グラーデニコ」(~1629年)
1627年-01:00|イタリア| |||<死去>ゲラニア公「Michele Antonio1世Orsini」
1627年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのバシャ「フセイン・バシャ」(1回目~1629年)
1627年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ダルマチアのパン「ジグモント・グロワ・エルデイ」(~16390628没)
1627年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定提督「Dinis de Mascarenhas de Lencastre」(~同年)⇒提督「Jorge de Mendonca Pessanha」(~1634年)
1627年-01:00|ポズナニ・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズナニ総督「アルナウト・アリ・バシャ」⇒「ベクルバシャ」(~1628年)
1627年-01:00|イタリア| |||<即位>ゲラニア公「Felicia Maria Orsini」(~1647年死去)「Pietro Francesco Orsini」(~1641年死去)
1627年-01:00|チェコ| |||改正領邦法規(新憲法)の発布により、国家のほとんどの権限は国王に属す
1627年-01:00|デンマーク/ドイツ| |||神聖ローマ皇帝軍、ユラン半島占領
1627年-01:00|オランダ/ポルトガル/スペイン/ブラジル| |||オランダ 人、ふたたびバヤを占領するがただちに追い出される
1627年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Andre Goncalves Maracote」(~1628年死去)
1627年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Edward Christian」(~1634年)
1627年 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ・スルタン(統一政権)「アフ・マワウン・アブド・アルマリク2世」(~16310310死去)
1627年 00:00|ヨーロッパ| |||ポーランド のヤトワカの森で1頭の雌が死んだのを最後にヨーロッパ 原牛のオーロックスが絶滅
1627年 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<死去>パラグアイ総督「マヌエル・デ・フリアス」
1627年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「カプリエルト・チャベス・イ・オリオ」(~1634年)
1627年 04:00|ポルビニア/スペイン| |||<就任>ラ・フータ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官代行「ディエゴ・ムニョス・デ・クエシヤル」(1回目~1629年)
1627年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「ファン・デ・コルメリス・アントラーデ」就任せず⇒「アルバロ・デ・キニョネス・オリオ・イ・ミランダ」(~1632年)
1627年 06:00|ニカラグア/スペイン| |||<就任>ニカラグア総督「ファン・デ・アグエロ」(~1630年)
1627年 06:00|カナダ/フランス/アメリカ| |||<就任>フランス領ヌーヴェル・フランス総督「サミュエル・ド・シャンプラン」(~1635年)
1627年1月24日-09:00|日本| ||寛永3年12月7日|幕府が布類の尺度規則を制定
1627年2月12日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<死去>初代リヒテンシュタイン公「カール1世」
1627年2月12日-01:00|チェコ| |||<死去>リヒテンシュタイン侯「カール1世」
1627年2月12日-01:00|チェコ| |||<就任>リヒテンシュタイン侯「カール・オイゼビウス」(~16840405没)
1627年2月12日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<即位>第2代リヒテンシュタイン公「カール・オイゼビウス」先代の息子(~16840405死去)
1627年2月15日-09:00|日本|茨城県古河市|寛永3年12月29日|<死去>下総古河藩72000石「永井直勝」63歳⇒長男「永井尚政」が継ぐ(所領上総潤井戸15000石を合わせ89100石⇒寛永10(1633)年3月25日、山城淀藩10万石へ加増移封)
1627年2月16日-09:00|日本|群馬県沼田市|寛永4年|榛名神社(沼田市榛名町)本殿、築造
1627年2月16日-09:00|日本|東京都江東区|寛永4年|長盛法印が富岡八幡宮建立
1627年2月16日-09:00|日本|東京都台東区|寛永4年|下谷神社、上野山下に移転
1627年2月16日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|寛永4年|<竣工>陸奥棚倉城
1627年2月16日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・永祚9年|<死去>パントウカ王「Po Klong M'hnai」
1627年2月16日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・永祚9年|<即位>パントウカ王「Po Rome」(~1651年死去)
1627年2月16日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・永祚9年|ベトナムで鄭氏と阮氏の抗争が始まる
1627年2月16日-08:00|中国| ||金・天総1年1月1日|後金・天総と改元
1627年2月17日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「ヘンリー・パウエル」(~1628年)
1627年2月18日-09:00|日本|長崎県島原市|寛永4年1月3日|島原でキリシタン16名、雲仙地獄に投げ込まれ全員殉死
1627年2月19日-09:00|日本|福島県会津若松市|寛永4年1月4日|<死去改易>陸奥会津藩60万石「蒲生忠郷」無嗣
1627年2月19日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|寛永4年1月4日|陸奥国三春の農民らが一揆
1627年3月1日-08:00|中国/韓国/朝鮮| ||金・天総1年1月14日|後金の太宗サハギが、貝勒と阿敏の2人の將軍に3万の兵をつけて朝鮮への侵攻を命じる(丁卯胡乱)仁宗が江華島へ避難

1640迄 (2503件)

1627年3月3日-01:00|オランダ/ブラジル| |||<就任>ヘント・ヘン提督の率いる22隻のオランダ艦隊、ふたたびバ・イを占領/まもなくポルトガル人の反撃の前に撤退

1627年3月5日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「尹昉」(~7. 2)

1627年3月8日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「フレイ・ルイス・デ・フリート・エ・メネス」(~16290729死去)

1627年3月10日 00:00|マン島| |||<死去>マン島主「Elizabeth de Vere」

1627年3月17日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン=カッセル方伯「グ・イルヘルム5世(不変伯)」モリッツの息子(~16370921死去);ヘッセン=ラインフェルス方伯「エルスト1世」ヘッセン=カッセル方伯モリッツの五男(~1693年死去、断絶ヘッセン=グ・アンフリート方伯カールが相続);ヘッセン=ローテンブルク方伯「ヘルマン4世」ヘッセン=カッセル方伯モリッツの三男(~16580325死去)

1627年3月17日-01:00|ドイツ| |||<退任>ヘッセン=カッセル方伯「モリッツ(碩学伯)」

1627年3月18日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|寛永4年2月|<拝領>下総生実1万石「森川重俊」(⇒寛永9(1632)年1月25日、將軍徳川秀忠に殉死)

1627年3月18日-09:00|日本|栃木県真岡市|寛永4年2月|<拝領>下野真岡藩2万石余「稲葉正成」(息子正勝とは別に)譜代大名となる(~寛永5年9月17日(16281014)死去)

1627年3月26日-01:00|ドイツ| |||<死去>リッパ=デ・モルト伯「ジ・モン7世」

1627年3月26日-01:00|ドイツ| |||<就任>リッパ=デ・モルト伯「ジ・モン・ルード・ヴィヒ」(~16360808死去)

1627年4月-01:00|ルクセンブルグ/スペイン| |||<就任>スペイン領ルクセンブルグ総督兼総司令官「クリストフ・グラーフ・エムデン・フォン・オストフリスラント」(~1636年没)

1627年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アンニバレ・ロリ」「ヒ・エルアントニオ・ブリエリ」

1627年4月6日-09:00|日本|愛媛県松山市|寛永4年2月20日|<徐封>出羽上山藩4万石「蒲生忠知」宗家相続、天領となる⇒<再封>陸奥会津藩20万石(40万石減封され復活)⇒<転封>伊予松山藩24万石(~寛永11(1634)年8月18日、死去無嗣断絶)

1627年4月6日-09:00|日本|福島県会津若松市|寛永4年2月20日|<加増移封>伊予松山20万石「加藤嘉明」⇒陸奥会津藩43万5500石(⇒寛永8(1631)年9月12日、死去)

1627年4月6日-09:00|日本|福島県白河市|寛永4年2月20日|<加増移封>陸奥棚倉藩5万石「丹羽長重」⇒陸奥白河藩100700石(⇒寛永14(1637)年閏3月6日、死去)

1627年4月6日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|寛永4年2月20日|<立藩>陸奥三春藩3万石「加藤明利」会津藩領から分与(~翌年10月5日、陸奥二本松3万石へ転封)

1627年4月6日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|寛永4年2月20日|<移封>近江・山城・紀伊5万石「内藤信照」⇒陸奥国棚倉藩5万石(⇒寛文5(1665)年1月19日、死去)

1627年4月14日-09:00|日本|長崎県雲仙市|寛永4年2月28日|島原藩主松倉重政がキリシタンを雲仙岳火口へ投込む

1627年4月21日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「デ・イゴ・コイン」(~16340316)

1627年4月29日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|寛永4年3月14日|<加増移封>下野真岡藩12000石「堀親良」⇒下野烏山藩25000石(~寛永14年5月13日(16370705)死去)

1627年4月29日-09:00|日本|福島県二本松市|寛永4年3月14日|<加増移封>下野烏山藩20800石「松下重綱」⇒陸奥国二本松藩5万石(⇒同年10月2日、死去)

1627年5月2日-01:00|イタリア| |||<死去>ロ・ダ・ヴィ・グ・イターナ、イタリアの作曲家、音楽教師、フランス会の托鉢修道士(生年1560年)

1627年5月3日 00:00|イギリス| |||<死去>ヘット・フォード伯「エドワード・ラッセル」

1627年5月3日 00:00|イギリス| |||<就任>ヘット・フォード伯「フランス・ラッセル」先代の従兄弟(~16410509死去)

1627年5月6日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永4年3月21日|辻トマス、宿主ルイス、その長子ジョアンが火刑で殉教

1627年5月13日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス/フランス| |||セントクリストファー島はイングランドのセントクリストファー(中央)とフランスのサンクリストフ(両端)の別々の植民地に分割された(~17020716)

1627年5月17日-01:00|アントワープ| |||<就任>アントワープ公国共同大公「ウルヘルム・アントニー・ペレ」(~16320221)

1627年5月25日-09:00|日本|大阪府堺市|寛永4年4月11日|<死去>今井宗薫/76歳(誕生:天文21(1552))/茶人

1627年6月4日-01:00|フランス| |||<死去>モンパルシエ公・シャテルロー公「マリー・ド・ブルボン」

1627年6月4日-01:00|フランス| |||<就任>シャテルロー公「アンヌ・マリー・ルイズ・ド・ルアン」(~16930405死去)

1627年6月8日-09:00|日本|長野県伊那市|寛永4年4月25日|<死去>信濃国飯山藩3万石「佐久間安政」⇒次男「佐久間安長」が継ぐ(⇒寛永9年4月12日(16320530)死去)

1627年6月19日 00:00|イギリス| |||<就任>初代サンダーランド伯「エマヌエル・スクラブ」(~16300530死去)

1627年6月27日-01:00|フランス/カナダ| |||リシュリューがヌーベル・フランス社を設立し、カナダ植民を振興

1627年6月28日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジョヴァンニ・ルカ・シャヴァリ」(~16290628)

1627年7月2日 04:00|バルバドス/アンギラ/セントセザ/セントクリストファー・ネイビス/イギリス/セントルシア/英領ヴァージン諸島/アンティグア・バーブーダ/セントビンセント/グレナダ| |||アンギラ、グレナダ、バルバドス、セントセザ、ネイビス、セントルシア、アンティグア、バーブーダ、セントビンセント、アネガダ島がイングランド王チャールズ1世からカライル伯爵ジェームズに授与(カライル州の島々の一部として)

1627年7月30日-01:00|イタリア| |||イタリア地震(M6. 8)、死者5千人

1627年8月11日 00:00|マン島| |||<就任>マン島主「James1世 Stanley」(~16511015死去)

1627年8月17日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永4年7月7日|長崎のドミニコ第3会員らが殉教

1627年8月21日-01:00|イタリア| |||<死去>ジャック・モーデュー、フランスのルネサンス音楽の作曲家(生年1557年)

1627年8月27日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永4年7月17日|長崎のフランス第3会員らが殉教

1627年8月29日-09:00|日本| |||寛永4年7月19日|幕府が僧侶の諸出世法度を定める

1627年9月 00:00|モロッコ| |||<死去>モロッコ・スルターン(マラケシュ政権)「ムラーイ・ス・イダ・ン・アブ・マリー」

1640迄 (2503件)

1627年9月 00:00|モロッコ| |||<即位>サト朝マラケシュ政権第2代アミール「アブー・マルワン・アブド・アルマリク2世」(~16310310)
1627年9月6日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永4年7月27日|日本人バレンの辻トマスら6人が西坂で火刑に処せられる
1627年9月8日-01:00|スペイン| |||<死去>ファン・サンチェス・コタン、スペインのバロック画家(生年1560年)
1627年9月10日-01:00|フランス| |||<ラ・ロシェル包囲戦>フランス内戦開戦/ラ・ロシェルからルイ13世に対する最初の一弾が放たれ、第三次ウグノーの反乱が始まった
1627年9月12日-05:30|インド| |||<死去>アーデル・シャーヒー朝シャー「イブラヒム・アーデル・シャー2世」
1627年9月12日-05:30|インド| |||<即位>アーデル・シャーヒー朝シャー「ムハンマド・アーデル・シャー」(~16561104死去)
1627年9月25日-09:00|日本|群馬県沼田市|寛永4年8月16日|上野国沼田藩「真田信吉」、前橋城主酒井雅楽頭忠世(幕府老中)の娘と結婚
1627年9月30日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「Jan Pieterszoon Coen」(2期目~16290921)
1627年9月30日-08:00|中国| ||明・天啓7年8月22日|<死去>明第16代皇帝「天啓帝」/22歳(誕生1605年)
1627年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエトロ・トシニコルベッリ」「アントニオ・ジヤンニ」
1627年10月2日-08:00|中国| ||明・天啓7年8月24日|<即位>明第17代皇帝「毅宗崇禎帝(朱由検)」(~崇禎17年3月19日(1644年4月25日))
1627年10月12日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「申欽」(~16280729)
1627年10月22日-09:00|日本|長野県長野市|寛永4年9月14日|松代地震/M6、死者多数
1627年10月25日-09:00|日本|東京都台東区|寛永4年9月17日|藤堂高虎が屋敷内に上野東照宮創建<徳川家康、徳川吉宗、徳川慶喜を祀る>
1627年10月28日-05:30|インド| |||<死去>ムガル帝国皇帝「ジャハーンギール」58歳(誕生15690830)
1627年11月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主代行「レパダット」(~16280128)
1627年11月7日-09:00|日本|東京都中央区|寛永4年9月30日|<江戸日本橋寛永4年横山町の大火>日本橋の横山町あたりの寺町から出火した炎が、日夜、三日間も燃え続け、40か町、3000戸ほどを焼失させた/人形町付近にあった遊郭の吉原あたりまで延焼し、数多くの人々が死亡
1627年11月8日-05:30|インド| |||<即位>ムガル帝国第5代バード・イシャー・シャー・ジャハーン(~16580802) 16660122死去74歳
1627年11月8日-01:00|ドイツ| |||<死去>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「Louis2世」
1627年11月8日-01:00|ドイツ| |||<就任>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「William Louis」(~16400822死去)、「John4世」(~16290129)、「Ernst Casimir」(~16550416死去)
1627年11月8日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|寛永4年10月1日|<死去>大和小泉藩16400石「片桐貞隆」⇒長男「片桐貞昌」が継ぐ(弟「貞晴」に3千石分知し13488石⇒延宝元(1673)年11月20日、死去)
1627年11月9日-09:00|日本|福島県二本松市|寛永4年10月2日|<死去>陸奥国二本松藩5万石「松下重綱」⇒長男「松下長綱」が継ぐ(⇒翌年1月、陸奥三春藩3万石へ減移封)
1627年11月27日-01:00|チェコ| |||<即位>ボヘミア王「フェルディナント3世」(~16570402死去) 神聖ローマ皇帝
1627年12月21日-09:00|日本|埼玉県川越市|寛永4年11月14日|<死去>武蔵川越藩37000石「酒井忠利」⇒長男「酒井忠勝」が8万石で嗣ぐ(⇒寛永9(1632)年9月19日、武蔵のうちから2万石加増)
1627年12月21日-09:00|日本|埼玉県深谷市|寛永4年11月14日|<廃藩>武蔵深谷藩3万石「酒井忠勝」父の遺領武蔵川越藩を継ぐため
1627年12月25日-01:00|イタリア| |||<死去>マントヴァ公・モンフェットロ公「グインチンツォ2世・ゴンザーガ」
1627年12月25日-01:00|イタリア| |||<即位>マントヴァ公・モンフェットロ公「カルロ1世」フェデリコ2世の孫(~16370922死去)
1628年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ総督「Philip Lucaszoon」(~1631年)
1628年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>バントム大統領「Richard Bix」(~1629年)
1628年-07:00|カンボジア| |||<死去>カンボジア王国国王「チェイチェター2世」
1628年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「トンモレアチャ2世」(~1631年死去)
1628年-07:00|タイ| |||<即位>マンラーイ朝ランナー王「ルワンティッパネット」(~1655年)
1628年-04:00|ロシア| |||<即位>シビル・ハーン「アブレイ・ゲレイ」(~1631年)
1628年-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督「Aydin Pasha」(~1629年死去)
1628年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>カンデリア王国総督「フランチェスコ・モリ」(~1631年12月)
1628年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Kucuk Ahmed Pasha」(1期目~1629年)
1628年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リス・テ・クアマ、モノモタパ総司令官「ヌノ・アルバレス・ペレイラ」(3回目~1631年6月)
1628年-02:00|ウクライナ| |||<復位>クリミア・ハン国第26代ハン「ジャニベク・ギレイ」(2期目~1635年)
1628年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「アハサ・メフメド・パシャ」(~1629年)
1628年-01:00|オーストリア| |||<即位>前方オーストリア大公「フェルディナント・カール」(~1662年)
1628年-01:00|イタリア| |||<即位>ピオンビノー公「Philip」(~1634年)
1628年-01:00|クロアチア| |||<即位>ポルツァ大公「パヴ・オストギッチ」(~1632年)
1628年-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク公「アルブレヒト(8世)・フォン・ガレンシュタイン」(~1631年)
1628年-01:00|オランダ/インドネシア| |||中部・東部ジャバ全域を支配下に置いていたマタラム王国軍はバタヴィアを包囲攻撃/オランダ軍の艦砲射撃の前に敗走
1628年-01:00|フランス| |||フランスでペストが大流行
1628年-01:00|オランダ/インドネシア| |||マタラム王国:第3代アグンが第一回バタヴィア攻撃/失敗
1628年 00:00|イギリス| |||<死去>6代バカン女伯「メアリー・ダグラス」
1628年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<死去>サントメ植民地総督「Andre Goncalves Maracote」

1640迄 (2503件)

1628年 00:00|フェロ諸島| |||<死去>フェロ諸島首席大臣「Zacharias Thormodsen」
1628年 00:00|イギリス| |||<就任>初代ウィンチルシー女伯「エリザベス・フィンチ」(~16340323死去)
1628年 00:00|イギリス| |||<就任>初代トリバー・デイン伯「パトリック・マレー」(~1644年)
1628年 00:00|イギリス| |||<就任>ウィンチェスター侯「ジョン・ポレット」(~1674年)
1628年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督代理「Lourenco Pires de Tavora」(1期目~16301030)
1628年 00:00|イギリス| |||<就任>デズモンド伯「ジョージ・Feilding」(~16650131死去)
1628年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「アウグスチノ・アタレイ」(~1633年)
1628年 00:00|イギリス/セントクリストファー・ネイビス| |||イギリス人がカリブのサント島の植民に着手
1628年 00:00|ポルトガル/スリランカ| |||ポルトガルが、キャンディ王国からパティカマを奪取
1628年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「ジョアン・ペレイラ・デ・コレ・レアル」(~1632年)
1628年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「William Deane」(~1628. 6)
1628年 04:00|アンティグア・バブーバ/イギリス| |||<就任>バブーバ総督「ジョン・リトルトン」(~1632年)
1628年 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「ルイス・デ・セバステア・ガルシア・ケリア」(~1631年)
1628年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/フランス| |||<就任>フランス領アンティル総督「Pierre Belain d'Esnebuc」(~1636. 12死去)
1628年 04:00|アンティグア・バブーバ/イギリス| |||<設立>イギリス植民地バブーバ(バルバドス)
1628年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/フランス| |||<設立>フランス領アンティル(サンクリストフを含む[~17020716])~1762年)
1628年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サティアゴ対立総督「ヒロニモのサルト」
1628年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領マチュエッツ湾植民地総督「マシュー・クラドック」(~16291020)
1628年1月17日-01:00|イタリア| |||<即位>マントヴァ公兼モンフェラート公「カルロ1世」グリエルモ10世の弟ルイ4世の三男(~16370922死去)
1628年1月26日-01:00|ドイツ| |||ヴァレンシュタインが、メレンブルクを征服
1628年1月28日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「アレクサンドル4世イリウス」(2回目~1629年10月)
1628年1月29日-09:00|日本|京都府綾部市|寛永4年12月23日|<死去>丹波山家藩16000石「谷衛友」⇒翌年、四男「谷衛政」が継ぐ(弟「衛冬」に1500石、弟「衛之」に2500石、甥「衛清」に2千石分与し1万石⇒寛文2年12月2日(16630111)65歳で死去)
1628年1月30日-05:30|インド| |||<即位>ムガル帝国皇帝「シャー・ジャハーン」(~16580731退位)
1628年1月31日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|寛永4年12月25日|<死去>備中庭瀬藩29200石「戸川達安」⇒翌年2月、次男「戸川正安」が継ぐ(弟たちに所領を分与し22500石⇒寛文9年5月22日(16690620)死去)
1628年2月5日-09:00|日本|茨城県牛久市|寛永5年|<再封>常陸牛久藩15000石「山口重政」(⇒寛永12(1635)年9月19日、死去)
1628年2月5日-09:00|日本|群馬県沼田市|寛永5年|川場用水が完成し、横塚で白沢用水と合流する
1628年2月5日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永5年|長崎奉行所で奉行水野守信が踏絵を始める
1628年2月5日-08:00|中国| |||明・崇禎1年1月1日|明・崇禎と改元
1628年2月9日-09:00|日本|神奈川県|寛永5年1月5日|<加増立藩>2千石+相模国高座郡・愛甲郡8千石「松平信綱」⇒1万石(⇒寛永10年5月5日(16330611)忍藩3万石へ加増移封)
1628年2月12日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラタ大統領・総督・総司令官「大審問院」(~16300201)
1628年2月25日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||イングランド王チャールズ1世がモンゴメリー伯(後にペンブルック伯)フィリップ・ハーバートにトバゴを与える
1628年2月26日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|寛永5年1月22日|<減移封>陸奥国二本松藩5万石「松下長綱」⇒陸奥三春藩3万石(⇒寛永21(1644)年4月10日、乱心したとして改易)
1628年2月26日-09:00|日本|福島県二本松市|寛永5年1月22日|<転封>陸奥三春藩3万石「加藤明利」⇒陸奥二本松藩3万石(⇒寛永18(1641)年3月25日死去)
1628年3月3日-02:00|エストニア/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン・エストニア総督「フィリップ・フォン・シャイディング」(~16420717)
1628年3月3日 00:00|イギリス| |||<死去>ウスター伯「エドワード・サマセット」
1628年3月3日 00:00|イギリス| |||<就任>ウスター伯「ハンリー・サマセット」先代の子(⇒16430302ウスター侯~16461218死去)
1628年3月7日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ニューカッスル・オン・タイン伯「ウィリアム・キャヴァンディッシュ」(⇒16431027初代ニューカッスル・オン・タイン侯⇒16650316初代ニューカッスル・アポン・タイン公~16761225死去)
1628年3月12日 00:00|イギリス| |||<死去>ジョン・ブル、イングランドの作曲家、オルガン製作者(生年1562年または1563年)
1628年3月15日-09:00|日本|山形県上山市|寛永5年2月10日|<加増移封>下総相馬藩1万石「土岐頼行」⇒出羽上山藩25000石(⇒延宝6(1678)年8月16日隠居)
1628年3月27日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦3月17日|イングランド国王チャールズ1世が議会を召集/エドワード・ケック起草の「権利請願」が提出される
1628年4月 04:00|トリニダード・トバゴ/オランダ| |||(~1636. 12)オランダ西インド会社によるオランダ植民地ニューウォルシェンがヤン・ト・ムアに特許(1630~1634. 2、破棄される)
1628年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ラッタンツィオ・ヴァッリ」「スフォルツァ・シオーニ」
1628年4月2日-09:00|日本|岐阜県海津市|寛永5年2月28日|<改易>美濃高須藩53700石「徳永昌重」所領没収(勤務懈怠、出羽新庄に幽閉)
1628年4月2日-09:00|日本|京都府綾部市|寛永5年2月28日|<改易>丹波綾部藩2万石「別所吉治(播磨別所氏)」仮病で参勤を怠り、その裏で鷹狩をしていたことが発覚、別所氏滅亡、子に500石安堵
1628年4月6日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「カジ・エクリム・ヒュスレフ・パシャ」(~16311025)

1640迄 (2503件)

1628年4月17日-01:00|ドイツ| |||<死去>東フリース伯「Rudolf Christian」
1628年4月17日-01:00|ドイツ| |||<就任>東フリース伯「Ulrich2世」(~16481101死去)
1628年4月21日-09:00|日本|京都府京都市|寛永5年3月17日|京都の僧・安楽庵策伝が笑話集「醒睡笑」を著し所司代・板倉重宗に献呈(落語の祖)
1628年5月1日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウ総督「Francisco de Sousa」(~16300803)
1628年5月6日-09:00|日本|東京都中央区|寛永5年4月3日|中村座ほか焼失
1628年5月14日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール暫定首長「ゲラツ・フェルナンデス・ダ・シルベira」(~6.18)
1628年5月21日-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「アフマト・ビン・アフド・アル=ムッタリフ」(~16290922死去)
1628年5月23日-09:00|日本|長野県上田市|寛永5年4月20日|<死去>信濃上田藩6万石「仙石忠政」⇒長男「仙石政俊」が継ぐ(⇒寛文9(1669)年2月25日、隠居)
1628年6月 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「Charles Wolferston」(~16290226)
1628年6月2日-07:00|タイ/ポルトガル/スペイン/日本| ||寛永5年5月|スペイン船がシャムで朱印船を攻撃する。幕府、報復措置として、長崎のポルトガル船を抑留
1628年6月17日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦:1628/6/7|イングランド国王チャールズ1世(28)が、議会の提出した権利請願を裁可し、引き換えに財産難解消のための特別税を承認させる
1628年6月18日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「トルレ伯フェルナント・デ・マスカレンハス」(~1637年)
1628年6月19日-09:00|日本|東京都|寛永5年5月18日|江戸で地震。城壘多く崩れる
1628年6月20日 00:00|イギリス| |||<死去>第2代デヴォンシャー伯「ウィリアム・キャウエンデ・イッシュ」
1628年6月20日 00:00|イギリス| |||<就任>第3代デヴォンシャー伯「ウィリアム・キャウエンデ・イッシュ」先代の息子(~16841123死去)
1628年6月29日-09:00|日本|京都府南丹市|寛永5年5月28日|<改易>丹波八木藩2万石「別所吉治」
1628年6月29日-08:00|台湾/日本/オランダ| ||寛永5年5月28日|朱印船船頭の浜田弥兵衛が約170人の手勢でオランダ台湾長官府を襲撃して占領、オランダ台湾長官ヒール・ノイツら5人を拘束(7月3日没収されていた品や先住民を解放させた)
1628年7月-08:00|台湾/スペイン| |||スペインが淡水を占領、サント・ミンゴ(紅毛城)城建設
1628年7月 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス対立総督「John ハウエル」(~16280914)
1628年7月5日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「チャールズ・Wolverston」(~16290226)
1628年7月9日-06:30|ミャンマー| |||<死去>ビルマ国王「アヌハートルン」王子に暗殺される
1628年7月9日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ビルマ国王「ミネティ・イッパ」(~16300819)
1628年7月15日 00:00|イギリス| |||<死去>イングランド王国大蔵卿兼首席アトバ・イザー「レイ男爵・マールロー伯ジェームス・レイ」
1628年7月15日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド王国大蔵卿兼首席アトバ・イザー「ウェストン男爵・ホートランド伯爵リチャード・ウエストン」(2期目~16350313死去)
1628年7月18日-01:00|ドイツ| |||<死去>グェルテンベルク公「ヨハン・フリードリヒ」
1628年7月18日-01:00|ドイツ| |||<即位>グェルテンベルク公「エーバールト3世」(~16740702死去)
1628年7月22日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イングランド植民地ネイビス総督「アンソニー・ヒルトン」(1回目~1629年)
1628年7月22日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<設立>イングランド植民地ネイビス(1671年までバルバドスに從属)
1628年7月28日-09:00|日本|滋賀県|寛永5年6月27日|<死去>大久保忠隣(生年1553年)元相模小田原藩主、老中
1628年7月31日-08:00|中国| ||明・崇禎1年7月|海上武装船団の首領の鄭芝竜が明に降伏
1628年7月31日-08:00|中国| ||明・崇禎1年7月|給料の欠配で寧遠で明軍兵士が反乱
1628年8月-01:00|スペイン| |||スペインが平価50%切り下げ
1628年8月2日 00:00|イギリス| |||<就任>初代カナダ・グオン伯「ロバート・ド・マー」(~16430920死去)
1628年8月10日-01:00|スウェーデン| |||スウェーデン海軍の戦列艦「ヴァーサ」(1210t)が処女航海の直後に横転し沈没
1628年8月10日-09:00|日本|東京都|寛永5年7月11日|江戸で大地震。江戸城の石垣破損
1628年8月11日-09:00|日本| ||寛永5年7月12日|<死去>高仁親王、後水尾天皇第二皇子(1626年)
1628年8月23日 00:00|イギリス| |||<死去>バッキンガム公・コウエントリー伯「ジョージ・ウァリアス」ホーツマスで陸軍士官ジョン・フェルトンに暗殺される
1628年8月23日 00:00|イギリス| |||<就任>バッキンガム公・コウエントリー伯「ジョージ・ウァリアス」先代の子(~16870416死去廃絶)
1628年8月29日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|寛永5年8月|<交替>出羽亀田藩2万石「佐竹義隆」久保田藩の養嗣子となる⇒「岩城宣隆」が継ぐ(⇒明暦2(1656)年7月25日、隠居)
1628年8月30日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永5年8月2日|アントニオ・デ・サン・ガエタントゥラおよび第3会員らが殉教
1628年9月-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「バシヤシュ・メフメト・パシャ」(~1630年10月)
1628年9月7日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|寛永5年8月10日|<死去>遠江横須賀藩52500石(老中)「井上正就」江戸城西の丸で目付・豊島信満に突然殺害される(江戸城殿中刃傷の初め)(生年1577年)⇒10月、家督を長男「井上正利」が嗣ぐ(47500石⇒正保2(1645)年6月27日、常陸笠間藩5万石へ)
1628年9月8日-01:00|オランダ/スペイン| |||ヒート・ハイン提督のひきいる31隻のオランダ艦隊、キューバのマタンサ沖合いでスペイン船団を襲撃。30隻まるごと拿捕/1千2百万ペソ=1500万ゲルデン相当の黄金を略奪
1628年9月17日-09:00|日本|青森県弘前市|寛永5年8月20日|<藩庁改称>陸奥高岡藩47000石「津軽信枚」⇒陸奥弘前藩(⇒寛永8年1月14日(16310214)死去)
1628年9月26日-09:00|日本|群馬県前橋市|寛永5年8月29日|<死去>上野総社藩1万石「秋元長朝」83歳⇒嫡男「秋元泰朝」が継ぐ(~寛永10(1633)年2月3日、甲斐谷村藩18000石へ加増移封)
1628年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ベルツィ」「ミシェル・アンジエロ・ブシニャーニ」

1640迄 (2503件)

1628年10月2日-09:00|日本|山形県山形市|寛永5年9月5日|<死去>出羽山形藩22万石「鳥居忠政」⇒長男「鳥居忠恒」が継ぐ(⇒寛永13(1636)年7月7日、死去改易)

1628年10月10日 00:00|イギリス| ||<死去>デズモンド伯「リチャード・ブレトン」

1628年10月12日-09:00|日本|京都府京都市左京区|寛永5年9月15日|藤堂高虎が南禅寺山門を再建落慶

1628年10月14日-09:00|日本|栃木県真岡市|寛永5年9月17日|<死去>下野真岡藩2万石余「稲葉正成」⇒次男「稲葉正勝」が継ぐ(自領常陸国柿岡藩2万石を足して相続し、合計4万石⇒寛永9(1632)年11月23日、相模小田原藩8500石へ加増移封)

1628年10月28日-01:00|フランス| ||フランス、ユグノーの最後の拠点となったラ・ロシェルが、国王軍によって陥落

1628年10月31日-09:00|日本|福島県二本松市|寛永5年10月5日|<移封>陸奥三春藩3万石「加藤明利」⇒陸奥二本松3万石(⇒寛永18(1641)年3月25日、死去改易)

1628年11月4日-09:00|日本|香川県仲多度郡琴平町|寛永5年10月9日|三好氏、温泉郡湯山金毘羅神像を造立

1628年11月6日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永5年10月11日|<就任>老中「森川重俊」(~寛永9年1月24日)、「青山幸成」(~寛永20年2月16日)

1628年11月24日-09:00|日本|新潟県新発田市|寛永5年10月29日|<死去>越後新発田藩6万5500石「溝口宣勝」⇒長男「溝口宣直」が継ぐ(1万5500石を弟「宣秋」「宣俊」「宣知」に分与、5万石⇒寛文12(1672)年9月7日、隠居)

1628年11月26日-08:00|中国| ||明・崇禎1年11月|陝西で王嘉胤ら率いる農民の大反乱が開始、李自成や張騫中も参加

1628年12月2日-09:00|日本|千葉県|寛永5年11月7日|<死去>小野派一刀流開祖「小野忠明」(69歳、生年1569年)徳川将軍家指南役

1628年12月4日-09:00|日本|京都府京都市西京区|寛永5年11月9日|松尾社火災

1628年12月11日-01:00|イタリア| ||<死去>モデナ・レッジョ公「フェザレ」

1628年12月11日-01:00|イタリア| ||<即位>モデナ・レッジョ公「アルフォンソ3世」(~1629.7退位~16440526死去)

1628年12月11日-09:00|日本|大分県佐伯市|寛永5年11月16日|<死去>豊後佐伯藩2万石「毛利高政」70歳⇒次男「毛利高成」が継ぐ(⇒寛永9年11月7日(16321218)死去)

1628年12月13日-07:00|タイ| ||<死去>アユタヤ王朝第24代国王「ホー・ロマーチャー1世ソナム」

1628年12月13日-07:00|タイ| ||<即位>アユタヤ王朝第25代国王「ホー・ロマーチャー2世フェーターティラート」(~1629年死去)

1628年12月16日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「吳允謙」(~16310922)

1629年-08:00|インドネシア/イギリス| ||<就任>パナム大統領「ジョージ・Muschamp」(1期目~1630年)

1629年-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Gijssbert van Lodestein」(~1633年)

1629年-08:00|インドネシア| ||中部・東部ジャワ全域を支配下に置いていたマタラム王国軍はバタヴィアを包囲攻撃/コレラの流行で敗走

1629年-08:00|マレーシア| ||マラヤのアチ王国がマラッカを攻撃

1629年-07:00|タイ| ||<死去>アユタヤ王朝第25代国王「ホー・ロマーチャー2世フェーターティラート」

1629年-07:00|タイ| ||<即位>アユタヤ王朝第26代国王「アティッタヤウォン」(36日間)⇒<即位>アユタヤ王朝第27代国王「サンヘット5世プラーサートン」(~1656年死去)

1629年-05:30|インド| ||<改名>プーリア国(ジャギール)⇒シャーフ王国

1629年-05:00|カザフスタン| ||<即位>カザフ汗国ハン「ジャンギル」イシムの子(~1680年)

1629年-03:00|イェメン/トルコ| ||<死去>オスマン帝国サ総督「Aydin Pasha」

1629年-03:00|イェメン/トルコ| ||<就任>オスマン帝国サ総督「Kansuh Bey」(~1635.10)

1629年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ラザロ・モチエーゴ」(~1631年)

1629年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Mustafa Pasha IV」(1期目~1630年)

1629年-02:00|サンピエール/ポルトガル| ||ポルトガルとムタパ国が条約を締結し、キリスト教に改宗

1629年-01:00|アルジェリア/トルコ| ||<就任>アルジェのパシャ「ユヌス」(~同年)

1629年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「ヘルセク・ムラト・パシャ」(~1630年)

1629年-01:00|イタリア| ||<即位>トレント司教公「Carlo Emanuele Madruzzo」(~1658年)

1629年 00:00|イギリス| ||<死去>初代マルバラ伯「ジェームズ・リー」

1629年 00:00|イギリス| ||<就任>19代キャリック伯「チャールズ・ステュアート」先代の長男(~同年)

1629年 00:00|イギリス| ||<就任>初代アソル伯「ジョン・マレー」(~1642.6死去)

1629年 00:00|イギリス| ||<就任>第2代マルバラ伯「ヘンリー・リー」(~16380401死去)

1629年 00:00|カナダ/オランダ| ||<就任>オランダ領ゴールド=コースト総裁「ニコラ・ヴァン・イペレン」(1637年からエルメで~16390718)

1629年 00:00|イギリス| ||<就任>コンウォール公「チャールズ・ジェームズ」チャールズ1世の子(~同年死去)

1629年 00:00|フェロー諸島| ||<就任>フェロー諸島首席大臣「Joen Justinussen」(~1654年死去)

1629年 00:00|イギリス| ||イングランド王チャールズ1世は議会を解散(以後11年間議会を召集せず、専制政治を行なう)

1629年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| ||<就任>イングランド植民地セントクリストファーズ総督代行「ジョージ・ドン」(~1630年)

1629年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| ||<就任>イングランド植民地ネイビス総督「ジョージ・ヘイ」

1629年 04:00|ボリビア/スペイン| ||<就任>ラ・プラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「ディエゴ・デ・エグイス・イ・ボモン」(~1630年)

1629年 04:00|サン・マルタン/フランス| ||フランスは、サン・クリストフから「オルレアン」と呼ばれる場所でサン・マルタンの東海岸に定住開始(~1633年)

1629年 05:00|ハイチ/イギリス/フランス/スペイン| ||ファトリカ・アルバレス・デ・トレド・オリオの下、スペインがイギリスとフランスの海賊を破り、トルトゥーガ島を占領(~1630年)

1640迄 (2503件)

1629年 06:00|アメリカ| |||プエルトリコのサンヘルマン、フランス人海賊に襲撃される
1629年1月12日-09:00|日本|山形県米沢市|寛永5年12月18日|米沢藩主上杉定勝が藩士を含む領内のキリシタンを処刑
1629年1月14日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「John ハウエル」(2期目~4. 9)
1629年1月14日 05:00|ペルー/スペイン| |||<就任>ペルー副王「チンチョン伯ルイス・ヘロニモ・フェルナンデス・デ・カブレラ・ボハデ・イ・ジャセル・タ・イ・メントーサ」(~16391218)
1629年1月15日-01:00|フランス| |||フランス「ミショ」法」発布/貴族に対して、不要な「城塞」の破却や不要な武器収集の禁止/国王による軍事権と警察(ポリス)権の独占
1629年1月17日-01:00|フランス/ポルトガル| |||数十年前にポルトガルの駐フランス大使ジャン・ニコ(ニコチンに名前を残す)によって紹介されたタバコに、宰相リュリュエが煙草税をかける
1629年1月19日-03:30|イラン| |||<死去>サファヴィー朝シャー「アッバース1世」熱病で/71歳(誕生1557年)
1629年1月23日-09:00|日本|福島県いわき市|寛永5年12月29日|<死去>陸奥窪田藩2万石「土方雄重」⇒長男「土方雄次」が継ぐ(⇒延宝7(1679)年11月27日、隠居)
1629年1月24日-08:00|中国| |||明・崇禎2年|江蘇大倉州の張溥らが江南の知識人を集めて東林党の精神を引き継いだ政治結社「復社」設立
1629年1月25日-09:00|日本|東京都葛飾区|寛永6年|禅那院日忠、題経院日栄が題経寺(柴又帝釈天)創建
1629年1月25日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永6年|「崇福寺」中国福建出身の人々が故郷の明僧・超然を迎えて創建
1629年1月25日-09:00|日本|福島県相馬市|寛永6年|<石直し>陸奥中村藩4万9234石「相馬義胤」⇒6万石(~慶安4(1651)年3月5日死去)
1629年1月27日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヒロニムス・フレイトリウス、北ドイツの作曲家、オルガニスト(生年1560年)
1629年1月28日-03:30|イラン| |||<即位>サファヴィー朝シャー「サフィ1世」(~16420512死去)
1629年1月30日 03:00|ブラジル| |||アントニオ・ホセ・タバレスが指揮するバンデイランテス、グアイア地方のイエズス会ミッションを襲撃、ゲアラニ族4千人を捕らえる
1629年2月11日-09:00|日本|愛媛県松山市|寛永6年1月18日|松山領に水無又兵衛らを首謀者とする一揆が起こり城主蒲生忠知これを平定する
1629年2月23日-09:00|日本|東京都墨田区|寛永6年2月|日舜江戸中ノ郷に妙縁寺を創す
1629年2月26日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「John Powell」(~16290829)
1629年2月26日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|寛永6年2月4日|<死去>但馬豊岡藩25000石「杉原長房」⇒長男「杉原重長」が継ぐ(⇒寛永21(1644)年10月28日、29歳で死去)
1629年3月11日-09:00|日本|岡山県倉敷市|寛永6年2月17日|<死去>備中岡田藩10343石「伊東長実」⇒次男「伊東長昌」が継ぐ(⇒寛永17(1640)年9月18日死去)
1629年3月12日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦3月2日|イングランドのチャールズ1世が議会を解散し、無議会時代が始まる
1629年3月15日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Juan de Rivera y Zambrana」(~1634年)
1629年3月20日 03:00|ブラジル| |||アントニオ・ホセ・タバレスと別のバンデイランテ、マニエル・モラト・コレヨ、3千名の大军でヘスマリアのミッションを襲撃
1629年3月23日 00:00|イギリス| |||<死去>ウェストモランド伯「フランス・フェイン」
1629年3月23日 00:00|イギリス| |||<就任>ウェストモランド伯「マイルド・メイ・フェイン」先代の子(~16660212死去)
1629年3月29日-01:00|ドイツ| |||神聖ローマ皇帝フェルディナント2世が回復令を発し、新教徒の領土を旧教徒に返還させる
1629年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マルクアントニオ・ボネッティ」
1629年4月9日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「ヘンリー・Howley」(1期目~同年)
1629年4月19日-01:00|イタリア| |||<死去>ジズモント・ディンディア、イタリアの作曲家(生年1582年頃)
1629年4月23日-09:00|日本|東京都|寛永6年3月|幕府、辻斬り防止のために江戸府下に辻番所を設置
1629年4月23日-07:00|ベトナム| |||大越黎朝・徳隆1年4月|大越後黎朝6代・神宗が徳隆と改元(-1634)
1629年4月30日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領サチューセッツ湾植民地総督「ジョン・エンデコット」(~16300612)
1629年5月1日-01:00|ノルウェー/スウェーデン| |||<就任>ノルウェー総督「クリストファー・ウルネ・ティル・アースマルク」(~16420430)
1629年5月1日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Francisco Manuel de Silva Nieto」(~16320523)
1629年5月13日 00:00|イギリス| |||<就任>ロシエ公(スコットランド王位の法定推定相続人)「Prince Charles James」(~同日死去)コンウォール公・キャリック伯
1629年5月22日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||デンマーク王クリスティアン4世(52)が、神聖ローマ帝国とリュベックの和約を結んでドイツに侵入しないことを約束
1629年5月29日-09:00|日本| |||寛永6年4月7日|<死去>八条宮智仁親王、皇族・歌人、八条宮(桂宮)家の初代(生年1579年)
1629年5月30日-09:00|日本|高知県四万十市|寛永6年4月8日|<死去改易>土佐中村藩2万石「山内政豊」無嗣断絶
1629年6月16日-01:00|ドイツ| |||ヴァレンシュタインが、メクレンブルク公に封じられる
1629年6月17日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/スペイン/イギリス| |||イングランド植民地ネイビスをスペインが占領(~1630年)
1629年6月26日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「アントニア・スピノラ」(~16310626)
1629年6月28日-01:00|フランス| |||フランス王ルイ13世、「ラ・ロシェル和議」により、プロテスタントの武装権を剥奪する「アレスの王令」を出す/「ナント王令」(1598年)など故アンリ4世が認めた過去の「勅令」による「諸特許」が取り消される(ユグノーの政治的・軍事的特権を撤廃する)/プロテスタントの信仰の自由は保たれる

1640迄 (2503件)

1629年7月-01:00|イタリア| |||<即位>モナ・レツジョ公「フランチェスコ1世」(~16581014死去)
1629年7月-01:00|イタリア| |||<退位>モナ・レツジョ公「アルフォンソ3世」(~16440526死去)
1629年7月6日-09:00|日本|京都府京都市|寛永6年5月16日|長雨で鴨川・高野川が氾濫し、三条大橋が壊れる
1629年7月17日-01:00|ハンガリー/イタリア| |||皇帝軍が、イタリアのマントヴァを占領
1629年7月19日 06:00|カナダ/イギリス| |||イギリスがケベックを占領し、シャンパンを捕虜とする
1629年7月29日-05:30|インド/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領インド 総督「フレイ・ルイス・デ・フリト・エ・メセス」
1629年7月29日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「統治委員会 (ヌノ・アルバレス・ボテリョ/ローレンソ・ダ・ケニャ/ゴンサロ・ピント・ダ・フォンセカ)」(~10. 21)
1629年8月 04:00|BES諸島/フランス| |||サンタナシア島をフランスが短期間領有宣言
1629年8月29日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領バミューダ 総督「ロジャー・ウット」(~1637年)
1629年8月29日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス 総督代理「ロバート・Wheatley」(~9月)
1629年8月30日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア 総督「アレクサンドル5世コーン」(~1630年5月)
1629年9月7日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/スペイン| |||<就任>スペイン領セントクリストファーズ 総督「ファトリケ・アルバレス・デ・トレド・オリオ」(~1630年)
1629年9月7日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/スペイン/イギリス/フランス| |||スペインがセントクリストファー島のフランスとイギリスの植民地を占領(~1630年)
1629年9月12日-09:00|日本|京都府京都市北区|寛永6年7月25日|紫衣事件/紫衣法度に背いた大徳寺の沢庵宗彭らを流刑に処す
1629年9月19日-09:00|日本|千葉県安房郡鋸南町|寛永6年8月3日|<死去>安房勝山藩2万石「内藤正勝」継嗣が幼く減封廃藩⇒旗本5000石
1629年9月22日-03:00|サウジアラビア| |||<死去>メッカ・シャリフ「アフマド・ビン・アフド・アル=ムツリフ」
1629年9月22日 00:00|イギリス| |||<死去>第5代サセックス伯「ロバート・ラドクリフ」
1629年9月22日 00:00|イギリス| |||<就任>第6代サセックス伯「エドワード・ラドクリフ」(~1643. 8死去)
1629年9月23日-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「マサド・ビン・イドリス」(~16301203死去)
1629年9月25日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ 領東インド 総督「Jacques Specx」(~16320927)
1629年9月26日-02:00|ラトビア/スウェーデン/リトアニア/ポーランド| |||ポーランド・リトアニアがリガ・オニア公国西部(リガ・オニアと現代の南部エストニア)をスウェーデンへ暫定的に割譲(16350912、延長~16600503確認)/ポーランド・リトアニアは、リガ・オニア公国東部を保持
1629年9月26日-02:00|リトアニア/スウェーデン/ドイツ| |||メメルはスウェーデンが占領。スウェーデンのプロイセンの一部(~1635年7月)
1629年9月26日-01:00|ポーランド/スウェーデン/リトアニア| |||プロイセン地方のアルマルクでアルマルク休戦協定(スウェーデン・ポーランド 戦争の休戦協定)/8年間に渡った両国の戦争の事実上の終戦協定/スウェーデンはリフランド(リガ・オニア)を獲得/スウェーデンはメーメル、ダウツィヒ平原の諸都市の徴税権を獲得する(プロイセン船舶関税)/スウェーデン守備兵のプロイセン北岸への駐留/スウェーデンは東プロイセンをプロシア公国に返還/ポーランド・リトアニア共和国はグスタフ・アドルフのスウェーデン王位を容認(実質的には保留)
1629年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「オrazio・ベルツツィ」「フェデリコ・ゴジ」
1629年10月14日-09:00|日本|京都府京都市|寛永6年8月28日|<就任>関白「一条兼選」
1629年10月15日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア 総督・領主「レオン・トムサ」(~1632年8月)
1629年10月17日-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)「バルタサル・カルロス」フェリペ4世の長男(~16460309死去)兼ポルトガル公(王位継承者)(~16401201、ポルトガルにおけるハプスブルク朝の終焉)
1629年10月20日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領マサチューセッツ湾植民地 総督「ジョン・ウィンスロップ」(~16340514)
1629年10月21日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「リナルス伯ミゲル・デ・ノニャ」(~16351209)
1629年10月22日-09:00|日本| |||寛永6年9月6日|武家諸法度を更定
1629年10月26日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿代行判事「イーリーのロフタス子爵アダム・ロフタス(2回目)」(コーク伯リチャード・ボイル)(~16330725)
1629年10月26日-09:00|日本|京都府京都市東山区|寛永6年9月10日|清水寺炎上。堂塔坊舎全焼亡
1629年10月30日 05:00|バハマ/イギリス| |||イングラントがバハマを含むアメリカの領土をロバート・ヒス卿に授与
1629年11月1日-01:00|イタリア| |||<死去>ヘンドリック・テル・ブルッヘン、オランダの画家(生年1588年)
1629年11月13日-09:00|日本|東京都文京区|寛永6年9月28日|江戸小石川の水戸藩邸に「後樂園」が完成
1629年11月14日-09:00|日本|奈良県御所市|寛永6年9月29日|<死去>大和御所藩2万6380石「桑山貞晴」無嗣廃絶/弟に500俵支給
1629年11月15日-02:00|ルーマニア| |||<死去>トランシルヴァニア大公「ガボール・ベスレン・イタリ」誕生:1580)
1629年11月15日-08:00|中国/モンゴル| |||金・天総3年;明・崇禎2年10月|後金のスレ・ハ軍がモンゴリア経由で長城をこえて北京へ進攻
1629年11月16日-02:00|ルーマニア| |||<就任>トランシルヴァニア摂政「カリーナ・ベスレン」(~16300928)
1629年12月 04:00|チリ/スペイン| |||<就任>チリ 総督「フランシスコ・ラ・ベガ・アルバラド」(~1639年5月)
1629年12月7日-09:00|日本| |||寛永6年10月23日|江戸幕府が風紀を乱すとして女浄瑠璃・女歌舞伎等を禁じる
1629年12月15日-09:00|日本|東京都大田区|寛永6年11月|池上本門寺本堂再建
1629年12月21日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス 総督「Sir William Tufton」(~16300716)
1629年12月22日-09:00|日本|京都府京都市|寛永6年11月8日|<就任>摂政「一条兼選」(~寛永11年9月26日)
1629年12月22日-09:00|日本|京都府京都市|寛永6年11月8日|<譲位>108代「後水尾天皇」/<踐祚>女一宮
1629年12月23日-01:00|イタリア| |||<死去>グエッソイア共和国第96代トージェ(元首)「ジョヴァンニ・コルネーリ1世」
1630年-08:00|マレーシア| |||<死去>ペラ・スルタン「マフムド・シャー1世」
1630年-08:00|マレーシア| |||<即位>ペラ・スルタン「サレデイン・シャー」(~1636年没)
1630年-07:00|タイ| |||タイの王位継承争いで山田長政が暗殺され、日本人が没落

1640迄 (2503件)

1630年-06:30|ミャンマー| |||ヒルマ語の「マハラジャ法典」がなる
1630年-05:30|インド| |||<建国>ワトワン国
1630年-05:30|インド| |||<建国>ワトワン国
1630年-05:00|パキスタン| |||<即位>パルティスタン国王「アフマト・カーン」⇒「アフダール・カーン」(~1636年)
1630年-04:00|ジョージア| |||カルトリはカヘティに併合
1630年-03:00|ジブチ| |||<即位>タジュラ・スルタン国スルタン「デ・ニ・ビン・ムハンマド」
1630年-03:00|マダガスカル| |||<即位>メリナ王国君主「King Andriantsitakatrandriana」(~1650年)
1630年-03:00|ジブチ| |||<即位>ラハイト・スルタン「アフドゥリ」
1630年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Nawaya Mehmed Pasha」(~1631年)
1630年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのパシャ「フセイン・パシャ」(2回目~1634年)
1630年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「メフメド・パシャ・ハムソグール」(~1632年)
1630年 00:00|ガーナ/オランダ/ポルトガル| |||オランダ、奴隷貿易の支配を狙い、西アフリカのアクシム、シャマのポルトガル奴隷基地を占領
1630年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファース 総督「トマス・ワーナー卿」(2度目~16480310)
1630年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地ネイビス総督「アンソニー・ヒルトン」(2度目~1631年)
1630年 04:00|ボリビア/スペイン| |||<就任>ラ・フラタ・デ・ロス・チャルカス聴問庁長官「デ・イエゴ・ムニョス・デ・ケジヤル」(2回目~1632年)
1630年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューハンプシャー植民地ロウアー・プランテーション総督「ウォルター・ニール」(~1633年)
1630年 06:00|ニカラガ/スペイン| |||<就任>ニカラガ総督「フランシスコ・デ・アザグレイ・バルガス」(~1634年)
1630年1月18日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィア共和国第97代トージェ(元首)「ニコ・コンタリーニ」(~16310402死去)
1630年1月26日 00:00|イギリス| |||<死去>ヘンリー・ブリッグス、イングランドの数学者(生年1556年)常用対数を考案したことで知られる
1630年2月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのペイレル・イ「ハサン・パシャ」(~1631年10月)
1630年2月-01:00|アンゴラ/オランダ/ポルトガル| |||オランダはアンゴラ奪取
1630年2月1日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌエバ・グラタ大統領・総督・総司令官「ソラカ侯爵サンチョ・ヒロン・デ・ナルバエス」(~16371004没)
1630年2月12日-09:00|日本| ||寛永7年|寛永の禁書令(キリスト教関連漢訳洋書の輸入禁止)
1630年2月12日-09:00|日本|千葉県香取市|寛永7年|<拝領>下総矢作藩1万石「三浦正次」(~寛永16(1639)年1月14日、下野壬生藩25000石へ)
1630年2月12日-09:00|日本|東京都江東区|寛永7年|稲荷大神を鎮座して深川稲荷と称す
1630年2月13日-09:00|日本|兵庫県丹波市|寛永7年1月2日|<死去>丹波国柏原藩36000石「織田信則」⇒長男「織田信勝」が継ぐ(~慶安3(1650)年5月17日死去無嗣断絶)
1630年2月16日 03:00|ブラジル/オランダ| |||<就任>オランダ領ブラジル総督「ヘンドリック・コネリズ・ゾーン・ロンク」(~5. 5)
1630年2月16日 03:00|ブラジル/オランダ| |||オランダ西インド会社がブラジル北東部オランダを占領(~1648年)
1630年2月26日 00:00|イギリス| |||<死去>ウィリアム・ブレイク、イングランド出身の作曲家、ヴァイオリニスト(生年1560年)
1630年3月3日 03:00|ブラジル/オランダ/ポルトガル| |||ベルナド・コでのポルトガル人の抵抗が終了。オランダはレソフェ、オランダ、アントニオ・バス島を支配下におさめ、「新オランダ」と名づける(~16540126)
1630年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「リビ・オ・ベリチエリ」「ヒ・エル・マリノ・リッチ」
1630年4月2日 00:00|イギリス| |||<死去>シュルースベリー伯・ウォーターウード伯「ジョージ・タルボット」
1630年4月2日 00:00|イギリス| |||<就任>シュルースベリー伯・ウォーターウード伯「ジョン・タルボット」先代の甥(~16540208死去)
1630年4月10日 00:00|イギリス| |||<死去>ペンブルク伯「ウィリアム・ハーバート」
1630年4月10日 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルク伯「フィリップ・ハーバート」モントゴメリー伯(~1649. 5)
1630年4月17日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト＝ベルンブルク侯「Christian1世」
1630年4月17日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト＝ベルンブルク侯「Christian2世」(~16560922死去)
1630年4月22日-09:00|日本|山形県西村山郡大江町|寛永7年3月10日|<死去改易>出羽左沢藩12000石「酒井直次」無嗣
1630年4月30日 00:00|イギリス| |||<死去>初代アングルー伯「クリストファー・ウァリアーズ」
1630年4月30日 00:00|イギリス| |||<就任>2代アングルー伯「チャールズ・ウァリアーズ」先代の息子(~1661年死去)
1630年5月5日 03:00|ブラジル/オランダ| |||<就任>オランダ領ブラジル総督「ヨルク・デ・イ・テ・リッヒ・ファン・ワテンボルフ」(~1632年)
1630年5月11日-09:00|日本|福岡県大牟田市|寛永7年3月29日|<死去>筑後三池藩1万石「立花種次」⇒長男「立花種長」が継ぐ(⇒天和2(1682)年2月27日、隠居)
1630年5月12日-09:00|日本| ||寛永7年4月1日|幕府が日蓮宗の一派・受不施派を弾圧
1630年5月24日-09:00|日本|徳島県阿南市|寛永7年4月13日|<死去>平島公方「足利義種」⇒嫡男「平島義次」が継ぐ(⇒延宝8年1月28日(16800228)死去)
1630年5月29日 00:00|イギリス| |||<就任>ロズ公(スコットランド王位の法定推定相続人)・コンウォール公・20代キャリック伯「チャールズ・ステュアート」チャールズ1世の子(~16490130スコットランド王チャールズ2世として即位)チェスター伯
1630年5月30日-02:00|ラトヴィア/スウェーデン| |||リヴォニアのスウェーデン領部分はリガに首都を持つリヴォニア公国(または県)として正式に組織
1630年5月30日 00:00|イギリス| |||<死去>初代サンダーランド伯「エマエル・スクループ」
1630年6月-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「モイーズ・モキウ」(1回目~1631年12月)

1640迄 (2503件)

1630年6月10日-09:00|日本|奈良県宇陀市|寛永7年4月30日|<死去>大和宇陀松山藩3万石「織田信雄」織田信長の次男(生年1558年)⇒五男「織田高長」が継ぐ(⇒万治2(1659)年12月23日、隠居)

1630年6月12日 00:00|イギリス/アメリカ| ||イギリス人900名がセラムに到着し、マサチューセッツ植民を開始

1630年6月19日 04:30|ペネル・エラ/スペイン| ||<就任>スペイン領ペネル・エラ総督「Pedro Nunez Melian」(~16371028)

1630年6月23日 06:00|アメリカ/スペイン| ||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「アントニオ・デ・ベシエラス」(~1631.7)

1630年6月24日 00:00|イギリス| ||<死去>デヴァン伯「ウィリアム・コートニー」

1630年6月24日 00:00|イギリス| ||<死去>ノザンブトン伯「ウィリアム・コンプトン」

1630年6月24日 00:00|イギリス| ||<就任>デヴァン伯「フランス・コートニー」(~16380603死去)

1630年6月24日 00:00|イギリス| ||<就任>ノザンブトン伯「スペンサー・コンプトン」(~16430319死去)

1630年6月27日-09:00|日本|神奈川県|寛永7年5月17日|<加増>相模国高座郡・愛甲郡ほか1万石「松平信綱」+上州白井および阿保で5千石⇒15000石(⇒寛永10(1633)年5月5日、武蔵忍藩3万石に加増移封)

1630年7月6日-01:00|ドイツ/スウェーデン| ||スウェーデン王グスタフ2世がドイツに侵攻、30年戦争第3ラウンドへ

1630年7月10日-08:00|中国| ||明・崇禎3年6月|流賊の張献忠が陝西で起兵

1630年7月16日 04:00|バルバドス/イギリス| ||<就任>イギリス領バルバドス総督「ヘンリー・Hawley」(2期目~1633年)

1630年7月17日-01:00|ドイツ/イタリア| ||皇帝軍がイタリアのマントヴァを占領

1630年7月22日-09:00|日本|栃木県さくら市|寛永7年6月13日|<死去>喜連川藩4500石(10万石格)「喜連川頼氏」⇒孫「喜連川尊信」が継ぐ(⇒慶安元(1648)年12月、隠居)

1630年7月26日-01:00|フランス/イタリア| ||<死去>サヴォイア公「カルロ・エマヌエーレ1世」

1630年7月26日-01:00|フランス/イタリア| ||<即位>サヴォイア公「ヴィットーリオ・アマデオ1世」(~16371007死去)

1630年7月28日-09:00|日本| ||寛永7年6月19日|<寛永7年北九州、京都及び越前大風雨、洪水>京都で三条大橋の石の橋台が洪水で押し流された/越前では洪水、死亡するもの二百数十人という大災害

1630年8月2日-05:30|スリランカ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領セイロン総督代行「ランサロー・デ・セシヤス・カブレラ」(~3ヶ月間)⇒「フリオ・マスカレニャス」(1回目~1631年)

1630年8月3日 00:00|ポルトガル| ||<就任>マテウス暫定総督「Jeronimo Fernando」(3期目~1634.1)

1630年8月5日-01:00|イタリア| ||<即位>ナポリ王国アルフィ侯オットー・ビッコロミニ(~16560811)

1630年8月19日-06:30|ミャンマー| ||<即位>ビルマ国王「タラ」(~16480827没)インワからペーゲーへ遷都

1630年9月 06:00|コスタリカ/スペイン| ||<就任>コスタリカ総督「フアン・デ・ベシヤル」(~1634年没)

1630年9月4日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「マヌエル・ペレイラ・コウチニョ」(~1634年)

1630年9月17日-01:00|オランダ/ドイツ| ||<死去>ゲルト司令官「ハントリック・ファン・ネルトロップ」

1630年9月17日 06:00|アメリカ| ||ピュリタン植民者がマサチューセッツ湾植民地に建設した町を「ボストン」と呼ぶことを宣言

1630年9月24日-01:00|ドイツ| ||<死去>シュヴァルツブルク＝ルドルフシュタット伯「カール・ギューター」

1630年9月28日-02:00|ルーマニア| ||<即位>トランシルヴァニア大公「イシュトヴァーン・ベスレニ・イクリ」(~11.26)

1630年10月-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「コカム・サパ・シャ」(~1631年、辞任)

1630年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ベルツォ・ベルツィ」「リナルド・ラニエリ」

1630年10月6日-09:00|日本|茨城県笠間市|寛永7年9月|<交替>常陸宍戸藩5万石「秋田実季」蟄居⇒「秋田俊季」が継ぐ(⇒正保2(1645)年7月10日、陸奥三春藩55000石へ移封)

1630年10月7日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「フアン・ベトリアン・デ・ウイモンテ」(~16341023)

1630年10月17日-09:00|日本|京都府京都市|寛永7年9月12日|<即位>109代「明正天皇」女一宮(~16431003)

1630年10月29日 06:00|アメリカ| ||最初のマサチューセッツ総会議開催。選挙法(ケンブリッジ合意)を制定

1630年10月30日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<就任>サントメ植民地総督「Francisco Barreto de Meneses」(~1632年死去)

1630年11月5日-01:00|スペイン/イギリス| ||リクス暦10月26日|マドリッド条約が結ばれ、イギリスとスペインが和約

1630年11月9日-01:00|イタリア| ||ヴェネツィア共和国595人ペストで死亡

1630年11月9日-09:00|日本|三重県津市|寛永7年10月5日|<死去>伊勢津藩32万3千石「藤堂高虎」(75歳、生年1556年)⇒長男「藤堂高次」が継ぐ(⇒寛文9(1669)年9月29日、隠居)

1630年11月11日-01:00|フランス| ||リリューが、マリーとガストン・ド・レアン陰謀を摘発し、マリーはブリュッセルに逃亡

1630年11月15日-01:00|ドイツ| ||<死去>ヨハネス・ケプラー、ドイツの数学者、自然哲学者、天体物理学者(58歳、15711227生)ケプラーの法則

1630年11月19日-01:00|ドイツ| ||<死去>ヨハン・ヘルマン・シャイン、ドイツの作曲家(生年1586年)

1630年11月26日-02:00|ルーマニア| ||<即位>トランシルヴァニア大公「ジェルジ・男爵ラコッチ・フェル・オ・ウァタージ」(~16481011没)

1630年11月29日 00:00|ポルトガル| ||<就任>8代ブラガンサ公・3代バルセロス公・7代ヴァイ・ヴァイザ侯・12代オウム伯・9代アラヨス伯・9代ネグリア伯「ジョアン2世」兼6代ギマランイス公「ジョアン4世」(~16451027)1640年にポルトガル王に即位

1630年11月30日-01:00|イタリア| ||ベネツィアで11月の死亡者1万4465人に達する

1630年12月3日-03:00|サウジアラビア| ||<死去>メッカ・シャリフ「マサド・ビン・イドリス」

1630年12月3日-03:00|サウジアラビア| ||<就任>メッカ・シャリフ「アブドゥッラー1世・ビン・ハッサン」(~16310829)

1630年12月9日-09:00|日本|長崎県島原市|寛永7年11月6日|<死去>肥前島原藩43000石「松倉重政」⇒嫡男「松倉勝家」が継ぐ(⇒寛永15年4月4日(16380517)、悪政の責任を問われ改易)

1630年12月19日-09:00|日本|長崎県島原市|寛永7年11月16日|<死去>肥前国日野江藩藩主「松倉重政」島原の乱の原因を作った(生年1574年)⇒嫡男の「松倉勝家」が継ぐ(~寛永15年4月4日(16380517)改易所領没収)

1631年-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>アンボン島オランダ総督「Artus Gysels」(~1634年)

1640迄 (2503件)

1631年-07:00|カンボジア| |||<死去>カンボジア王国国王「トマリヤチヤ2世(ホ・ニャー・ト)」
1631年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「アントン・レアチヤ」(~1640年死去)
1631年-05:30|スリランカ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セイロン総督「ホルヘ・デ・アルメイダ」(1期目~1633年)
1631年-05:30|インド| |||<即位>アフマド・ナガル王国国王「フサイン・ニザム・シャ-3世」(~1633年)
1631年-05:30|インド| |||コタ国がブーテンディから分離
1631年-03:00|イラク/イラン| |||<就任>バグダッド総督「ベクタシュ・カン・ギョルチュ」(~1639年)
1631年-03:00|ケニア/ポルトガル| |||モンバサのスルタンがポルトガル支配に反旗
1631年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ジャンパ・ッティスタ・フォスコロ」(~1634年)
1631年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>カンデリア王国総督「ロレンツォ・コンタリニ」(~1636年)
1631年-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド総督「ガブリエル・フリヘ・オクセンスチエルナ」(~1633年)
1631年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Cevzak Suleyman Pasha」(~同年)
1631年-01:00|ドイツ| |||<再位>メクレンブルク=シュヴェーリン公「アドルフ・フリートリヒ1世」(~16580227死去)
1631年-01:00|フランス| |||<死去>オマル公「シャルル」
1631年-01:00|チュニジア| |||<死去>ムラート朝ベイ「ムラート1世」
1631年-01:00|フランス| |||<就任>サン=ポル伯「アンリ2世」ロンクウール公(~1662年)
1631年-01:00|チュニジア| |||<即位>ムラート朝ベイ「ハムダ・ハッシャ」(~1666年死去)
1631年-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク=キュストロー公「ヨハン・アルフレヒト2世」ヨハン7世の息子(~16360423死去)
1631年-01:00|サンマリノ| |||教皇ウルバヌス8世よりサンマリノが独立を承認される
1631年-01:00|チャド| |||チャドのバギルミー王ブルモンダが即位し、最盛期をむかえる
1631年 00:00|セネガル/フランス| |||<死去>セネガルのノルマン商会総督「トマス・ランペール」
1631年 00:00|カリヤ諸島| |||<死去>ランサローテ島領主「Agustin2世 de Herrera y Rojas」
1631年 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ガーンジー島管理人「Jean de Quetteville」(~1644年)
1631年 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>スペインのポルトガル副王「政府ジュンタ(代表:アントニオ・デ・アタイト、カスタンヘイラ伯、カストロ・デ・アバ)」(~1632.3)
1631年 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>セネガルのノルマン商会総督「ジャック・フム・エ・ション」(~1641年)
1631年 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル国務長官「フェリペ・デ・メスキタ」(~1634年)
1631年 00:00|フェロー諸島| |||<就任>ランサローテ島領主「Agustin3世 de Herrera y Rojas」(~1632年死去)
1631年 00:00|モロッコ| |||モロッコでアリー・ユースフがアラウィー朝をおこす
1631年 04:00|セントクリストファー=ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地ネイビス総督「トマス・リトルン」(~1634年没)
1631年 04:00|シント=マルテン/オランダ| |||<就任>オランダ植民地シント=マルテン司令官「Jan Claeszoon van Campen」(~16330702)
1631年 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「カビルド・デ・アスンシオン」(~1633年)
1631年 04:00|シント=マルテン/オランダ| |||<設立>シント=マルテン島の南端にオランダの入植地(~16330702)
1631年 05:00|ハイチ/イギリス| |||<就任>イギリスのトルトゥーガ総督「アンソニー・ヒルトン」(~16340121没)
1631年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サンティアゴ総督「ファン・マルティネス・アラナ」(~1637年)
1631年 05:00|ハイチ/イギリス| |||アンソニー・ヒルトンら、プロビデンス会社を結成しトルトゥーガに英国植民地。アソエ=ション島と名づける(~1635年)
1631年 05:00|ハイチ/フランス| |||セント=クリストフ島から逃れたフランス人年期奉公人、トルトゥーガ島の対岸ポルト・ベ近くのエスカーニョ=ラ本島に植民
1631年1月-01:00|リヒ/アトルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリタニア=ベイルベイル「サスリ・オスマン・ハッシャ」(~16720429)
1631年1月2日-09:00|日本|大阪府松原市|寛永7年11月30日|<死去>河内丹南藩1万石「高木正次」63歳⇒長男「高木正成」が継ぐ(上総国内3000石を加増され13000石⇒寛永12(1635)年3月11日、49歳で死去)
1631年1月3日-09:00|日本|東京都台東区|寛永7年12月|幕府林道春をして江戸上野忍岡に学寮を建立
1631年1月23日-01:00|フランス/スウェーデン| |||フランスが、スウェーデンとのベルグアルデ協定を結んで軍事資金援助を約束
1631年1月24日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Enrique Henriquez de Sotomayor」(~1635年)
1631年1月26日-01:00|フランス| |||<死去>ヴェルテンブルク=メンベルグ公「ルートヴィヒ・フリートリヒ」
1631年1月26日-01:00|フランス| |||<即位>ヴェルテンブルク=メンベルグ公「レオポルト・フリートリヒ」ルートヴィヒ・フリートリヒの息子(~16620615死去年)
1631年2月1日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・崇禎4年|望遠鏡がイエズス会宣教師により朝鮮へ伝わる
1631年2月1日-09:00|日本|茨城県石岡市|寛永8年|<加増>常陸府中藩14000石「皆川隆庸」+近江浅井郡内4000石⇒18000石(⇒正保2(1645)年3月2日、死去)
1631年2月1日-09:00|日本|愛媛県松山市|寛永8年|宍済ら和氣郡大宝寺を再興
1631年2月1日-09:00|日本|群馬県吾妻郡東吾妻町|寛永8年|<設置>信州街道に大戸関所
1631年2月1日-09:00|日本|群馬県多野郡上野村|寛永8年|<設置>十石街道に白井関所
1631年2月1日-09:00|日本|群馬県利根郡みなかみ町|寛永8年|<設置>三国街道に猿ヶ京関所
1631年2月1日-09:00|日本|東京都江戸川区|寛永8年|大和の人秀円僧都が「東福院」建立
1631年2月1日-09:00|日本|東京都港区|寛永8年|<創建>日延、覚林寺<日蓮宗>「清正公さま」
1631年2月1日-08:00|中国| ||明・崇禎4年|<即位>ヤルカント・ハン「アフマド(フラト)」シュジャウウディーン・アフマドの孫(第一治世~1632年、追放)
1631年2月10日-09:00|日本|兵庫県たつの市|寛永8年1月10日|<死去>播磨新宮藩1万石「池田重利」⇒長男「池田重政」が継ぐ(⇒慶安4(1651)年6月20日、死去)

1640迄 (2503件)

1631年2月14日-09:00|日本|青森県弘前市|寛永8年1月14日|<死去>陸奥弘前藩47000石「津轻信枚」⇒長男「津轻信義」が継ぐ(⇒明暦元(1655)年11月25日、死去)

1631年3月7日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ 王国マニココ「アンブローズ1世ニミ・ア・ンカガ」殺害される

1631年3月7日-09:00|日本|栃木県大田原市|寛永8年2月5日|<死去>下野大田原藩12400石「大田原晴清」⇒長男の「大田原政清」が継ぐ(⇒万治4年3月5日(16610404)死去)

1631年3月8日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ 王国マニココ「アルバロ4世ジジ・ンガ・ア・ンカウ」(~16360224没)

1631年3月8日-09:00|日本|静岡県浜松市|寛永8年2月6日|<死去廃藩>遠江井伊谷17000石「近藤秀用」子の「季用」「用義」たちに分与細分化したため⇒旗本

1631年3月10日 00:00|モロッコ| |||<死去>モロッコ・スルタン(統一政権)「アフ・マルワン・アフド・アルマリク2世」

1631年3月10日 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ・スルタン(統一政権)「アル・ワリド」(~16360221死去)

1631年3月31日 00:00|イギリス| |||<死去>ジョン・ダン、イングランドの詩人、作家(生年1572年)

1631年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「メルキオール・マッジョ・ベルツィ」「ピエール・アントニオ・ジヤンギ」

1631年4月2日-01:00|イタリヤ| |||<死去>ヴェネツィア共和国第97代ドーージェ(元首)「ニコロ・コンタリーニ」

1631年4月2日-09:00|日本|大阪府岸和田市|寛永8年3月|<高直し>和泉岸和田5万石「松平(松井)康重」⇒6万石(⇒寛永17(1640)年6月27日、73歳で死去)

1631年4月10日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ヴェネツィア共和国第98代ドーージェ(元首)「フランチェスコ・エリツォ」(~16460103死去)

1631年4月11日-09:00|日本|山形県西村山郡大江町|寛永8年3月10日|<死去改易>出羽左沢藩1万2000石「酒井直次」無嗣断絶。宗家出羽庄内藩に吸収

1631年4月13日-01:00|ドイツ| ||ユリウス暦4月3日|ゲスターグ2世が、フランクフルト・アン・オーデルを占領

1631年4月23日-01:00|イタリヤ| |||<死去>ウルビーノ公「フランチェスコ・マリーア2世・デッラ・ローヴェレ」

1631年5月 00:00|イギリス/バハマ| |||イギリス人がサント・カタリ島に植民地を建設

1631年5月3日-09:00|日本|東京都台東区|寛永8年4月2日|浅草寺焼失

1631年5月15日-09:00|日本|石川県金沢市|寛永8年4月14日|<金沢寛永8年の大火>巳の刻(午前10時ごろ)、犀川の近く、法船寺門前町にある2軒の家の間から火が出て、瞬く間に同寺の薬師堂に火が飛び、客殿、庫裏に延焼/次いで炎は河原町一帯の町家に移り、南の風にあおられて片町から香林坊へと広がり、また本町から東に炎は進み、城の惣構の外を立町から千石町、堂形辺り一面を火の海とした/炎は城内の辰巳櫓から本丸に延焼し城内一面が火の海となった/火の粉は江戸町まで飛び、田井口から金屋町まで焼いて勢いはようやく止んだ/城下の中心部や城内など1万軒を焼いた/火災の原因は盗みをする目的での放火

1631年5月18日 06:00|アメリカ| |||マチュー・セツ湾植民地で制限選挙法を制定

1631年5月20日-01:00|ドイツ| |||新教派の都市マゲブルクが、神聖ローマ帝国の将軍ティリに攻撃され陥落

1631年5月30日-01:00|フランス| |||テオラスト・ルノーが、フランス最初の新聞の「ガゼット」(週刊)を創刊

1631年6月-02:00|モザンビーク/ボツワナ| |||<就任>モザンビーク、ソファワ、リオス・テ・クアマ、モ・モタパ 総司令官代行「クリストヴァン・デ・ブリト・デ・ウ・アスコニェス」(~1632年)

1631年6月17日-05:30|インド| |||<死去>ムタース・マハル、ムガル帝国王妃(生年1595年)

1631年6月19日-01:00|フランス/ドイツ/イタリヤ| |||ケラスコの和約が結ばれ、マントヴァ継承戦争が終結/フランス軍と皇帝軍がイタリヤから撤退

1631年6月21日 00:00|イギリス| |||<死去>ジョン・スミス、イギリスの軍人、探検家(生年1580年)アメリカ合衆国バージニア州ウィリアムズバーグ市内に北アメリカでは白人による最初の恒久的植民地となったジェームズタウンを建設

1631年6月27日-09:00|日本|山梨県|寛永8年5月28日|将軍家光の弟で駿河府中藩55万石「徳川忠長」が、近年粗暴なふるまいが多いという理由で甲斐に蟄居

1631年6月30日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドーージェ「レオナルド・デラ・トルレ」(~16330630)

1631年7月16日 00:00|イギリス| |||<死去>9代エドワード「フランス・ヘイ」

1631年7月16日 00:00|イギリス| |||<就任>10代エドワード「ウィリアム・ヘイ」(~16361207死去)

1631年7月17日-09:00|日本|山梨県都留市|寛永8年6月18日|<死去>甲斐谷村藩35000石「鳥居成次」⇒「鳥居忠房」が嗣ぐ(⇒翌年10月28日、駿河大納言忠長の改易に伴い、除封)

1631年7月19日-08:00|中国/日本| ||寛永8年6月20日|幕府が奉書船制度を導入し、中国船にも糸割符を適用

1631年8月1日-09:00|日本|岐阜県揖斐郡大野町|寛永8年7月4日|<死去>美濃野村藩1万石「織田長則」無嗣断絶

1631年8月9日-09:00|日本|静岡県富士宮市|寛永8年7月12日|大石寺諸堂焼失

1631年8月26日-09:00|日本|兵庫県赤穂市|寛永8年7月29日|<死去改易>播磨赤穂藩35000石「池田政綱」無嗣

1631年8月26日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|寛永8年7月29日|<加増>播磨山崎藩38000石「池田輝澄」+弟「政綱」遺領播磨佐用郡3万石⇒68000石(⇒寛永17(1640)年7月26日家内の不治により因幡鹿野に蟄居改易)

1631年8月29日-03:00|サウジアラビア| |||<就任>メッカ・シャリフ「ムハンマド・ベイン・アブドゥラ」(~16320317殺害される)、「ザイド・ベイン・モフセン」(~16320317)

1631年8月30日-01:00|フランス| |||<死去>メヌ伯「シャルル7世」

1631年8月30日-01:00|フランス| |||<就任>メヌ伯「フェルディナンド」(~16320525死去)

1631年8月31日-09:00|日本|千葉県佐倉市|寛永8年8月4日|<死去改易>下総三浦藩1万石「三浦重勝」27歳、無嗣

1631年9月3日-09:00|日本|兵庫県赤穂市|寛永8年8月7日|<加増移封>播磨佐用25000石「池田輝興」廃藩⇒播磨赤穂藩35200石(⇒正保2(1645)年3月20日、改易)

1631年9月6日-09:00|日本|兵庫県姫路市|寛永8年8月10日|<交替>播磨姫路新田藩5万石「本多政朝」父「本多忠政」遺領・播磨姫路藩15万石を継ぐ⇒従兄弟「本多政勝」(4万石⇒寛永15年11月20日(16381225)、宗家播磨姫路藩15

1640迄 (2503件)

万石を継ぎ、長男「本多勝行」が継ぐ・弟「本多忠義」(1万石を加え5万石⇒寛永16(1639)年3月3日、遠江掛川藩7万石に加増移封)が継ぐ
1631年9月6日-09:00|日本|兵庫県姫路市|寛永8年8月10日|<死去>播磨姫路藩15万石「本多忠政」⇒次男「本多政朝」が継ぐ(⇒寛永15年11月20日(16381225)死去)
1631年9月21日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督代理「ニコラス・ホンセ・デ・レオン」「エウヘニオ・デ・エスピノサ」(~16330729)
1631年9月26日-09:00|日本|東京都北区|寛永8年9月|<開始>矢切の渡し
1631年9月27日-01:00|ドイツ/スウェーデン| |||ユリウス暦9月17日|ブライトンフェルトの戦いで、グスターヴ2世のスウェーデン軍とザクセン軍の連合軍が、ティリーの皇帝軍を破る
1631年10月-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ハリル・パシャ」(~16330401)
1631年10月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのベイルベイ「ハイルム・パシャ」⇒「ホシュタク・ムサ・パシャ」(1回目~16340630)
1631年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フルゲンツィオ・マッジョーニ」「ヴァンチンツォ・ザンペーニ」
1631年10月3日-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Suleyman Pasha」(~1632年)
1631年10月7日-09:00|日本|福島県会津若松市|寛永8年9月12日|<死去>陸奥会津藩43万5500石「加藤嘉明」(69歳、生年1563年)⇒長男「加藤明成」が継ぐ(⇒寛永20(1643)年5月2日、改易)
1631年10月10日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「尹昉」(~16360715)
1631年10月25日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ハフス・アフメト・パシャ」(2期目~16320210)
1631年10月31日-09:00|日本|長野県伊那市|寛永8年10月7日|<死去>信濃高遠藩3万石(徳川譜代)「保科正光」⇒11月12日、養子「保科正之」が継ぐ(⇒寛永13(1636)年7月21日、出羽国山形藩20万石)
1631年11月 03:00|ブラジル/オランダ/ポルトガル| |||オランダ軍、ポルトガル人の攻勢の前にオリンダを放棄。パラハのCabedelo砦、リカランデ、リオ・フォルモ、カピ・ジ・サント・アゴスティーニョなどで攻勢に出るが、いずれも敗退
1631年11月7日-01:00|フランス| |||水星が太陽面を通過する「日面通過」をフランスの天文学者がガッサンティが初観測
1631年11月13日-09:00|日本| |||寛永8年10月20日|幕府新寺の建立禁止令を発す
1631年11月25日-01:00|ドイツ/スウェーデン| |||ユリウス暦11月15日|グスターヴ2世がヴァイテンベルクを占領
1631年12月5日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「アレクサンドル・イリア」(2回目~1633年4月)
1631年12月13日-09:00|日本|京都府京都市|寛永8年閏10月20日|幕府が、京都に牢人、キリスト教徒を隠匿したり寺院を密かに建てることを禁止
1631年12月16日-01:00|イタリア| |||ヴェスヴィオ火山がふたたび噴火、1万8千人の犠牲者
1631年12月22日 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー知事「Thomas Jermyn卿」(1期目~16430829)
1631年12月26日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「ペドロ・エステバン・ダ・ピラ」(~16371129)
1632年-08:00|インドネシア| |||<即位>サンバウ・パネハ王「Anom Kesumayuda」(~1670年)
1632年-08:00|インドネシア| |||<即位>テリスラン「Tuanku Panglima Gocah Pahlawan」(~1669年)
1632年-08:00|インドネシア| |||フレボン王国(西部ジャワのイスラム教国)マタラム王国の属国に
1632年-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督「アレント・ガー・デ・イニス」(1回目)⇒「デ・イヴァ・イット・ヒーターズ・グー・ン・ト・フリス」(~1633年)
1632年-05:30|インド| |||<即位>ウイジャナガル王国(アウラ・イット・ウ朝)国王「ウエンカ3世」(~1642年)
1632年-05:30|インド| |||ムガル皇帝シャール・ジャハーン(40)の愛妃のための廟「タージ・マハル」の建設が始まる
1632年-05:00|モルデイグ| |||<即位>ウターム朝スルタン「Muhammad Imaduddin1世 Kula Sundhura Katthiri Bavana」(~1648年)
1632年-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝大宰相「ミルザ・タリフ・カン・ナシリ・オールド・ウバ・デ・イ」(2回目~16340723)
1632年-03:00|エチオピア| |||<即位>オサ・イラム国イラム「Malaq Adan sadiq」(~1646年)
1632年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Nogay Pasha」(~16331227)
1632年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス(総督)「Ilyas Pasha」(~1633年)
1632年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・デ・クア、モノモタパ総司令官「デ・イゴ・デ・ソウザ・デ・メネズ」(2回目~1633年)
1632年-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン=エシウエーゲ方伯「フリードリヒ」ヘッセン=カッセル方伯モーリッツの四男(~16550924, 1代で断絶)
1632年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ハタット・ハサン・パシャ」(1回目)⇒「アルノー・ムスタファ・パシャ」(~1633年)
1632年-01:00|クロアチア| |||<即位>ポルツァ大公「ジュレ・パヴァー」(~1655年)
1632年-01:00|フランス/ドミニカ国| |||ドミニカ島にフランス人が植民開始
1632年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<死去>サントメ植民地総督「Francisco Barreto de Meneses」
1632年 00:00|カリヤ諸島| |||<死去>ランサローテ島領主「Agustin3世 de Herrera y Rojas」
1632年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー管理者「フランシスコ・ヌネス・デ・アントゥーテ」(~1634年)
1632年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督代理「Lourenco Pires de Tavora」(2期目~1636.4)
1632年 00:00|カーナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールドコースト長官「ペドロ・デ・マスカレンハス」(~16340627没)
1632年 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>ランサローテ島領主「Luisa Bravo de Guzman」(~16611124死去)
1632年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「クリストヴァン・デ・カブラル修道士」(~1636年)
1632年 03:00|ブラジル/オランダ| |||<就任>オランダ領ブラジル総督「評議員:マティアス・ヤンセン・ファン・セウレン/ヨハン・ギゼリン/ヨハネス・デ・ブライネー/ホレス・カランド・リーニ/パウルス・ヤンス・セロスケレン」(~16340901)

1640迄 (2503件)

1632年 04:00|アンティグア・バ・ブー・ダ / イギリス | |||<就任>アンティグア総督「トマス・ワナー」(~1635年)
1632年 04:00|モントセリト / イギリス | |||<就任>イギリス植民地モントセリト総督「Anthony Brisket」(~1649年死去)
1632年 04:00|ポリビア / スペイン | |||<就任>ラ・プラタ・デ・ロス・チャカス聴問庁長官「フランシスコ・デ・アルファロ」(~同年)
1632年 04:00|アンティグア・バ・ブー・ダ / イギリス | |||英国、アンティグア島を確保、入植地を建設/バ・ブー・ダはアンティグアの属領になる(~1685年)
1632年 04:00|モントセリト / イギリス | |||アンティグアの一部としてのイギリス植民地モントセリト
1632年 05:00|パナマ / スペイン | |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「セバスチャン・ウルタド・デ・コルケラ・イ・ガビリア」(~1634年)
1632年 06:00|アメリカ / オランダ | |||<就任>オランダ領ニューネーデルラント指導者「セバスティアン・ヤンセン・クロール」(~1633年)
1632年 06:00|ホンジュラス / スペイン | |||<就任>コマヤグア県総督「フランシスコ・マルティネス・デ・リバモンタン・サンタナール」(~1639年)
1632年1月 00:00|アイルランド / イギリス | |||<就任>アイルランド総督「初代ストラフォード伯爵トマス・ウェントワース」(~1640. 1)
1632年1月13日-09:00|日本|滋賀県東近江市|寛永8年11月22日|<死去改易>近江大森藩1万石「最上義俊」嗣子幼少(⇒翌年、嫡子義智が名跡を継ぎ5千石)
1632年2月3日-09:00|日本|栃木県栃木市|寛永8年12月13日|<死去>下野榎本28000石「本多忠純」家臣に暗殺される⇒甥「本多政遂」が継ぐ(⇒寛永15年7月29日(16380907)死去)
1632年2月10日-02:00|トルコ | |||<就任>オスマン帝国大宰相「トパル・レフ・パシャ」(~5. 18)
1632年2月20日-08:00|中国 | |||明・崇禎5年|<即位>ヤルカント・ハ「マフムト」(クルチ)「アフマト」の兄弟(~1635年、毒殺される)
1632年2月20日-08:00|中国 | |||明・崇禎5年|<廃位>ヤルカント・ハ「アフマト」(フラト)「追放
1632年2月21日-01:00|イタリア | |||ガリガが「天文対話」を刊
1632年2月23日-01:00|イタリア | |||<死去>ジャン・バティスト・バジール、イタリアの詩人、軍人(生年1575年)
1632年2月24日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|寛永9年1月5日|<死去改易>美濃加納藩10万石「松平(奥平)忠隆」嫡子右京幼少のため
1632年3月 00:00|ポルトガル / スペイン | |||<就任>スペインのポルトガル副王「Nuno de Mendonca」(~16330512)
1632年3月1日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|寛永9年1月11日|<加増移封>武蔵騎西藩2万石「大久保忠職」⇒美濃加納藩5万石(⇒寛永16(1639)年3月3日、播磨明石藩7万石へ加増移封)
1632年3月14日-01:00|スペイン | |||<死去>スペイン領メキシコ総督「Luis de Sotomayor」
1632年3月14日-01:00|スペイン | |||<就任>スペイン領メキシコ総督「Pedro Moreo」(~1633年)
1632年3月14日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永9年1月24日|<解任>老中「森川重俊」秀忠の死に殉ずる
1632年3月14日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永9年1月24日|<死去>江戸幕府第2代将軍、大御所「徳川秀忠」54歳(誕生:天正7(1579)0407)
1632年3月15日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|寛永9年1月25日|<死去>下総生実1万石「森川重俊」将軍徳川秀忠に殉死⇒長男「森川重政」が継ぐ(⇒寛文3(1663)年1月23日、死去)
1632年3月17日-03:00|ササアラビア | |||<死去>メッカ・シャリフ「ムハンマド・ビン・アブドゥラ」殺害される
1632年3月17日-03:00|ササアラビア | |||<就任>メッカ・シャリフ「ナミール・ビン・アブドゥル・アルムタリブ」「アブドゥル・アル・アジズ・ビン・イトリス」(~6. 22解任)
1632年3月29日-01:00|フランス / カタ | |||フランスが、サン・ジェルマン・アン・レー条約によりケックとアカディアを回復
1632年4月-07:00|タイ / ミャンマー | |||ランナーはビルマが占領(~1663年)
1632年4月1日-01:00|サンマリノ | |||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエトロ・トシーニ」「エウァンゲリスタ・ベルツツィ」
1632年4月5日-01:00|デンマーク | |||<就任>デンマーク王国執事「フランス・ランツァウ・テイル・ランツァウスホルム」(~11. 5没)
1632年4月15日-01:00|ドイツ / スウェーデン | |||スウェーデン軍が、レ河畔の戦いで神聖ローマ皇帝軍を破る
1632年4月18日-08:00|インドネシア / オランダ | |||<就任>オランダ領東インド総督「Hendrik Brouwer」(~16360101)
1632年4月30日-02:00|リトアニア | |||<死去>ポーランド王・リトアニア大公「ジークマンタス4世」
1632年4月30日-02:00|リトアニア | |||<即位>リトアニア大公「ジョナス・スタニスロフ・アス・サビエカ」大元帥(~16330206)
1632年4月30日-01:00|スウェーデン | |||<死去>前スウェーデン王国国王「シグスムント」65歳
1632年5月 04:00|ポリビア / スペイン | |||<就任>ラ・プラタ・デ・ロス・チャカス聴問庁長官「ファン・デ・カルバハル・イ・サンデ」(~1635年)
1632年5月1日 03:00|ブラジル / オランダ / ポルトガル | |||反攻に出たオランダ部隊、イタマコ島近くのイカラスを占拠
1632年5月3日 06:00|アメリカ / スペイン | |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Francisco de la Mora Ceballos」(~1634. 11)
1632年5月10日-09:00|日本|岐阜県郡上市|寛永9年3月21日|<死去>美濃八幡藩27000石「遠藤慶隆」⇒6月28日、養子の「遠藤慶利」が継ぐ(⇒正保3(1646)年6月28日、38歳で死去)
1632年5月18日-02:00|トルコ | |||<就任>オスマン帝国大宰相「タハ・スヤッ・マフムト・パシャ」(~16370202)
1632年5月21日-09:00|日本|岡山県岡山市|寛永9年4月3日|<死去>備前岡山藩31万5200石「池田忠雄」⇒長男「池田光仲」が継ぐ(⇒同年6月18日、因幡鳥取藩32万石へ移封)
1632年5月24日-09:00|日本|岐阜県|寛永9年4月6日|<改易>美濃国内1万石「脇坂安信」池田長順事件に連座
1632年5月25日-01:00|フランス | |||<死去>メヌ伯「フェルディナンド」
1632年5月25日-01:00|フランス | |||<就任>メヌ伯「シャルル8世」(~不詳)
1632年5月25日-09:00|日本|岡山県高梁市|寛永9年4月7日|<死去>備前松山藩65000石「池田長幸」46歳⇒長男「池田長常」が嗣ぐ(⇒寛永18年9月6日(16411010)死去無嗣断絶)
1632年5月30日-09:00|日本|長野県飯山市|寛永9年4月12日|<死去>信濃国飯山藩3万石「佐久間安長」⇒長男「佐久間安次」が継ぐ(⇒寛永15(1638)年11月20日、9歳で死去無嗣断絶)
1632年6月2日-01:00|オランダ | |||<就任>ネーデルラント連邦共和国フリースラント州総督「デ・イツ伯ヘンドリック・ガミール1世」「デ・イツ伯エルンスト・ガミールの子」(~16400713死去28歳)
1632年6月20日 00:00|イギリス / アメリカ | |||ユリウス暦: 1632/6/10|チャールズ1世が、ポルトモア卿カルハートにメーラントを与える

1640迄 (2503件)

1632年6月22日-03:00|サウジアラビア| |||<解任>メッカ・シャリフ「ナミール・アブド・アルムッタリフ」「アブド・アルアジズ・ビン・イドリス」
1632年6月24日-03:00|サウジアラビア| |||<再任>メッカ・シャリフ「サイト・ビン・モフセン」(2度目~16660706死去)
1632年7月9日-09:00|日本|熊本県熊本市|寛永9年5月22日|<改易>肥後熊本藩51万5000石「加藤忠広」徳川忠長事件に連座、出羽庄内に幽閉
1632年7月10日-01:00|フランス| |||<死去>オマル公・スル公「アンリ1世・ド・サヴォワ=スル」
1632年7月10日-01:00|フランス| |||<就任>スル公「ルイ・ド・サヴォワ=スル」アンリ1世の息子(~16410916死去)
1632年7月17日-09:00|日本|山形県鶴岡市|寛永9年6月1日|<吸収分与>出羽庄内藩13万8000石「酒井忠勝」+出羽左沢藩1万2000石+加藤忠広に1万石(出羽丸岡藩)分与⇒14万石(⇒正保4(1647)年10月17日、死去)
1632年7月17日-09:00|日本|山形県鶴岡市|寛永9年6月1日|<分与立藩>出羽丸岡藩1万石「加藤忠広」(⇒承応2(1653)年閏6月8日、死去無嗣により断絶改易)
1632年7月21日-09:00|日本|愛知県豊橋市|寛永9年6月5日|<死去>三河吉田藩3万石「松平忠利」⇒8月、「松平忠房」が継ぐ(~8月12日三河刈谷藩へ移封)
1632年7月22日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<死去>スペイン領フィリピン諸島総督「フアン・ニニョ・デ・タラ」
1632年7月22日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「Lorenzo de Olaso y Achotegui」(~1633年)
1632年8月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ラドゥ・イリア」(~9.20)
1632年8月3日-09:00|日本|岡山県岡山市|寛永9年6月18日|<移封>因幡鳥取藩32万5千石「池田光政」⇒備前岡山藩31万5千石(⇒寛文12(1672)年6月11日、隠居)
1632年8月3日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|寛永9年6月18日|<移封>備前岡山藩31万5200石「池田光仲」⇒因幡鳥取藩32万石(⇒貞享2(1685)年6月、隠居)
1632年8月7日 00:00|イギリス| |||<死去>19代オックスフォード伯「ロバート・ウエアー」
1632年8月7日 00:00|イギリス| |||<就任>20代オックスフォード伯「オーブリー・ウエアー」先代の子(~17030312死去休止)
1632年8月14日-01:00|ドイツ| |||<即位>フアルツ=スルツァハ公(フアルツ系グイッテルスハ家)「クリスティアン・アウグスト」(~17080423死去)
1632年8月20日-09:00|日本| |||寛永9年7月5日|幕府訴訟・裁判の法度を出す
1632年9月1日-01:00|フランス| |||南フランスの「カステルダリの戦い」で、ラングドック総督「モンランシー公」アンリの反乱が敗北
1632年9月1日-09:00|日本|山形県上市市|寛永9年7月17日|紫衣事件で羽州上山の土岐頼行に預けられていた沢庵和尚(宗彭)、許されて江戸へ帰る
1632年9月3日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永9年7月19日|グティエス、石田アントニオ、V・カルヴァリヨ、城ジョエロニモらが長崎で殉教
1632年9月7日-01:00|ベルギー/オランダ| |||リンブルフをオランダが占領(~16351101)
1632年9月13日-01:00|イタリア| |||<死去>チロル伯「Leopold 5世」
1632年9月13日-01:00|オーストリア/イタリア| |||<即位>前方オーストリア大公・チロル伯「フェルディナント・カール」(~16621230死去)
1632年9月17日-03:00|エチオピア| |||<死去>エチオピア帝国(ソモン朝)皇帝「セネヨス1世ファシリテス」
1632年9月17日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ソモン朝)皇帝「ファシリテス・セネヨス」(~16671018没)
1632年9月24日-09:00|日本|愛知県豊橋市|寛永9年8月11日|<加増移封>三河刈谷藩2万石「水野忠清」⇒三河吉田藩4万石(⇒寛永19(1642)年7月信濃松本7万石に加増移封)
1632年9月25日-09:00|日本|愛知県刈谷市|寛永9年8月12日|<移封>三河吉田藩3万石「松平忠房」⇒三河刈谷藩3万石(⇒慶安2(1649)年2月18日、丹波福知山45000石に加増移封)
1632年9月27日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「Hendrik Brouwer」(~16360101)
1632年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ベルツィ」「スフォルツァ・シオニ」
1632年10月1日-09:00|日本|岩手県盛岡市|寛永9年8月18日|<死去>陸奥盛岡藩10万石「南部利直」⇒三男「南部重直」が継ぐ(⇒寛文4(1664)年9月12日、死去)
1632年10月14日-09:00|日本|山梨県南巨摩郡身延町|寛永9年9月|<完成>身延山久遠寺菩提梯(287段)
1632年10月16日-09:00|日本|茨城県笠間市|寛永9年9月3日|<死去>常陸笠間藩53500石「浅野長重」⇒10月29日、長男「浅野長直」が継ぐ(⇒正保2(1645)年6月22日、播磨赤穂藩53000石に転封)
1632年10月16日-09:00|日本|広島県広島市|寛永9年9月3日|<死去>安芸広島藩42万6500石「浅野長晟」⇒10月29日、次男「浅野光晟」が継ぐ(⇒11月2日、庶兄「浅野長治」に備後三次藩5万石分与し37万6500石⇒寛文12(1672)年4月18日、隠居)
1632年10月28日-09:00|日本|三重県伊勢市|寛永9年9月15日|<死去>伊勢志摩藩56000石「九鬼守隆」⇒五男「九鬼久隆」が継ぐ(⇒翌年3月5日、摂津三田36000石に減転封)
1632年10月30日-01:00|フランス| |||<死去>モンランシー公・ダマルタン伯「アンリ2世」ラングドック総督、反リリューの反乱に失敗して処刑される
1632年10月30日-01:00|フランス| |||<就任>ダマルタン伯「Henri 2世 de Bourbon」(~16461226死去)
1632年11月1日-09:00|日本|埼玉県川越市|寛永9年9月19日|<加増>武蔵川越藩8万石「酒井忠勝」+武蔵のうちから2万石⇒10万石(⇒寛永11(1634)年閏7月6日、若狭小浜123500石へ加増移封)
1632年11月5日-01:00|デンマーク| |||<死去>デンマーク王国執事「フランス・ランツァウ・ティル・ランツァウスホルム」
1632年11月5日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事代行「クリスチャン・フリース・ティル・クラゲラップ」(2回目~16391001)
1632年11月5日 00:00|イギリス| |||<死去>ノサンバラント伯「ヘンリー・パーシー」
1632年11月5日 00:00|イギリス| |||<就任>ノサンバラント伯「アルジャーノン・パーシー」先代の子(~16681013死去)
1632年11月6日-01:00|スウェーデン/フィンランド| |||<死去>スウェーデン王国国王・フィンランド公「グスタフ2世アドルフ」リュッツェンの戦いで戦死/37歳

1640迄 (2503件)

1632年11月6日-01:00|スウェーデン/フィンランド| |||<即位>スウェーデン王国国王・フィンランド公「クリスティーナ」(~16540606)
1632年11月9日-09:00|日本|三重県亀山市|寛永9年9月27日|<死去>伊勢亀山藩12000石「三宅康信」⇒長男「三宅康盛」が嗣ぐ(~寛永13(1636)年5月18日、三河拳母藩12000石へ)
1632年11月11日-09:00|日本| ||寛永9年9月29日|諸士法度を制定
1632年11月16日-01:00|トイ/スウェーデン| ||ユリウス暦11月6日|スウェーデン王グスタフ2世がトイとの勝ちいくさの最中に戦死/37歳(誕生:15941206)
1632年11月22日-09:00|日本|大分県宇佐市|寛永9年10月11日|<移封>摂津三田藩3万石「松平重直」⇒豊前国竜王藩37000石(⇒寛永16(1639)年、高田城に本拠を移し豊後高田藩37000石)
1632年11月22日-09:00|日本|大分県杵築市|寛永9年10月11日|<加増立藩>信濃高井郡5000石「小笠原忠知」⇒豊後杵築藩4万石(正保2(1645)年7月14日、三河吉田藩45000石へ)
1632年11月22日-09:00|日本|大分県中津市|寛永9年10月11日|<加増移封>播磨龍野藩6万石「小笠原長次」⇒豊前中津藩8万石(⇒寛文6(1666)年5月29日、死去)
1632年11月22日-09:00|日本|福岡県北九州市|寛永9年10月11日|<加増移封>播磨明石藩10万石「小笠原忠真」⇒豊前小倉藩15万石(⇒寛文7年10月18日(16671203)死去)
1632年12月1日-09:00|日本|静岡県静岡市|寛永9年10月20日|<改易>駿河府中藩55万石「徳川忠長」(徳川家光弟)大逆無道、上野高崎に幽閉
1632年12月9日-09:00|日本|静岡県掛川市|寛永9年10月28日|<改易>遠江掛川藩26000石「朝倉宣正」徳川忠長家老失職、大和郡山に幽閉
1632年12月9日-09:00|日本|静岡県静岡市|寛永9年10月28日|幕府、再度駿府奉行設置
1632年12月9日-09:00|日本|山梨県|寛永9年10月28日|<改易>甲斐国内15000石「三枝守昌」徳川忠長家老失職、子に7000石安堵
1632年12月9日-09:00|日本|山梨県|寛永9年10月28日|<改易>甲斐国内1万石「屋代忠正」徳川忠長家老失職、後に安房に安堵
1632年12月9日-09:00|日本|山梨県都留市|寛永9年10月28日|<改易>甲斐谷村藩35000石「鳥居忠房」「鳥居忠房」徳川忠長家老失職、出羽山形に幽閉
1632年12月13日-09:00|日本|岐阜県大垣市|寛永9年11月2日|<死去>美濃大垣藩5万石「岡部長盛」⇒長男「岡部宣勝」が継ぐ(⇒翌年3月19日、播磨龍野藩53000石へ移封)
1632年12月13日-09:00|日本|熊本県熊本市|寛永9年11月2日|<加増移封>豊前小倉藩39万9千石「細川忠利」⇒肥後熊本藩54万1169石(⇒寛永18年3月17日(16410426)死去)
1632年12月13日-09:00|日本|広島県広島市|寛永9年11月2日|<分与>安芸広島藩42万石「浅野光晟」-庶兄の浅野長治に三吉・恵蘇両郡および佐西・高田・豊田・御調・世羅郡のうちより5万石⇒37万石(寛文12(1672)年4月18日、隠居)
1632年12月13日-09:00|日本|広島県三次市|寛永9年11月2日|<立藩>備後三次藩5万石「浅野長治」(広島藩主「浅野光晟」から分封⇒延宝3(1675)年1月19日、死去)
1632年12月17日 00:00|イギリス| |||<死去>フランドル伯「フランス・マーズ」
1632年12月17日 00:00|イギリス| |||<就任>フランドル伯「ジョージ・マーズ」先代の弟(~16410329死去)
1632年12月18日-09:00|日本|大分県佐伯市|寛永9年11月7日|<死去>豊後佐伯藩2万石「毛利高成」⇒長男「毛利高直」が継ぐ(⇒寛文4(1664)年8月3日、35歳で死去)
1633年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Johan Ottens」(~1635年)
1633年-08:00|インドネシア| |||<即位>ブラバンカン君主「Sunan Tawagalun1世(Pangeran Singasari)」(~1639年)
1633年-07:00|ラオス| |||<死去>ランサン王「モン・ケー」
1633年-07:00|ラオス| |||<即位>ランサン王「トーンカム」(~1637年死去)
1633年-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督「メルテ・アイズラント」(2回目~1636年)
1633年-05:30|スリランカ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セイロン総督「デ・イコ・デ・メロ・デ・カストロ」(1期目~1635年)
1633年-05:30|インド| |||<即位>アフマド・ナガル王国国王「ムルサ・ニサム・シャ-3世」(~1636年滅亡)
1633年-04:00|ジョージア| |||<即位>カトリ王「ロストム」(~1658年死去)
1633年-03:00|イェメン/トルコ| |||イェメンでオスマン朝支配に対する反乱がおこる
1633年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Debbag Mehmed Pasha」(~同年)⇒「Deli Yusuf Pasha」(~1635年)
1633年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・デ・クアマ、モノモタパ 総司令官「フィリペ・デ・マスカレンハス」(~1635年)
1633年-01:00|トイ| |||<就任>イゼンブルク・ヒューテ・インゲン伯「ヨハン・エルンスト1世」(~1673年)
1633年-01:00|トイ| |||<就任>イゼンブルク・ウント・ヒューテ・インゲン・イン・オフエンバッハ伯「ゲオルク・フォン・ハインリヒ」(~1635年)
1633年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリウ総督「Tomas Mejia de Escobedo」(~1635年)
1633年-01:00|オランダ| |||<就任>ベルゲン・オブ・ズーム対立辺境伯「アルベルト2世ファン・デル・ヘル」(~1650年)
1633年-01:00|ポズニア/ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズニア総督「ハットット・ハサン・パシャ」(2回目~1634年)
1633年-01:00|フランス| |||<就任>モンモランシー公「アンリ1世」(~16461226死去)
1633年-01:00|トイ| |||<即位>ザクセン・コーブルク公「ヨハン・エルンスト」ザクセン・アイゼナハ侯(~16381023死去)
1633年-01:00|オランダ/インドネシア| |||オランダがモルッカの香料独占権をめぐりマカッサルのゴアと対立
1633年 00:00|イギリス| |||<死去>14代クロフォート伯「ジョージ・リンジー」
1633年 00:00|イギリス| |||<死去>2代ヒューム伯「ジェームズ・ヒューム」
1633年 00:00|イギリス| |||<就任>15代クロフォート伯「アレクサンダー・リンジー」(~16390829死去)

1640迄 (2503件)

1633年 00:00|イギリス| |||<就任>3代ヒューム伯「ジェームズ・ヒューム」(~1666. 12死去)
1633年 00:00|イギリス/インド| |||イギリスがハリバルとバラソールに商館を開設
1633年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督代理「リチャード・ピアース」(1期目~1634年)
1633年 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「マルティン・デ・レデスマバルデラマ」(~1636年)
1633年 05:00|ハイチ/フランス| |||フランス人、ふたたびトルトゥーガに植民
1633年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューハンプシャー植民地アッパー・プランテーション総督「トマス・ウィギン」(~1637年)
1633年 06:00|アメリカ/オランダ| |||<就任>オランダ領ニューネーデルラント指導者「ウウテル・ファン・トゥイレル」(~1638年)
1633年1月1日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領フロリダ植民地総督「エドワード・ウィンズロー」(~16340327)
1633年1月1日 07:00|メキシコ| |||メキシコ副王令で鉱山業以外の原住民労働を廃止
1633年1月3日-09:00|日本|神奈川県小田原市|寛永9年11月23日|<加増移封>下野真岡藩4万石「稲葉正勝」⇒相模小田原藩85000石(⇒寛永11年1月25日(16340222)死去)
1633年1月6日-09:00|日本|岐阜県|寛永9年11月26日|<死去>美濃長谷川藩1万石「長谷川守知」病死(分与により廃藩)⇒旗本
1633年1月10日-09:00|日本|石川県金沢市|寛永9年12月|前田利常が板屋兵四郎に命じて辰巳用水建設
1633年1月10日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|寛永9年12月|宇和島藩主伊達秀宗、一宮社を造営遷宮
1633年1月12日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永9年12月3日|<就任>老中「酒井忠勝」(~寛永20年2月16日)
1633年1月21日-09:00|日本|長野県松本市|寛永9年12月12日|<死去>信濃松本藩7万石「松平(戸田)康長」⇒三男「松平(戸田)康直」が嗣ぐ(⇒寛永10(1633)年4月22日、播磨明石藩7万石へ移封)
1633年1月24日-09:00|日本|群馬県安中市|寛永9年12月15日|<交替>上野安中藩3万石「井伊直勝」隠居⇒長男「井伊直好」が嗣ぐ(⇒正保2(1645)年6月23日、三河西尾35000石へ加増移封)
1633年1月26日-09:00|日本| ||寛永9年12月17日|幕府が水野守信・柳生宗矩ら4名を総目付に任命(大目付の初め)
1633年1月28日 05:00|バハマ/フランス| |||フランスによって5つの島(アバコ、イウグア、マリグアナ、ゲアナニ、ギラトゥール)がバハマ男爵ギョーム・ド・カンに与えられた(~1642年)
1633年2月 03:00|ブラジル/オランダ/ポルトガル| |||オランダ軍、ポルトガル人の守るRio Formosoの砦を攻略
1633年2月-01:00|ドイツ/スウェーデン| |||スウェーデン王クリスティーナが6歳で女王となる
1633年2月5日 00:00|モリタニア/オランダ| |||<就任>オランダ領アルギン総督「アブラハム・ファン・デ・ペレ」(~1634年)
1633年2月5日 00:00|モリタニア/オランダ| |||アルギンをオランダが統治(~1678年/1665年に短期間イギリスが占領)
1633年2月6日-01:00|ポーランド/リトアニア/スウェーデン| |||<即位>ポーランド王・リトアニア大公兼称号のみのスウェーデン王「ウラディスワフ・アス2世」ジークムント4世の子(~16480520死去)
1633年2月9日-09:00|日本|茨城県つくば市|寛永10年|<加増>常陸玉取藩1万石「堀利重」+4000石⇒14000石(⇒寛永15(1638)年4月24日、死去)
1633年2月9日-09:00|日本|岩手県盛岡市|寛永10年|<完成>陸奥盛岡(南部)藩10万石:盛岡城(慶長3年に築城開始)
1633年2月9日-09:00|日本|愛媛県西条市|寛永10年|伊予国新居郡の前神寺が再建
1633年2月9日-09:00|日本|滋賀県彦根市|寛永10年|<加増>近江彦根藩25万石「井伊直孝」+5万石⇒30万石(⇒万治2年6月28日(16590816)死去)
1633年2月9日-09:00|日本|静岡県周知郡森町|寛永10年|仲春、憎専盛、矢部定政の賛助を得て大日山金剛院を再建
1633年2月14日-09:00|日本| ||寛永10年1月6日|徳川家光が慶長日本図の校訂を理由として諸国巡見使を派遣
1633年2月17日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ポートランド伯「リチャード・ウェストン」(~16350313死去)
1633年2月17日-09:00|日本|京都府京都市東山区|寛永10年1月9日|知恩院が山門のみを残して焼失
1633年2月28日-09:00|日本|京都府京都市左京区|寛永10年1月20日|<死去>金地院崇伝(65)臨済宗の僧/家康のもと幕府の法律の立案・外交・宗教統制を一手に引き受けた
1633年3月 03:00|ブラジル/オランダ/ポルトガル| |||オランダ軍、ポルトガル人の拠点となっていたAfogadosの攻略に成功。新たに砦を建設
1633年3月1日 00:00|イギリス| |||<死去>ジョージ・ハーバート、イングランドの詩人(生年1593年)
1633年3月1日-09:00|日本|神奈川県小田原市|寛永10年1月21日|<寛永10年小田原地震>寅の下刻(午前5時ごろ)、突然、小田原を中心に、駿河、伊豆、相模はマグニチュード7の地震に襲われた/小田原でももっとも強く揺れ、城の多聞やぐら、門や塀、石壁などがごとごとく破壊され、城下でも民家の倒壊が多く150人が死亡/箱根では岩石が崩れて道をふさぎ通行中の人や荷駄の馬などが犠牲になった/三島でも地割れや倒壊した家屋があり、熱海や網代が津波に襲われた
1633年3月5日-09:00|日本|秋田県秋田市|寛永10年1月25日|<死去>出羽久保田205800石「佐竹義宣」60才⇒2月26日甥「佐竹義隆」が継ぐ(⇒寛文11(1671)年12月5日、死去)
1633年3月10日-09:00|日本|山梨県甲州市|寛永10年2月|<拝領>甲斐徳美藩12000石「伊丹康勝」(⇒承応2(1653)年6月3日、死去)
1633年3月12日-09:00|日本|静岡県掛川市|寛永10年2月3日|<加増移封>常陸国内13000石「青山幸成」⇒遠江掛川藩26000石(⇒寛永11(1634)年9月、33000石に加増)
1633年3月12日-09:00|日本|山梨県都留市|寛永10年2月3日|<加増移封>上野総社藩1万石「秋元泰朝」⇒甲斐谷村藩18000石(⇒寛永19(1642)年10月23日、死去)
1633年3月16日-09:00|日本|神奈川県小田原市|寛永10年2月7日|小田原で大地震/家屋倒壊多数、死者150人余
1633年4月-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ミロン・バルノフスキ・モリウ」(2回目~6. 22)

1640迄 (2503件)

1633年4月1日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ハキム・アフメド・パシャ」(~1635年、解雇され処刑された)

1633年4月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「マルクアントニオ・ボネッティ」「ハルトロフ・チェッコリ」

1633年4月6日-09:00|日本| ||寛永10年2月28日|幕府が奉書船以外の日本船の海外渡航・帰航を禁止(第1次鎖国令)

1633年4月13日-09:00|日本|京都府綾部市|寛永10年3月5日|<拝領>丹波綾部藩2万石「九鬼隆季」(⇒万治4年3月28日(16610427)、弟「隆重」に500石を分与し19500石)

1633年4月13日-09:00|日本|兵庫県三田市|寛永10年3月5日|<減転封>伊勢志摩藩56000石「九鬼久隆」⇒摂津三田藩36000石(⇒慶安2(1649)年正月23日、死去)

1633年4月23日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永10年3月15日|<解任>老中「永井尚政」

1633年4月23日-09:00|日本|三重県鳥羽市|寛永10年3月15日|<加増移封>常陸国内15000石「内藤忠重」⇒志摩鳥羽藩35000石(⇒承応2(1653)年4月23日、死去)

1633年4月27日-09:00|日本|兵庫県たつの市|寛永10年3月19日|<移封>美濃大垣藩5万石「岡部宣勝」⇒播磨龍野藩53000石(⇒寛永13(1636)年6月23日、摂津高槻藩5万石へ移封)

1633年5月1日-09:00|日本|岐阜県大垣市|寛永10年3月23日|<加増移封>山城淀藩35000石「松平(久松)定綱」⇒美濃国大垣藩6万石(⇒寛永12(1635)年10月、伊勢国桑名藩11万石へ加増移封)

1633年5月1日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永10年3月23日|松平信綱らを六人衆に任ず(6人の側近集団に小事を合議・執行させる/若年寄起源)

1633年5月3日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|寛永10年3月25日|<加増移封>下総古河藩89100石「永井尚政」⇒山城淀藩10万石(⇒明暦4(1658)年2月28日、隠居)

1633年5月3日-09:00|日本|京都府長岡京市|寛永10年3月25日|<拝領>山城長岡藩2万石「永井直清」(⇒慶安2(1649)年7月4日、摂津高槻藩36000石へ加増移封)

1633年5月4日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永10年3月26日|<就任>老中「阿部忠秋」(~寛文11年5月7日)

1633年5月8日 00:00|イギリス| |||<就任>初代リンジー伯「ジョン・リンジー」(⇒16440725兼17代カワフォード伯~1678年死去)

1633年5月12日 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>スペインのポルトガル副王「リスボン大司教、ジョアン・マヌエル・デ・アタイデ」(~7.4死去)

1633年5月14日-09:00|日本|茨城県古河市|寛永10年4月7日|<加増移封>下総国佐倉藩14万2000石「土井利勝」⇒下総国古河藩16万石(⇒寛永21年7月10日(16440812)死去)

1633年5月16日-09:00|日本|兵庫県明石市|寛永10年4月9日|<移封>信濃松本藩7万石「松平(戸田)康直」⇒播磨明石藩7万石(⇒寛永11年5月12日(16340607)死去)

1633年5月18日-09:00|日本|佐賀県唐津市|寛永10年4月11日|<死去>肥前唐津藩12万5千石「寺沢広高」⇒次男「寺沢堅高」が継ぐ(⇒寛永15(1638)年4月12日、4万石減封され85000石)

1633年5月22日 06:00|カタール/フランス| |||ジャン・ラングヌー・ダール・フランス総督に就任

1633年5月29日-09:00|日本|長野県松本市|寛永10年4月22日|<加増移封>越前大野藩5万石「松平直政」(大野藩領は丸岡藩が預かる)⇒信濃松本藩7万石(⇒寛永15(1638)年2月11日、出雲松江藩18万6千石へ加増移封)

1633年5月30日-09:00|日本|埼玉県桶川市|寛永10年4月23日|<拝領>武蔵石戸藩11000石「牧野信成」(⇒正保元(1644)年3月18日、下総関宿藩17000石へ加増移封)

1633年5月30日-09:00|日本|千葉県富津市|寛永10年4月23日|<加増立藩>上総百首藩10500石「松平重則」(⇒寛永17(1640)年、下野皆川藩10500石へ移封)

1633年6月-05:30|インド| |||ムガル軍がニザーム・シャーヒー朝のダウラハート城を攻撃

1633年6月 03:00|ブラジル/オランダ/ポルトガル| |||イタマカ島がオランダ軍に制圧される。オランダは新たにイタマカ植民地を建設

1633年6月11日-09:00|日本|埼玉県行田市|寛永10年5月5日|<加増移封>相模国内15000石「松平(大河内)信綱」⇒武蔵忍藩3万石(⇒寛永16(1639)年1月5日、武蔵川越藩6万石へ加増移封)

1633年6月11日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永10年5月5日|<就任>老中「堀田正盛」(~慶安4年4月20日)

1633年6月13日 00:00|イギリス| |||<就任>初代クインズベリー伯「ウィリアム・ダグラス」(~16400308死去)

1633年6月18日-01:00|フランス/オランダ| |||オランダ人のアントニー・ファン・ディーンは、彼がニュー・アムステルダム・エilandと名乗るアムステルダム島を再発見

1633年6月19日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|寛永10年5月13日|<改易>下総生実藩15000石「酒井重澄」(金森可重息)仮病による勤務懈怠、備後福山に幽閉自害/子孫は旗本

1633年6月21日 00:00|イギリス| |||<就任>初代エルキン伯「トマス・ブルース」(~12.21死去)

1633年6月22日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督代行「ギアンゲア」(2回目~8月)

1633年6月22日-01:00|イタリア| |||ガリガが異端審問所で終身禁錮判決

1633年6月24日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「フロムント・ティル・ビェルケ・オルト」(~16441013没)

1633年6月25日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ウィームズ伯「ジョン・ウィームズ」(~1649年死去)

1633年6月29日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ラルヴァン伯「ウィリアム・ラムゼイ」(~1672.11死去)

1633年6月29日-09:00|日本| ||寛永10年5月23日|幕府が殉死を禁止

1633年7月2日 04:00|シント・マルテン/スペイン/サン・マルタン| |||<就任>スペイン領シント・マルテン知事「Cebrian de Lizarazu」(~1635年)

1633年7月2日 04:00|シント・マルテン/サン・マルタン/スペイン| |||サン・マルタンとシント・マルテンをスペイン占領(~1648年)

1633年7月4日 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<死去>スペインのポルトガル副王「リスボン大司教、ジョアン・マヌエル・デ・アタイデ」

1633年7月4日 00:00|ポルトガル/スペイン| |||<就任>スペインのポルトガル副王「デ・イコ・デ・カストロ、バスター」(~1634年)

1640迄 (2503件)

1633年7月5日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジョヴァンニ・ステファノ・ドリア」(~16350705)
1633年7月12日-09:00|日本|千葉県佐倉市|寛永10年6月7日|<加増移封>豊後日田藩(永山城)6万石「石川忠総」⇒
下総佐倉藩7万石(⇒翌年7月25日、近江膳所藩7万石へ移封)
1633年7月25日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ウェントワース子爵トマス・ウェントワース」(⇒16400112、ストラフォード 伯~16400318)
1633年7月29日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領フロリダ 植民地総督「ルイス・デ・ヘルティエリ」(~16381126)
1633年7月31日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永10年6月26日|福永ニコラ・けいあんが穴吊りの刑で殉教。穴吊りの刑、最初の受刑者
1633年8月-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「モイーズ・モキウ」(2回目~1634年3月)
1633年8月12日 00:00|イギリス| |||<死去>ヤコブ・ヘーリ、イタリアの作曲家(生年1561年)初めてオペラを作曲した人物
1633年8月16日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永10年7月12日|ホルジェスが長崎で殉教
1633年8月17日-09:00|日本| |||寛永10年7月13日|幕府が人身売買を禁制
1633年8月17日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永10年7月13日|トミニコ会ヤコブが長崎で殉教
1633年8月29日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「Juan Cerezo de Salamanca」(~16350625)
1633年9月-01:00|フランス| |||フランス王ルイ13世、フランス北東部の「ロレーヌ公領」を占領
1633年9月12日-09:00|日本|静岡県藤枝市|寛永10年8月9日|<加増移封>上総佐貫藩15000石「松平(桜井)忠重」⇒
駿河田中藩25000石(⇒寛永11(1634)年、5000石加増されて3万石)
1633年9月16日-02:00|トルコ| |||オスマン朝でコーヒー店の閉鎖令が発令
1633年9月16日-09:00|日本| |||寛永10年8月13日|幕府が公事裁許の法を出す
1633年9月17日-03:00|エチオピア| |||エチオピア皇帝がカトリック宣教師を追放
1633年10月1日-04:00|ロシア| |||<死去>ロシア皇帝「モスクワと全ロシア総主教フィラレット・ニキティッチ」
1633年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「トルカート・ジャンニニ」「バルトロメオ・ファブリ」
1633年10月2日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永10年8月29日|B・フェルナンデスと斎藤ハコが長崎で殉教
1633年10月9日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永10年9月7日|長崎で穴吊りの刑に処されて殉教/イエズス会のダ・コスタ、伊予シスト、深江ダミヤン修道士、フランススコ会宮崎ジョアン修道士、その他4人
1633年10月14日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ヨーク公「ジェームズ・ステュアート」(⇒16590510兼初代アルスター伯⇒16601231兼初代オールバニ公⇒16850206、イングランド王・スコットランド王・アイルランド王ジェームズ2世として即位、爵位は王領に統合)
1633年10月18日-09:00|日本|京都府亀岡市|寛永10年9月16日|<死去>丹波亀山藩22200石「松平成重」⇒次男「松平忠昭」が継ぐ(⇒明暦4(1658)年2月24日、豊後府内藩22200石に転封)
1633年10月21日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永10年9月19日|中浦ジュリアン(天正遣欧少年使節の一人)が穴吊りの刑(4日間)で殉教
1633年10月22日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永10年9月20日|アタミが長崎で殉教
1633年10月23日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永10年9月21日|トミニコ第3会員67人が火あぶり、斬首で殉教
1633年10月26日-09:00|日本|島根県松江市|寛永10年9月24日|<死去改易>出雲松江藩24万石「堀尾忠晴」(35)無嗣、堀尾家は3代で廃絶
1633年10月26日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永10年9月24日|長崎で穴吊りの刑に処されて殉教/ソザ、その他ベトリ修道士、マオ修道士、トミニコ会サント、フランススコ修道士
1633年11月7日-01:00|オランダ| |||<死去>コルネリウス・ド・レール、オランダの発明家(生年1572年)史上初の航行可能な潜水艇(人力推進)を作った
1633年11月8日-01:00|ドイツ| |||<就任>リュネブル侯「アウグスト老公」(~16361001死去)
1633年11月8日-08:00|中国| |||明・崇禎6年10月7日|<死去>徐光啓/71歳(誕生1562年)/中国近代科学の開祖
1633年11月19日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永10年10月18日|<就任>老中「松平信綱」(~寛文2年2月6日)
1633年11月20日 00:00|イギリス| |||<死去>初代バクル伯「ウォルター・スコット」
1633年11月20日 00:00|イギリス| |||<就任>2代バクル伯「フランス・スコット」(~16511122死去)
1633年12月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Silihhtar Ahmed Pasha」(~1636年)
1633年12月-01:00|ドイツ| |||(冬)オバー・パイルで農民蜂起がおこる
1633年12月 03:00|ブラジル/オランダ| |||Van Ceulenの率いるオランダ部隊が、リウグナンテ河口のレイスマゴス砦を攻略。セレン要塞と名づける(~1654年)
1633年12月1日-01:00|オランダ/スペイン| |||<死去>スペイン領ネーデルランド 総督「Isabella Clara Eugenia of Austria」
1633年12月1日-01:00|ベルギー/オランダ| |||<死去>ベルギー 総督「イザベラ・クララ・エウゲニア・デ・イスパニーヤ」
1633年12月1日-01:00|オランダ/スペイン| |||<就任>スペイン領ネーデルランド 総督「Ferdinand of Austria」(~16411109死去)
1633年12月1日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・崇禎6年11月|朝鮮が常平庁を設置
1633年12月1日-09:00|日本|京都府京都市東山区|寛永10年11月|寛永6年(1629)に焼失した清水寺本堂が徳川家光の援助によって再興
1633年12月16日-09:00|日本|埼玉県川越市|寛永10年11月16日|<創建>仙波東照宮
1633年12月21日 00:00|イギリス| |||<死去>初代エリザベス伯「トマス・ブルース」
1634年-08:00|モンゴル| |||<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「リンダン・フウグトゥ・ハーン」
1634年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ 総督「Anthonie van den Heuvel」(~1635年)
1634年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>パンタム大統領「ジョージ・Willoughby」(~1636年)
1634年-08:00|インドネシア| |||<即位>ティール・スルタン「Gorontalo」(~1639年)

1640迄 (2503件)

1634年-08:00|中国| |||<即位>モンゴル帝国(北元) 皇帝「エルケ・ホグ・ル・ハーン」(~16350612帝国終焉)
1634年-08:00|台湾/オランダ| |||オランダが台湾の安平にゼーランディア城完成
1634年-05:30|インド| |||<建国>コンダ王国
1634年-04:00|アルメニア/トルコ| |||オスマン帝国がエリヴァンを占領(~1636年)
1634年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ジャンバティスト・グリマニ」(~1635年)
1634年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのパシャ「ユスフ2世パシャ」(~1636年)
1634年-01:00|イタリア| |||<就任>カラリア公(ナポリ王の推定相続人の称号)「ニコラス2世」フランソワ2世の三男(~1661年)ロレーヌ公
1634年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ提督「Bas Teles de Meneses」(~1636年)
1634年-01:00|ベルギー/オランダ| |||<就任>ベルギー総督「トマス・マリア・フェルナンド」(~16411109没)
1634年-01:00|ポズナń/オーストリア/プロシヤ| |||<就任>ポズナń総督「スレイマン・パシャ」(~1635年)
1634年-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「フランシスコ・デ・ガブスコンセロス・ダ・クーニャ」(~16391018)
1634年-01:00|イタリア| |||<即位>ピオンビノ公「Niccolo1世」(~1641225死去)
1634年-01:00|オランダ/ベネチア| |||オランダ、ベネチアのキュソー島を占拠
1634年-01:00|ベルギー| |||ファニョーレガリーニに買収される
1634年 00:00|モリタニア/オランダ| |||<就任>オランダ領アルギン総督「タニエル・ファン・デ・ペレ」⇒「フーク」
1634年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー管理者「トミンゴ・ス・ホ・レイマン」(~同年)
1634年 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル国務長官「シゲル・デ・バスケス・エ・フレイタス」(~16401201死去)
1634年 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Ewan Christian」(~同年)⇒「Sir Charles Gerrard」(~1638年)
1634年 00:00|ポルトガル/スペイン| |||スペインによる増税に対するポルトガルの民衆暴動が発生。スペイン軍が暴動を鎮圧
1634年 01:00|アゾレス諸島/スペイン| |||<就任>サンタマリア島太守長官「Bras Soares de Sousa2世」(~1649年)
1634年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<死去>イギリス植民地ネイビス総督「トマス・リトルトン」
1634年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地ネイビス総督「ルーク・ストークス」(1度目~1635年)
1634年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「デ・イゴ・ギル・デ・ラ・シエルバ」(~1635年)
1634年 05:00|パナマ/スペイン| |||<就任>パナマ大審問院総督・長官「エンリケ・エンリケス・デ・ソトマヨール」(~16381103没)
1634年 05:00|ハイチ/フランス| |||イサニョーラ島西部にフランス植民地。アメリカ諸島会社と名づけられる
1634年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューハンプシャー植民地ロウアー・プランテーション総督「ハンリー・ジョセリン」(~1638年)
1634年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領メリーランド植民地総督「レナード・カルバート」(~16470609死去)
1634年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督代行「バートロミュー・デ・エンソ・ヒタ」(~1635年)
1634年 06:00|ニカラガア/スペイン| |||<就任>ニカラガア総督「ペドロ・サラザール・デ・ベラスコ」(~1641年)
1634年1月 00:00|ポルトガル| |||<就任>マティン総督「Joao de Meneses」(~16360606)
1634年1月5日-09:00|日本|群馬県高崎市|寛永10年12月6日|松平忠長(28/徳川秀忠の三男)幕命により高崎の大信寺において自刃
1634年1月9日-01:00|アンドラ| |||<即位>アンドラ公国共同大公「ウルヘル・コト・デ・ユラン」(~16510212)
1634年1月14日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド 大法官「キナール・バーク・ジョージ・ヘイ」
1634年1月14日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「セントアンドリュース大司教ジョン・スポンティスワット」(~16381113)
1634年1月19日-01:00|フランス| |||<即位>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「ニコラス2世」(~4.1 廃位)
1634年1月19日-01:00|フランス| |||<廃位>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「シャルル4世(3世)」
1634年1月19日-09:00|日本| |寛永10年12月20日|幕府が書物奉行を設置
1634年1月29日-09:00|日本|山口県岩国市|寛永11年|<高直し>周防岩国藩37129石「吉川広正」⇒公称6万石(⇒寛文3(1663)年8月28日、隠居)
1634年2月13日-09:00|日本|広島県広島市|寛永11年1月16日|広島藩、佐西郡己斐村河畔において、キリシタン5人を火刑に処す
1634年2月22日-09:00|日本|神奈川県小田原市|寛永11年1月25日|<死去>相模小田原藩85000石(老中)「稲葉正勝」⇒次男「稲葉正則」が継ぐ(⇒寛文3(1663)年、1万石加増し95000石)
1634年2月26日-09:00|日本|東京都|寛永11年1月29日|江戸幕府が各藩邸から出動して江戸市内の消火にあたる大名火消しを設置
1634年2月28日-09:00|日本|広島県広島市|寛永11年2月1日|広島藩、植木小右衛門内林田太兵衛をキリシタン教徒として処刑
1634年3月-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督代行「ギアン・ゲル」(3回目~4.27)
1634年3月 03:00|ブラジル/オランダ| |||オランダ軍、Cabo Santo Agostinhoのポルトガル人拠点「Pontal」を占拠
1634年3月16日 06:00|グアテマラ/スペイン| |||<就任>スペイン領グアテマラ総督・総司令官・大統領「ロレンス侯爵アルバ・ロ・デ・キン・イ・オリョ」(~16420316没)
1634年3月21日-09:00|日本|大分県大分市|寛永11年2月22日|<改易>豊後府内藩2万石「竹中重義」長崎奉行在任中の奸曲を問われて所領収公、切腹
1634年3月23日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ウィンチルシー女伯「エリザベス・フィンチ」
1634年3月23日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ウィンチルシー伯「トマス・フィンチ」(~16391104死去)
1634年3月27日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領バージニア植民地総督「トマス・ブレンス」(~16350303)
1634年3月29日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛永11年3月|<大坂で幕府公認町火消4組が全国初の誕生>町火消制度が、大坂で幕府から公認されて誕生、纏を持つことも許可された/各町の火消人足を東、西、南、北の番手に分けること、東番手は井印のまとい、西番手は波印のまとい、南番手は川印のまとい、北番手は雨印のまといを持ち、

1640迄 (2503件)

それぞれ指揮をとる惣年寄を各4名とした/大坂町奉行所も与力、同心による火事方を設け、出火の際、町奉行が総指揮をとり、与力が同心とともに奉行所付きの火消人足一組を率いて火事場に駆けつけている

1634年3月31日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永11年3月3日|老中の職務分掌を制定

1634年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ラッタンツィオ・ヴァッリ」「フェデリコ・ゴジ」

1634年4月1日-01:00|フランス| |||<廃位>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「ニコラ2世」

1634年4月1日-01:00|フランス| |||<復位>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「シャルル4世(3世)」(~16750918) 1669年から1697年まで、ロレーヌはフランスに占領された

1634年4月6日-09:00|日本|東京都|寛永11年3月9日|<死去>初代大橋宗桂(享年80、生年1555年)将棋師・初世名人

1634年4月15日-09:00|日本|東京都中央区|寛永11年3月18日|村山座(江戸)許可、役者の村山又三郎が座主、江戸禰宜町/5月より興行(上塚町)

1634年4月16日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「ヘンリー・Hawley」(3期目~同年)⇒総督代理「Richard Peers」(2期目~1636. 7)

1634年4月16日-09:00|日本|山口県下松市|寛永11年3月19日|<立藩>周防下松藩45000石「毛利就隆」大名に列する(⇒慶安3(1650)年6月10日、藩庁を野上館に移転)

1634年4月27日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督「ヴァシーレ・ニコエ・ル」(1回目~16530403)

1634年5月-04:00|ロシア/ポーランド/リトアニア| |||ロシアとポーランド・リトアニア共和国がポリアワカの講和

1634年5月-01:00|フランス/スペイン| |||スペイン(ハプスブルグ家)にフランスが宣戦を布告/30年戦争の最後の局面となるフランス戦争開始

1634年5月12日 00:00|イギリス| |||<死去>ジョージ・チャップマン、イギリスの劇作家、詩人(生年1559年頃)

1634年5月14日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領マサチューセッツ湾植民地総督「トマス・タドリー」(~16350506)

1634年5月15日-01:00|オランダ| |||<死去>ヘンドリック・ア・フェルカン、オランダの画家(生年1585年)

1634年5月25日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|寛永11年4月28日|<死去>出羽本荘藩20400石「六郷政乗」⇒6月6日、長男「六郷政勝」が継ぐ(⇒寛文9(1669)年12月10日、弟「政秀」の子「政慶」に400石を分与し2万石)

1634年5月28日-09:00|日本|新潟県新潟市|寛永11年4月28日|<死去>越後沢海藩14000石「溝口善勝」⇒長男「溝口政勝」が継ぐ(弟「助勝」に3千石、「安勝」に1千石分知し1万石⇒寛文10(1670)年正月28日、63歳で死去)

1634年5月31日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Inigo de Brizuela y Urbina」(~16361127死去)

1634年6月3日-01:00|ドイツ| |||<死去>フェルディナント伯「George Gustavus」

1634年6月3日-01:00|ドイツ| |||<就任>フェルディナント伯「Leopold Louis, Count Palatine of Veldenz」(~16940929年死去)

1634年6月5日-01:00|フランス| |||パリの「サン・ルイ島」(4区)から「ノートルダム大聖堂」(4区)の裏手へ、信仰深い人々の行列が押し寄せ、「木橋」(現4区「ボン・サン・ルイ」のあたり)が崩落して40人が死亡

1634年6月6日-09:00|日本|東京都|寛永11年5月11日|幕府がイエズス会宣教師バシラン・ビエラらを処刑

1634年6月7日-09:00|日本|兵庫県明石市|寛永11年5月12日|<死去>播磨明石藩7万石「松平(戸田)康直」⇒甥「松平光重」が継ぐ(⇒寛永16(1639)年3月3日、美濃国加納藩7万石へ移封)

1634年6月16日-09:00|日本|新潟県長岡市|寛永11年5月21日|<立藩>越後与板藩1万石「牧野康成」長岡藩牧野忠成から新田分与(⇒明暦3年12月30日(16580202)死去)

1634年6月23日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永11年5月28日|幕府が長崎に高札を立て、外国船の来航と奉書船以外の渡航を禁じる(第2次鎖国令)

1634年6月23日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永11年5月28日|幕府が長崎に出島を築き、ポルトガル人移す

1634年6月27日 00:00|カナダ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・コールド・コースト長官代行「ドゥアルテ・ボルヘス」(~10. 1)

1634年6月30日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダのベイレベイ「シラトル・フェレン・パシヤ」(~7月)

1634年7月-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダのベイレベイ「ボシュカ・ムサ・パシヤ」(2回目)⇒「カメル・パシヤ」(~16350529没)

1634年7月9日-01:00|スウェーデン| |||スウェーデン議会在、最初の政体法(憲法)を採択

1634年7月25日-09:00|日本|愛知県岡崎市|寛永11年7月|<加増>三河岡崎藩5万石「本多忠利」+5000石⇒55000石(⇒正保2(1645)年2月10日、46歳で病死)

1634年7月25日-09:00|日本|静岡県藤枝市|寛永11年7月|<加増>駿河田中藩25000石「松平(桜井)忠重」+5000石⇒3万石(⇒寛永12(1635)年8月4日、遠江掛川藩4万石へ加増移封)

1634年7月29日 04:00|キューバ/オランダ| |||キューバはオランダの所有

1634年7月31日-09:00|日本|岡山県美作市|寛永11年7月7日|<死去>美作津山藩18万6500石「森忠政」⇒養子「森長継」が継ぐ(⇒延宝2(1674)年4月26日、隠居)

1634年8月11日-03:30|イラン| |||<就任>サファヴィー朝大宰相「ミルザ・モハマト・タキ・サル・タキ」(~16451011没)

1634年8月11日-01:00|ドイツ| |||<死去>カレンベルク侯兼プラウシュグアイク＝ヴァルフエンビュッテル侯「フリートリヒ・ウルリヒ」兼ブランデンブルク＝アンハルト辺境伯「フリートリヒ3世」

1634年8月11日-01:00|ドイツ| |||<就任>カレンベルク侯「ゲオルク」新リュネブルク出身、カレンベルク＝ゲッティンゲン侯領を継承(~16410412死去)

1634年8月11日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランデンブルク＝アンハルト辺境伯「アルブレヒト」(~16671022死去)

1634年8月18日-09:00|日本|大分県別府市|寛永11年7月25日|<移封>丹波亀山藩22000石「松平忠昭」⇒豊後亀川藩22200石(⇒翌年4月、豊後中津留藩22000石へ藩庁移転)

1634年8月18日-09:00|日本|京都府亀岡市|寛永11年7月25日|<加増移封>近江膳所藩31100石「菅沼定芳」⇒丹波亀山藩41100石(⇒寛永20(1643)年1月17日、死去)

1640迄 (2503件)

1634年8月18日-09:00|日本|滋賀県大津市|寛永11年7月25日|<移封>下総佐倉藩7万石「石川忠総」⇒近江膳所藩7万石(⇒慶安3年12月24日(16510214)69歳で死去)

1634年8月21日 04:00|キュラー/オランダ| ||<就任>オランダ 植民地キュラー指導者「Johannes van Walbeek」(~1638年)

1634年8月21日 04:00|キュラー/オランダ| ||キュラーはオランダの植民地(西インド会社の管理下~17920316)

1634年8月23日-09:00|日本|大分県大分市|寛永11年7月30日|<移封>丹波亀山藩22000石「松平忠昭」⇒豊後亀川藩22200石(⇒翌年4月、豊後中津留藩22000石へ藩庁移転)

1634年8月29日-09:00|日本|島根県松江市|寛永11年閏7月6日|<加増移封>若狭小浜藩113500石「京極忠高」⇒出雲松江藩26万石(⇒寛永14年6月12日(16370802)死去無嗣断絶)

1634年8月29日-09:00|日本|福井県小浜市|寛永11年閏7月6日|<加増移封>武蔵川越藩10万石「酒井忠勝」⇒若狭小浜藩123500石(⇒明暦2(1656)年5月26日、隠居)

1634年9月1日 03:00|ブラジル/オランダ| ||<就任>オランダ 領ブラジル総督「ジギスムント・ファン・シュコッパ」/クレストフル・ダ・ルティヤウ・アルチエフスキ/ウィリアム・ショット・エイコ・スタカウ・ウィッ・エイセス(~1636年没)/バルサール・ウイントゲス(~1656年)

1634年9月3日 00:00|イギリス| ||<死去>エドワード・コーク、イングランドの法律家(生年1552年)モンローの法思想を理論化し近代の法思想として継承させることに成功し「法の支配」という憲法原理を確立した

1634年9月6日-01:00|ドイツ/スウェーデン| ||ネトニゲンンの戦いでスウェーデン軍が皇帝軍に敗北

1634年9月15日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永11年閏7月23日|<解任>老中「酒井忠世」

1634年9月22日-09:00|日本|福井県福井市|寛永11年8月|<高直し>越前福井藩50万石「松平忠昌」⇒50万5280石(⇒寛永14(1637)年3月、木本藩2万5000石の旧領のうち2万石を加増し52万5280石)

1634年9月23日-09:00|日本|宮城県仙台市|寛永11年8月2日|<加増>陸奥仙台藩61万5000石「伊達政宗」+近江国内5000石⇒62万石(~寛永13(1636)年5月24日死去)

1634年9月25日-09:00|日本|東京都|寛永11年8月4日|江戸幕府が、諸大名の妻子を江戸に置かせる

1634年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「オラツィオ・ベルツィ」/ウ・インチェンツォ・ロレンツォーニ

1634年10月1日 00:00|ガナ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル・ゴールドコースト長官代行「アントレ・ダ・ロジャ・マカリャイス」(~1642年)

1634年10月9日-09:00|日本|愛媛県松山市|寛永11年8月18日|<死去改易>伊予松山藩24万石「蒲生忠知」無嗣

1634年10月22日-09:00|日本|静岡県掛川市|寛永11年9月|<加増>遠江掛川藩26000石「青山幸成」⇒33000石(⇒寛永12(1635)年7月28日、摂津尼崎5万石へ加増移封)

1634年10月23日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「フランシスコ・デ・リアニョ・イ・ガソア」(~16390915)

1634年10月28日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永11年9月7日|長崎くんち始まる/長崎県

1634年11月 06:00|アメリカ/スペイン| ||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Francisco Martinez de Baeza」(~16370418)

1634年11月23日-01:00|スペイン/メキシコ/ペルー| ||スペイン王室がメキシコとペルー間の交易を全面的に禁止

1634年12月7日-09:00|日本|福島県いわき市|寛永11年10月17日|<死去>陸奥磐城平藩7万石「内藤政長」⇒長男「内藤忠興(忠長)」が継ぐ(⇒寛文10(1670)年12月3日、隠居)

1634年12月14日 00:00|イギリス| ||<死去>2代マー伯「ジョン・アースキン」

1634年12月14日 00:00|イギリス| ||<就任>3代マー伯「ジョン・アースキン」(~1654年死去)

1634年12月18日-09:00|日本|千葉県船橋市|寛永11年10月28日|<死去>下総栗原藩16000石「成瀬之成」⇒次男「成瀬之虎」が継ぐ(~寛永15(1638)年12月2日、5歳で死去無嗣断絶)

1634年12月18日-09:00|日本|福島県いわき市|寛永11年10月28日|<交替>陸奥高月藩2万石「内藤忠興」宗家磐城平藩の養子となる⇒弟「内藤政晴」が継ぐ(⇒正保2(1645)年8月6日死去)

1634年12月19日 03:00|ブラジル/オランダ| ||パラIBAのカペデッロ砦が、オランダ軍により陥落。数日後にパラIBAの町も降伏する。オランダ軍はサフランシスコ河口のCabo de Santo Agostinhoからリオ・ランテにいたる海岸線を完全制圧

1634年12月23日 00:00|ポルトガル/スペイン| ||<就任>スペインのポルトガル副王「サバード・マントヴァ・エ・モンフェラット公爵夫人」(~16401201)

1634年12月26日-09:00|日本|三重県伊賀市|寛永11年11月7日|伊賀上野の仇討ち/渡辺数馬が荒木又右衛門の助太刀で仇である河合又五郎を討った(鍵屋の辻の仇討ち)

1634年12月31日-09:00|日本|長野県長野市|寛永11年11月12日|<死去>信濃長沼藩18000石「佐久間勝之」⇒次男「佐久間勝友」が継ぐ(兄の遺児「勝盛」に5000石を分知し13000石⇒寛永19年7月1日(16420727)死去)

1635年-08:00|モンゴル| ||<就任>化身ラマ「ザナバザール・オント・ウル・ゲヘン・ルブ・サダン・ビヤルサン(ジェブツタンパ1世)」(~1723年)

1635年-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>アンボン島オランダ 総督「Jochim Roelofssoon van Deutecom」(~1637年)

1635年-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>モルッカ諸島オランダ 総督「Jan van Broekom」(~1640年)

1635年-08:00|マレーシア| ||<即位>パタニ王国国王「ラジャ・ケン」(~1688年)

1635年-07:00|タイ| ||<即位>パタニ女王「ラジャ・ケン」黄色の女王」(~1688年)

1635年-06:30|ミャンマー| ||ビルマのタングー王朝がバグーからインワへ再び遷都

1635年-05:30|スリランカ| ||<死去>キャンディ王国国王「セラート」

1635年-05:30|スリランカ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領セイロン総督「ルヘ・デ・アルメイダ」(2期目~1636年)

1635年-05:30|インド| ||グイジャヤガル王国で王位継承をめぐる抗争が終結

1635年-04:00|ロシア/日本| ||寛永10年|村上嘉門の下で日本初のサリシ遠征を行い、その後、北海道の松前藩の一部として記載・主張され、1815年から北江蔵と名付けられた

1635年-04:00|アゼルバイジャン/トルコ| ||サファヴィーをオスマン帝国が占領(~1636年)

1635年-03:00|エチオピア| ||<即位>エチオピア帝国(ソモン朝)対立皇帝「メルケ・クリストス・ファシリデス」(~1636年)

1635年-03:00|イェメン/トルコ| ||イェメンからオスマン朝が撤退し、ザイト派イマムが支配

1640迄 (2503件)

1635年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ジョヴァンニ・ダ・ポント」(~1637年)
1635年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ガジ・フセイン・パシャ」(~1637年)
1635年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Kucuk Ahmed Pashaj」(2期目~1636年)
1635年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・テ・クアマ、モノモタパ 総司令官「ロレンツォ・デ・ソト=マイオール」(~1638年10月)
1635年-02:00|ジンバブエ| |||<設立>マングウェ国
1635年-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国ハン「イサエト・ギレイ」(~1637年死去)
1635年-01:00|ドイツ| |||<就任>イゼンブルク・ウント・ヒューテングェン・イン・オッフェンバッハ伯「ヨハン・ハインリヒ」(~1685年)
1635年-01:00|オランダ/ドイツ| |||<就任>ケメルト司令官「カス・ウルリッヒ・トエン男爵ヴァン・ヘンズブルック」(~1654年)
1635年-01:00|ドイツ| |||<就任>ブラウンシュヴァイク=ヴォルフエンビュッテル侯「アウグスト2世」ブラウンシュヴァイク=ダッネンベルク公ハインリヒの息子、ヴォルフエンビュッテルを継承(~16660917死去)
1635年-01:00|オランダ| |||<就任>ベルゲン・オブ・スーム辺境伯「マリア・エリーザベト2世」(~16711129没)、「アイテル・フリートリヒ・フォン・ホーエンツォレルン=ヘッペンゲン」(~16610711没)
1635年-01:00|ホスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ホスニア総督「サリフ・パシャ」(~1638年)
1635年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソンガイ帝国皇帝「アスィヤ・イスマイル」(~1640年)
1635年-01:00|チャド| |||<即位>バギルミ王国スルタン「Burkomanda1世, Mbangi」(~1665年)
1635年-01:00|オランダ/アメリカ| |||オランダ、北リガランテからサンフランシスコ川までの地域を平定
1635年-01:00|スペイン/ギリシャ/ハイチ| |||トルテュー島の英仏植民者の抗争が内戦状態に発展/スペインは、二回目の海賊掃討作戦を開始/英国人植民者600人の多くは無抵抗のまま捕らえられ全員処刑し、女性はずべて奴隷とする
1635年-01:00|イタリア| |||フィレンツェでの噴水庭園の建築中に、「真空」が発見
1635年-01:00|フランス/グアドループ/マルティニーク| |||フランス、マルティニークとグアドループへの植民開始. マルティニークのフォルド・フランスに総督を配置
1635年-01:00|フランス| |||フランスがフランス・アメリカ島嶼会社を設立
1635年-01:00|フランス/セントルシア| |||フランス人がカリブのセントルシア島に植民
1635年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー管理者「マヌエル・フェレイラ・デ・フリート」⇒「ルイ・ド・マゼラン」(~1641年)
1635年 04:00|アンティグア・バプーダ/イギリス| |||<就任>アンティグア総督「エドワード・ワナー」(~1638年)
1635年 04:00|セントクリストファー=ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地ネイビス総督「トマス・スパーロウ」(~1637年)
1635年 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「アロンソ・デ・セラダ」(~1637年)
1635年 04:00|セント=マルティン/スペイン| |||<就任>スペイン領セント=マルティン知事「Luis de Valdes」(~1639年)
1635年 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>ニュー=ゼーランド 司令官「Pieter van Ree」
1635年 04:00|英領ヴァージン諸島| |||イギリス、ヴァージン諸島を占領
1635年 04:00|グアドループ| |||グアドループはフランス領アンティル植民地の一部(~1759. 4)
1635年 04:00|BES諸島/フランス| |||サバ島をフランスが領有宣言
1635年 04:00|セントクリストファー=ネイビス/フランス| |||フランス領サンクリストフはアメリカ伯爵領下(~16510524)
1635年 05:00|ハイチ/イギリス| |||<就任>イギリスのトルトゥーガ 総督「ニコラス・リスナー」(~同年没)
1635年 05:00|ハイチ/イギリス/スペイン| |||ルイ・フェルナデス・デ・フェンヨール率いるスペイン人がトルトゥーガ島の海賊を一掃
1635年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領セイロン植民地総督「ジョン・ウインズロップ・ザ・ヤンガー」(~1639年)
1635年 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督代行「ファン・マルティン・デ・ウイラサンテ」(~1636年10月)
1635年 06:00|カタラ/フランス/アメリカ| |||<就任>フランス領ヌーヴェル・フランス総督「シャルロット・モンマニエ」(~1648年)
1635年1月-01:00|オランダ| |||オランダでペストが流行
1635年1月16日-09:00|日本|群馬県沼田市|寛永11年11月28日|<死去>上野沼田藩27000石「真田信吉」⇒翌年4月2日、長男「熊之助」が継ぐ(⇒寛永15(1638)年11月6日死去)
1635年2月9日 04:00|BES諸島/オランダ| |||ボネールはオランダの植民地(正式には1636. 3から)キュラーに従属
1635年2月10日-01:00|フランス| |||フランスでリシュリューが、フランス語の統一のためにアカデーミ・フランセーズをパリに創設
1635年2月17日-08:00|中国| |||明・崇禎8年|<死去>ヤルカント・ハン「マフムト(クルチ)」毒殺される
1635年2月17日-08:00|中国| |||明・崇禎8年|<即位>ヤルカント・ハン「アフマト(フラト)」(第二治世~1639年)
1635年2月17日-07:00|ベトナム| |||大越黎朝・陽和1年|大越後黎朝6代・神宗が陽和と改元(-1643)
1635年2月18日-09:00|日本|栃木県鹿沼市|寛永12年|<拝領>下野鹿沼藩13000石「阿部重次」(⇒寛永15(1638)年4月22日、宗藩岩槻藩99000石を相続)
1635年2月23日 04:00|ポルトリコ/スペイン| |||<就任>ポルトリコ知事兼提督「Inigo de la Mota y Sarmiento」(~1640年)
1635年3月 00:00|イギリス| |||<死去>トマス・ランドルフ、イングランドの詩人、劇作家(生年1605年)
1635年3月 03:00|ブラジル/オランダ/ポルトガル| |||オランダ西インド会社がブラジル北東部ポルト・カボを占領(~7月)
1635年3月 04:00|カリビヤ/スペイン| |||<就任>ラ・プラタ・デ・ロス・チャルカス聴聞庁長官「ファン・デ・リザラス=イ・レオン」(~1642年)
1635年3月12日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリウ総督「Pedro Moreo」(~1637年)
1635年3月13日 00:00|イギリス| |||<死去>イングランド王国大蔵卿兼主席アトバ・イザ-「ウェストン男爵・初代ポートランド伯リチャード・ウェストン」
1635年3月13日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代ポートランド伯「ジェローム・ウェストン」(~16630317死去)
1635年3月15日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド王国大蔵卿兼主席アトバ・イザ-「カンタベリー大司教ウィリアム・ロート」(~16360306)
1635年3月22日-09:00|日本| |||寛永12年2月4日|幕府が駄賃銭・駄賃馬の規制を制定
1635年3月24日-01:00|フランス| |||<死去>ジャック・カ、フランスの版画家(生年1592年頃)

1640迄 (2503件)

1635年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「リビオ・ペリチェリ」「パオロ・アントニオ・オノリ」
1635年4月10日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア大元帥(首相)「クリストパ・ス・ウ・エイシオワスキ」(20日まで代行~16370419没)
1635年4月11日-01:00|フランス| |||フランス・ルンで土砂災害、死者64人
1635年4月13日-02:00|バハマ/トルコ| |||バハマのトルコ派君主がオスマン朝によって処刑される
1635年4月16日-09:00|日本|千葉県佐倉市|寛永12年2月29日|<加増移封>摂津高槻藩2万石「松平家信」⇒下総佐倉藩4万石(⇒寛永15(1638)年1月14日、74歳で死去)
1635年4月17日-09:00|日本|三重県三重郡菰野町|寛永12年3月|<交替>伊勢菰野藩12000石「土方雄氏」隠居⇒長男の「土方雄高」が継ぐ(⇒慶安4(1651)年9月8日、死去)
1635年4月17日-09:00|日本|埼玉県川越市|寛永12年3月1日|<移封>相模・常陸国内25000石「堀田正盛」⇒武蔵川越藩35000石(⇒寛永15(1638)年3月8日、信濃松本藩10万石へ加増移封)
1635年4月23日-01:00|フランス/スウェーデン| |||フランスがスウェーデンと同盟
1635年4月25日-01:00|イタリア| |||<死去>アレクサンドロ・ロッソニ、イタリアの詩人(生年1565年)
1635年4月27日-09:00|日本|大阪府松原市|寛永12年3月11日|<死去>河内丹南藩13000石「高木正成」49歳⇒長男「高木正弘」が継ぐ(3000石を「正好」「正房」の2人の弟に分与し1万石⇒明暦4(1658)年6月23日、死去)
1635年5月3日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領フロリダ植民地総督「ウィリアム・ブラット・フォード」(~16360301)
1635年5月6日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領マサチューセッツ湾植民地総督「ジョン・ヘインズ」(~16360525)
1635年5月17日-09:00|日本|大分県大分市|寛永12年4月|<藩庁移転>豊後亀川藩22200石「松平忠昭」⇒豊後中津留藩22000石(⇒寛永19(1642)年、豊後高松藩22000石へ藩庁移転)
1635年5月19日-01:00|フランス/スペイン/オーストリア| |||フランス国王ルイ13世がスペインと神聖ローマ皇帝に宣戦布告し、三十年戦争に参戦
1635年5月29日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<死去>ブダペストのバイルベイ「カメル・ハシヤ」
1635年5月29日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダペストのバイルベイ「ナスラ・シャザデ・フセイン・ハシヤ」(~1637年2月)
1635年5月30日-01:00|チコト/イタリヤ| |||神聖ローマ皇帝フェルディナント2世が、新教派の諸侯の指導者ザクセン選帝侯とホヘンツォレルンで和約を結ぶ(フランクの和約)ホヘンツォレルンの下ルザティアと上ルザティアはザクセンに割譲される
1635年6月-08:00|フィリピン| |||フィリピンのシダウ島に要塞を建設
1635年6月8日 03:00|ブラジル/オランダ/ポルトガル| |||ポルトガルにおけるポルトガル人の最後の抵抗の拠点Arraial do Bom Jesusが陥落
1635年6月12日-08:00|モンゴル/中国| |||金・天総9年|後金のホタイズにモンゴル帝国(北元)帝国が降伏、内モンゴルを全て平定/この時、元朝皇帝の象徴の玉璽を入手
1635年6月23日-09:00|日本|石川県金沢市|寛永12年5月9日|<金沢寛永12年の大火>夕方、河原町裏通りから出火、犀川口河原町から立町筋、石浦町、南町、堤町へと延焼し、尾張町、新町、中町、寺町にも魔の手が延びて次々と炎がなめ尽くす/最後は、おがや町から田井口へと炎が取り巻き、浅野川川辺の人待下屋敷までことごとく灰とした
1635年6月25日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン諸島総督「セバスティアン・ウルタド・デ・コルケラ」(~16440811)
1635年6月27日-09:00|日本|和歌山県田辺市|寛永12年5月13日|<死去>紀伊田辺藩38000石(紀州藩附家老)「安藤直次」⇒次男「安藤直治」が継ぐ(⇒翌年9月2日、死去)
1635年6月28日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ知事「Jean Duplessis」(~11.4死去)
1635年6月28日 04:00|グアドループ/フランス| |||<設立>グアドループ(グアドループ)フランス植民地
1635年7月4日-09:00|日本|京都府京都市|寛永12年5月20日|京で洪水、鴨川氾濫、三条、六条橋など流損
1635年7月11日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジョ・フランチェスコ・ブリガノーレ・サリ」(~16370711)
1635年7月12日-09:00|日本| |||寛永12年5月28日|幕府が、日本人の海外渡航・帰国を禁じ、貿易港を長崎・平戸に限定(第3次鎖国令)
1635年7月14日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永12年6月1日|<就任>老中「酒井忠行」(~寛永13年11月17日)
1635年7月22日 03:00|ブラジル/オランダ/ポルトガル| |||ポルトガル軍、ポルトガルを放棄し、バヤ方面に撤退。24日にオランダ軍がポルトガルを再制圧
1635年7月24日 03:00|ブラジル/オランダ/ポルトガル| |||サレサも陥落。ポルトガル知事と7千の部隊はバヤ方面へ逃走。オランダ兵500人が守るポルトガルを撃破
1635年7月26日-09:00|日本| |||寛永12年6月13日|<寛永12年「辛卯の暴風雨」>関東一帯暴風雨により800隻の舟が沈み5000余人が死亡
1635年8月2日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|寛永12年6月20日|<拝領>下野壬生藩25000石「阿部忠秋」(⇒寛永16(1639)年1月5日、武蔵忍藩5万石へ加増移封)
1635年8月3日-09:00|日本| |||寛永12年6月21日|武家諸法度を改定/五百万石以上の船建造を禁じ、外様大名に参勤交代を制度化
1635年8月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>フアルツツグアイツリュッケン公「ヨハン2世」
1635年8月9日-01:00|ドイツ| |||<即位>フアルツツグアイツリュッケン公「フリートリヒ」(~16610709死去)
1635年8月20日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|寛永12年7月8日|<死去改易>美濃加納藩10万石「菅沼右京」4歳(無嗣)
1635年8月27日-01:00|スペイン| |||<死去>ロペ・デ・ヴェガ、スペインの劇作家(生年1562年)
1635年9月9日-09:00|日本|愛媛県今治市|寛永12年7月28日|<加増立藩>伊勢長島7千石「松平(久松)定房」+2万3000石⇒伊予今治藩3万石(⇒寛文5(1665)年6月18日、武蔵国東葛飾郡・下野国芳賀郡・常陸国真壁郡1万石加増され4万石)

1640迄 (2503件)

1635年9月9日-09:00|日本|愛媛県松山市|寛永12年7月28日|<加増移封>伊勢桑名藩11万7千石「松平定行」⇒伊予松山藩15万石(⇒明暦4(1658)年2月28日、隠居)
1635年9月9日-09:00|日本|岐阜県大垣市|寛永12年7月28日|<加増移封>摂津尼崎藩5万石「戸田氏鉄」⇒美濃大垣藩10万石(⇒慶安4(1651)年11月28日、隠居)
1635年9月9日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|寛永12年7月28日|<加増移封>遠江掛川藩33000石「青山幸成」⇒摂津尼崎藩54000石(⇒寛永20(1643)年2月16日死去)
1635年9月9日-09:00|日本|三重県桑名市|寛永12年7月28日|<加増移封>美濃大垣藩6万石「松平定綱」⇒伊勢桑名藩11万3千石(⇒慶安4年12月25日(16520204)死去)
1635年9月12日-01:00|スウェーデン/ホーランド/リトアニア| |||ホーランド・リトアニア共和国とスウェーデンが正式に停戦条約(ストゥストルフの和約)を締結/メメル、ダンツィヒ平原の諸都市のスウェーデンによる徴税権(プロイセン船舶関税)撤廃/スウェーデン守備兵のフロイセン北岸からの撤兵
1635年9月12日-09:00|日本|福井県大野市|寛永12年8月1日|<加増移封>越前勝山藩25000石「松平直基」⇒越前大野藩5万石(⇒正保1(1644)年正月11日出羽山形藩15万石へ加増移封)
1635年9月12日-09:00|日本|福井県勝山市|寛永12年8月1日|<加増移封>越前木本藩25000石「松平直良」(藩領は福井藩に統合)⇒越前勝山藩35000石(⇒正保元(1644)年3月、越前大野藩5万石へ加増移封)
1635年9月15日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Pierre Belain d'Esnameuc」(~同年)⇒「Jacques Du Pont」(~1636年)
1635年9月15日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<設立>マルティニーク(マルティニコ、ミッターネ)フランス植民地(フランス領アンティルの一部~1762年)
1635年9月15日-09:00|日本|静岡県掛川市|寛永12年8月4日|<加増移封>駿河田中藩3万石「松平(桜井)忠重」⇒遠江掛川藩4万石(⇒寛永16(1639)年2月12日、死去)
1635年9月15日-09:00|日本|静岡県藤枝市|寛永12年8月4日|<加増移封>下総山川藩35000石「水野忠善」⇒駿河田中藩45000石(~寛永19(1642)年7月28日、三河吉田藩45000石へ移封)
1635年9月15日-09:00|日本|栃木県足利市|寛永12年8月4日|<拝領>下野山川藩15600石「太田資宗」(~寛永15(1638)年4月24日、三河西尾藩35000石へ加増移封)
1635年9月16日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニア副王「カテリタ侯ロハ・デ・イエス・デ・オ・イ・アルメンダリス」(~16400827)
1635年9月30日-09:00|日本| |||寛永12年8月19日|<死去>狩野山楽、狩野派の絵師(生年1559年)
1635年10月-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国サ総督代理「Arnavut Mustafa Bey」(~1636年)
1635年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ゴジ」「ステファノ・リッチ」
1635年10月23日-01:00|ドイツ| |||<死去>ウィルヘルム・シュカート、初めて自動計算機を作ったドイツの技術者(生年1592年)
1635年10月29日-09:00|日本|茨城県牛久市|寛永12年9月19日|<死去>常陸牛久藩15000石「山口重政」⇒「山口弘隆」が継ぐ(弟の重恒に5000石を分与し1万石⇒延宝5(1677)年9月5日、75歳で死去)
1635年11月4日 04:00|グアドループ/フランス| |||<死去>グアドループ 知事「Jean Duplessis」
1635年11月4日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ 知事「Charles Lienard de L'Olive」(16371202から総司令官~164011)
1635年11月5日-01:00|ドイツ| |||<死去>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン=ピンネブルク伯「ヨージスト・ヘルマン」
1635年11月5日-01:00|ドイツ| |||<就任>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン=ピンネブルク伯「オット5世」(~16401115死去、ホルシュタイン=ピンネブルク伯領はデンマーク王クリスチャン4世によりホルシュタイン公国に併合)
1635年11月14日 00:00|イギリス| |||<死去>トマス・ハー、152歳まで生きたとされるイングランド人(生年1483年)
1635年11月19日-09:00|日本|京都府京都市|寛永12年10月10日|<就任>関白「二条康道」(~正保4年正月3日)
1635年11月19日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・陽和1年10月10日|<死去>広南国主「仏主・阮福源」
1635年11月19日-07:00|ベトナム| ||大越黎朝・陽和1年10月10日|<即位>広南国主「上主・阮福瀾」(~16480319死去)
1635年11月25日-05:30|スリランカ| |||<即位>キャンディ王国国王「ラジャシンガ2世」(~16871206死去)
1635年12月7日-09:00|日本|福岡県福岡市|寛永12年10月28日|<死去>神屋宗湛、博多の豪商、茶人(生年1551年)
1635年12月9日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「ペドロ・ダ・シルバ」(~16390624没)
1635年12月11日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「サン・ウーバ・ペドロ・ダ・シルバ・ロレンソ」(~16390120)
1635年12月18日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永12年11月9日|寺社と遠隔地の訴訟を管轄する寺社奉行を設置し、譜代大名の安藤重長(36)・松平勝隆(47)・堀利重(55)の3名を寺社奉行に命じる
1635年12月19日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永12年11月10日|老中・若年寄・勘定奉行等の職務規程が定められる
1635年12月25日-01:00|フランス| |||<死去>サミュエル・ド・シャンプラン、フランスの探検家、地図製作者(生年1567年または1570年)ケベック植民地(現ケベック)を築いた
1636年-08:00|マレーシア| |||<死去>ペラ・スルタン「サレデイン・シャー」
1636年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>バタヴィア大統領「ロバート・Coulson」(~1637年)
1636年-08:00|インドネシア/スペイン| |||<就任>モルッカ諸島スペイン総督代理「Pedro Munoz de Carmona y Mendiola」(~16400年)
1636年-08:00|マレーシア| |||<即位>ペラ・スルタン「ムザファル・シャー2世」(~1653年没)
1636年-08:00|インドネシア/オランダ| |||ソロ島はオランダに併合
1636年-08:00|インドネシア| |||マタラム王国:第3代アグンがムスリム聖者スナト・ギリの国家(グレック付近)征服
1636年-05:45|ネパール| |||<死去>ゴルカ・ラジャ「ラム・シャハ」

1640迄 (2503件)

1636年-05:45|ネパール| |||<即位>ゴル・ラジヤ「タンパル・シャハ」(~1645年)
1636年-05:30|インド/オランダ| |||<就任>オランダ領インド総督「カル・レイニエシュ」(~1638年)
1636年-05:30|スリランカ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セイロン総督「デ・イコ・デ・メロ・デ・カストロ」(2期目~16380328)
1636年-05:00|パキスタン| |||<即位>パキスタン国王「アダム・カーン」(~1655年)
1636年-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ソモニ朝)対立皇帝「ラケ・マリアム・メルケ・クレストス」(~1640年)
1636年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>カンティヤ王国総督「ジュゼッペ・チヴァラン」(~1639年10月以降)
1636年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス(総督)「Biykli Mustafa Pasha」(~同年)
1636年-01:00|スペイン| |||<死去>8代メニャニシトニア公「ファン・ヌニル・ペレス・デ・グスマン・イ・シルバ」
1636年-01:00|ルクセンブルグ/スペイン| |||<死去>スペイン領ルクセンブルグ総督兼総司令官「クリストフ・グラーフ・エムデン・フォン・オストフリースラント」
1636年-01:00|スペイン| |||<死去>ペラガア公「アルバロ・コロン・デ・ポルトガル・イ・エスピノサ」
1636年-01:00|スペイン| |||<就任>6代ペラガア公「ペドロ・ヌニョ・コロン・デ・ポルトガル・イ・カストロ」先代の子(~16731208死去)
1636年-01:00|スペイン| |||<就任>9代メニャニシトニア公「ガスパール・アロンソ・ペレス・デ・グスマン・イ・サントバル」先代の子(~1664年死去)
1636年-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのパシャ「アフール=ハサン・アリ・パシャ」(~1638年)
1636年-01:00|ルクセンブルグ/スペイン| |||<就任>スペイン領ルクセンブルグ総督兼総司令官「マンデルシヤイト=フランケンハイム伯フィリップ・ティエリ」(~1642年)、「アントニア・カントモ」(1637年8月~11月)
1636年-01:00|デンマーク| |||デンマークがアフリカ会社を設立
1636年 00:00|モロッコ| |||<即位>マラケシュ政権ムハンマド・エッシイク・イス・セギール(~1655年)
1636年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「ホセ・デ・カスティリョ」(~1639年)
1636年 04:00|パラグアイ/スペイン| |||<就任>パラグアイ総督「ペドロ・デ・ルゴ・イ・ナハラ」(~1641年)
1636年 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Jacques Dye du Parquet」(1期目~1646年)
1636年 04:00|BES諸島/オランダ| |||オランダ、ケラオ島に隣接するアルバ島、ホナレ島などを占拠
1636年 05:00|エカトル/スペイン| |||<就任>スペイン領キタ暫定総督・総司令官・大審問院長「アントニオ・ロドリゲス・デ・サン・イシドロ・マンリケ」(1回目~1637年)
1636年 06:00|エルサルバドル/スペイン| |||<就任>サン・サルバドル・サン・ミゲル州市長「ファン・サルメント・バルデラマ」(~1641年)
1636年1月1日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「Anthony van Diemen」(16450419死去)
1636年1月8日-09:00|日本|神奈川県小田原市|寛永12年12月|<分与>相模小田原藩8万5千石「稲葉正則」⇒8万石(新田3千石を従弟「正能」、2千石を「正定」に分与)
1636年1月9日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永12年12月2日|評定所寄合の規則を制定
1636年2月7日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永13年|江戸城大手門完成/田安門再建(東京都)
1636年2月7日-09:00|日本|新潟県村上市|寛永13年|<交替>越後村上藩10万石「堀直奇」隠居⇒嫡男の「堀直次」が継ぐ(⇒寛永15(1638)年7月、死去断絶)
1636年2月7日-08:00|中国| ||明・崇禎9年|オライートのグシ・ハーンがチョクトウ・ハーンを破り青海へ侵入
1636年2月16日-09:00|日本|東京都新宿区|寛永13年1月10日|江戸高田に馬場を造営(高田馬場)
1636年2月21日 00:00|モロッコ| |||<死去>モロッコ・スルタン(統一政権)「アル・ワリド」
1636年2月21日 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ・スルタン(統一政権)「ムハンマド・エッシイク・イス・セギール」(~16550130死去)
1636年2月22日-01:00|イタリア| |||<死去>サントーリオ・サントーリオ、イタリアの医学者(生年1561年)体温計、脈拍計などを開発
1636年2月24日-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ王国マニコンゴ「アルバロ4世ンジンガ・ア・ンクワ」
1636年2月26日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永13年1月20日|暴風雨で江戸城の石垣が壊れる
1636年2月27日-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ王国マニコンゴ「アルバロ5世ムンズ・ア・ニミ」(~8.14没)
1636年3月 00:00|イギリス| |||<死去>カラル伯「ジェームズ・ヘイ」
1636年3月 00:00|イギリス| |||<就任>カラル伯「ジェームズ・ヘイ」(~16601030死去)
1636年3月1日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領プリアス植民地総督「エドワード・ウィンスロー」(~16370307)
1636年3月6日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド王国大蔵卿兼主席アドバイザー「ロンドン司教ウィリアム・ジャクソン」(~16410521)
1636年4月 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Antonio de Sousa Carvalho」(~7月死去)
1636年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フルゲンツィオ・マッチョーニ」「ジュリアーノ・ベルツィ」
1636年4月17日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永13年3月12日|<就任>大老「酒井忠世」(~同年19日)
1636年4月23日-01:00|ドイツ| |||<死去>メレンブルク=ギュストロー公「ヨハン・アルブレヒト2世」
1636年4月23日-01:00|ドイツ| |||<即位>メレンブルク=ギュストロー公「ゲスタフ・アドルフ」ヨハン・アルブレヒト2世の息子(~16951006死去)
1636年4月24日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<設立>オランダのニウ・ゼーラント植民地(後のシント・ユースタティウス)
1636年4月24日-09:00|日本|群馬県安中市|寛永13年3月19日|<廃藩>上野板鼻藩3万石「酒井忠行」父の違領上野厩橋藩を相続
1636年4月24日-09:00|日本|群馬県前橋市|寛永13年3月19日|<死去>上野厩橋藩12万2500石(大老)「酒井忠世」65歳⇒家督を嫡男「酒井忠行」が継ぐ(部屋住時代の領地3万石を加え152500石⇒同年11月17日、37歳で死去)
1636年4月25日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>ニウ・ゼーラント司令官「Pieter van Corselles」(~1639年)
1636年5月-05:30|インド| |||<滅亡>アフマドガール王国国王「ムルタザ・ニザム・シャー3世」領土を、ムガル朝とアーデイル朝が分割

1640迄 (2503件)

1636年5月8日-09:00|日本|宮崎県日南市|寛永13年3月19日|<死去>日向飢肥藩57000石「伊東祐慶」⇒5月29日、長男「伊東祐久」が継ぐ(弟「祐豊」に3千石分知し54000石⇒明暦3(1657)年10月27日、49歳で死去)
1636年5月10日 04:00|アルバ/オランダ| |||<就任>アルバ 島司令官「Johannes van Walbeeck」
1636年5月10日 04:00|アルバ/オランダ| |||アルバ 島はオランダの植民地となる(キュソーに従属)
1636年5月14日-09:00|日本|栃木県日光市|寛永13年4月10日|日光東照宮の本殿と陽明門が完成
1636年5月15日-08:00|中国/モンゴル| ||清・崇徳1年4月11日|<即位>清皇帝「洪泰地(ホンタイジ)」(~16430921)満州諸族とモンゴル16部を支配、国号を「清」、元号を崇徳と改める
1636年5月23日-09:00|日本|広島県広島市西区|寛永13年4月19日|キリタン信徒宗清を己斐河原にて釣殺に処する
1636年5月25日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領マサチューセッツ湾植民地総督「ハリー・ベイン」(~16370517)
1636年5月31日 06:00|アメリカ| |||フッカーがコネティカットのハートフォード 植民地を建設
1636年6月 06:00|アメリカ| |||ロジャー・ウィリアムズ がプルトーデンス植民地を設立
1636年6月6日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウ総督「Luis de Miranda de Henriques Pinto」(~16420320)
1636年6月9日-01:00|マルタ| |||<死去>マルタ騎士団総長「アントワーヌ・ド・ポール」
1636年6月9日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「オルト・キラン・ド・ボー・ジュ」(~12日)
1636年6月12日-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ騎士団総長「ジョアン・パオ・ラスカリス」(~16570814没)
1636年6月13日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ハントリー侯「ジョージ・ゴードン」
1636年6月13日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ハントリー侯「ジョージ・ゴードン」(~16490322死去)
1636年6月13日-09:00|日本/ポルトガル|長崎県長崎市|寛永13年5月10日|3924坪の扇形をした出島が完成/ポルトガル人を収容し市内雑居を禁止
1636年6月21日-09:00|日本|愛知県豊田市|寛永13年5月18日|<移封>伊勢亀山藩12000石「三宅康盛」⇒三河挙母藩12000石(⇒明暦3(1657)年12月29日、死去)
1636年6月22日-09:00|日本| ||寛永13年5月19日|幕府が日本人の海外渡航を厳禁し、ポルトガル人とその家族を海外追放(第4次鎖国令)
1636年6月27日-09:00|日本|宮城県仙台市|寛永13年5月24日|<死去>陸奥仙台藩62万石「伊達政宗」(生年1567年)⇒26日、次男「伊達忠宗」が継ぐ(⇒万治元(1658)年7月12日、死去)
1636年7月 00:00|サント・ペリン/ポルトガル| |||<死去>サント・ペリン植民地総督「Antonio de Sousa Carvalho」
1636年7月 00:00|サント・ペリン/ポルトガル| |||<就任>サント・ペリン植民地総督「Filipe Tavares Metello」⇒総督代理「Lourengo Pires de Tavora」(3期目~1640年)
1636年7月 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「ヘンリー・Hawley」(4期目~1638年)
1636年7月3日-09:00|日本| ||寛永13年6月1日|幕府が江戸・近江に銭座を設置/寛永通宝鑄造
1636年7月3日-09:00|日本|愛媛県西条市|寛永13年6月1日|<加増移封>伊勢神戸藩5万石「一柳直盛」⇒伊予西条藩68000石(~8月19日、急死)
1636年7月8日-01:00|ドイツ| |||<死去>リッペン・テートモルト伯「ジーン・ルードヴィヒ」
1636年7月8日-01:00|ドイツ| |||<就任>リッペン・テートモルト伯「ジーン・フィリップ」(~16500619死去)
1636年7月15日-09:00|日本|熊本県人吉市|寛永13年6月13日|<死去>肥後人吉藩22165石「相良頼房」⇒長男「相良頼寛」が継ぐ(⇒寛文4(1664)年閏5月7日、隠居)
1636年7月25日-09:00|日本|大阪府高槻市|寛永13年6月23日|<移封>播磨龍野藩53000石「岡部宣勝」⇒摂津高槻藩5万石(⇒寛永17(1640)年9月11日、和泉岸和田藩58800石へ加増移封)
1636年7月25日-09:00|日本|三重県亀山市|寛永13年6月23日|<加増移封>三河西尾藩35000石「本多俊次」(幕府直轄領となる)⇒伊勢亀山藩5万石(⇒慶安4(1651)年4月4日、近江膳所藩7万石に加増移封)
1636年7月31日-09:00|日本|住友商事|寛永13年6月29日|<死去>蘇我理右衛門、住友財閥先祖(生年1572年)
1636年8月1日-08:00|中国| ||明・崇禎9年7月|明の將軍洪承疇が匪賊連合軍を撃破、高迎祥が死に李自成が継任
1636年8月7日-09:00|日本|山形県山形市|寛永13年7月7日|<死去改易>出羽山形藩22万石「鳥居忠恒」無嗣不法養子
1636年8月13日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金リュウ」(~16370921)
1636年8月14日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<死去>コンゴ 王国マニコンゴ「アルヴァロ5世・パンス・ア・ニミ」
1636年8月15日-01:00|フランス/スペイン| |||スペイン軍、コルセを占領
1636年8月21日-09:00|日本|長野県伊那市|寛永13年7月21日|<拝領>信濃高遠藩32000石「鳥居忠春」(⇒寛文3年8月1日(16630902)死去)
1636年8月21日-09:00|日本|山形県山形市|寛永13年7月21日|<加増移封>信濃高遠藩3万石「保科正之」⇒出羽国山形藩20万石(~寛永20(1643)年7月4日、陸奥会津藩23万石に加増移封)
1636年8月24日-01:00|ベルギー| |||<死去>レクハイム伯「エルスト」
1636年8月24日-01:00|ベルギー| |||<就任>レクハイム伯「フェルディナント1世」(~16650824没)
1636年8月27日-01:00|アンゴラ/コンゴ 共和国/コンゴ 民主共和国/ガボン| |||<即位>コンゴ 王国マニコンゴ「アルヴァロ6世・アフォンソ・ニミ・アルケニ・ア・ンゼ・ア・ヌタンバ」(~16410122没)
1636年8月30日-09:00|日本/韓国/朝鮮| ||朝鮮・崇禎9年8月|朝鮮が日本に通信使派遣
1636年9月2日-09:00|日本|神奈川県足柄下郡箱根町|寛永13年8月2日|箱根の関の法度を定む
1636年9月12日-09:00|日本|滋賀県高島市|寛永13年8月13日|<拝領>近江朽木藩1万石「朽木植綱」(⇒寛永16(1639)年9月4日、1万石加増され2万石)
1636年9月13日-09:00|日本|奈良県奈良市|寛永13年8月14日|<拝領>大和柳生藩1万石「柳生宗矩」(⇒寛永17(1640)年9月13日、500石加増、続いて2000石加増され12500石)

1640迄 (2503件)

1636年9月17日-01:00|イタリア| |||<死去>ステファノ・マデルノ、ローマの彫刻家(生年1576年)
1636年9月18日-09:00|日本|愛媛県西条市|寛永13年8月19日|<死去>伊予西条藩68000石「一柳直盛」赴任の途中、大坂にて急死⇒11月24日、長男「一柳直重」が継ぐ(次弟「直家」に川之江藩28000石、三弟「直頼」に小松藩1万石を分与し3万石⇒正保2年6月24日(16450815)死去)
1636年9月21日-09:00|日本|奈良県葛城市|寛永13年8月22日|<死去>大和新庄藩13000石「桑山一直」⇒長男「桑山一玄」が継ぐ(⇒延宝5(1677)年8月22日、隠居)
1636年9月22日-09:00|日本|岡山県総社市|寛永13年8月23日|<死去>備中浅尾藩1万石「蒔田広定」⇒長男「蒔田定正」が11316石で嗣ぐ(弟「長広」に3000石を分与し廃藩)
1636年9月30日-09:00|日本|和歌山県田辺市|寛永13年9月2日|<死去>紀伊田辺藩38000石(紀州藩附家老)「安藤直治」⇒9月7日、長男「安藤義門」が継ぐ(⇒承応3(1654)年8月6日、死去)
1636年10月 06:00|コスタリカ/スペイン| |||<就任>コスタリカ総督「ゲレロ・リオ・デ・サント・バル・アナ・イ・ゴンサレス・デ・アルカウ」(~1644年)
1636年10月1日-01:00|ドイツ| |||<死去>リュネブル侯「アウグスト老公」
1636年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マルクアントニオ・ボネッティ」「バルトロメオ・チェッリ」
1636年10月1日-01:00|ドイツ| |||<就任>リュネブル侯「フリードリヒ」(~16481210死去)
1636年10月4日-01:00|オーストリア/ドイツ/スウェーデン| |||スウェーデンの将軍ヨハン・バネールが、ドイツのウィットシュトックでザクセン・オーストリア連合軍に勝利
1636年10月11日-09:00|日本|京都府舞鶴市|寛永13年9月13日|<死去>丹後田辺藩35000石「京極高三」⇒長男「京極高直」が継ぐ(⇒寛文3(1663)年正月7日、32歳で死去)
1636年10月18日-09:00|日本/フィリピン|長崎県長崎市|寛永13年9月20日|長崎出生の南蛮人との混血男女287人がボルトガル船4隻に乗せられマカオへ追放
1636年10月23日-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリス(総督)「Hasan Pasha」(~1637. 10)
1636年10月28日 06:00|アメリカ| |||マサチューセッツ州ケンブリッジにハーバード大学設立
1636年11月9日-05:30|イント/デンマーク| |||<就任>デンマーク領東イント諸島(トランカバル)司令官「ヘルムト・ベサート」(~16430905)
1636年11月14日-01:00|フランス/スペイン| |||フランス軍、スペイン軍からコルビーを奪還
1636年11月14日-09:00|日本|福井県小浜市|寛永13年10月17日|小浜城天守閣の造営完了
1636年11月27日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<死去>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Inigo de Brizuela y Urbina」
1636年11月27日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官代理「Gabriel de la Puebla y Escobedo」(~1637. 7)
1636年12月 04:00|セントクリストファー・ネイビス/フランス| |||<死去>フランス領アンティル総督「Pierre Belain d'Esnambuc」
1636年12月 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル総督代理「Pierre」(~1638年)
1636年12月7日 00:00|イギリス| |||<死去>10代エール伯「ウィリアム・ヘイ」
1636年12月7日 00:00|イギリス| |||<就任>11代エール伯「ギルバート・ヘイ」(~1674. 10死去)
1636年12月7日-08:00|中国| |||明・崇禎9年11月11日|<死去>董其昌、明末の文人・書画家(生年1555年)
1636年12月10日 00:00|イギリス| |||<死去>初代アントリム伯「ランダル・マクトネル」
1636年12月10日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代アントリム伯「ランダル・マクトネル」(⇒16440126初代アントリム侯~16830203死去アントリム侯爵廃絶)
1636年12月14日-09:00|日本|群馬県前橋市|寛永13年11月17日|<死去>上野厩橋藩152500石「酒井忠行」37歳⇒翌年1月4日、長男「酒井忠清」が継ぐ(弟「酒井忠能」に伊勢崎藩22500石を分与し10万石⇒延宝8(1680)年1月、上総久留里2万石を加増され15万石)
1636年12月15日 03:00|ブラジル| |||ラホ・ソ・タバリス、サンホセのイエズス会ミッションを襲撃
1636年12月21日-09:00|日本|愛媛県西条市|寛永13年11月24日|<分与立藩>伊予小松藩1万石「一柳直頼」(一柳直盛の遺領⇒正保2(1645)年4月28日、死去)
1636年12月21日-09:00|日本|愛媛県四国中央市|寛永13年11月24日|<分与立藩>伊予国川之江藩28600石「一柳直家」(5千石+父遺領のうち23600石⇒翌年、播磨小野藩23600石へ移転)
1636年12月22日-01:00|ドイツ| |||<即位>ドイツ王「フェルディナント3世」フェルディナント2世の息子(⇒16370215皇帝~16570402)
1636年12月27日-08:00|インドネシア| |||<死去>アチェ王国スルタン「イカンダール・ムタ」
1636年12月27日-08:00|インドネシア| |||<即位>アチェ王国スルタン「イカンダール・サニ」(~16410215死去)
1636年12月27日-08:00|中国/韓国/朝鮮| |||清・崇徳1年12月|清太宗ハルジンが10万の兵を率いて鴨緑江を越えわずか5日目にソウルを蹂躪/丙子胡乱
1637年-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>アンボン島オランダ総督「Johan Ottens」(~1641年)
1637年-08:00|インドネシア/イギリス| |||<就任>バングラ大統領「ウィリアム・ジョンソン」(~1638年)
1637年-08:00|マレーシア| |||<即位>クランタン・スルタン国スルタン「ラジャ・サケティ1世」(~1649年)
1637年-07:00|ラオス| |||<死去>ランサン王「トーンカム」
1637年-07:00|ラオス| |||<即位>ランサン王「ビチャイ」(~1638年死去)
1637年-05:45|ネパール| |||<即位>マラ(Bhaktapur)国王「Naresha Malla」(~1644年)
1637年-05:30|インド| |||ウイジャヤナガル王国に対してタンジヤール等が反旗
1637年-03:00|スーダン| |||<死去>ダフル・スルタン国スルタン「スレイマン・ソロン」
1637年-02:00|ウクライナ| |||<死去>クリミア・ハン国ハン「イナエト・ギレイ」
1637年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティア公「パオロ・トナート」(~1639年)

1640迄 (2503件)

1637年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「スルタンザード・メフメト・パシャ」(~1640年)
1637年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス(総督)「Dervish Mehmed Pasha」(~1638年)
1637年-02:00|ウクライナ| |||<即位>クリミア・ハン国ハン「ハムデ・イル1世ギレイ」(~1641年死去)
1637年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定提督「Fernao Teles de Meneses」(~同年)⇒提督「Francisco de Almeida」(~1640年)
1637年-01:00|オーストリア| |||<即位>オーストリア大公「フェルディナント4世」(~1657年)ローマ皇帝フェルディナント3世
1637年-01:00|イタリア| |||<即位>モンフェッラート公(ゴンザーガ=ネヴェル家)カルロ1世[モンフェッラート侯フェデリコの孫](~1637年)
1637年-01:00|イタリア| |||サヴォイア公にマントヴァ公フェルディナントの庶子フランチェスコ・ジヤチント即位(-1638)
1637年-01:00|イタリア| |||ジェノヴァ総督コルシカ王に
1637年-01:00|スペイン/フィリピン| |||スペイン軍がミンダナオ島と、スール地方へ遠征
1637年-01:00|オランダ| |||ブレダはオランダ共和国によって管理(~1794年)
1637年 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール暫定首長「アントニオ・デ・イラス・ダ・フランカ」(3回目~同年)
1637年 00:00|カナ/オランダ/ポルトガル| |||オランダ、ポルトガルからエルミナを奪取
1637年 03:00|ブラジル/エクアドル| |||ティシュラがアマゾンを遡行し、ペレンからキまで往復
1637年 04:00|セントクリストファー・ネービス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地ネービス総督「ヘンリー・ハンクス卿」(~1638年)
1637年 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ミンゴ 総裁・総司令官「トミニゴ・デ・オリオ」⇒「ファン・デ・ビトリアン・イ・ウイモンテ・イ・ナバラ」(~1646年)
1637年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サンティアゴ 総督「ガブリエル・ペナルベル・アングロ」(~1639年)
1637年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューハンプシャー植民地アッパー・プランテーション総督「ジョージ・バーデット」(~1641年)
1637年 06:00|アメリカ| |||ニュー・イングランドでピーコット族と入植者が戦争/インディコットを指揮官とするマサチューセッツ軍、ピーコット族を壊滅に追い込む
1637年1月1日 04:00|トリニダード・トバゴ/オランダ/スペイン| |||オランダ植民地ニューウルシエンがスペインに破壊される
1637年1月10日-08:00|中国/韓国/朝鮮| |||ホタインの清軍が朝鮮へ侵攻し首都開城を包囲
1637年1月23日 03:00|ブラジル/オランダ| |||<就任>オランダ領ブラジル総督「評議員:ナッソー伯ヨハン・マウリッツ(大統領)/マティアス・ヤンセン・ファン・コイレ/ヨハン・ギッセル/アドリアン・ヤコブ・スゾーン・ファン・デル・デューセン(1642年没)」(~16440506)
1637年1月23日 03:00|ブラジル/オランダ/ポルトガル| |||オランダ軍、ババのたたかいでポルトガル軍を撃破
1637年1月26日-09:00|日本|兵庫県小野市|寛永14年|<移転>伊予川の江藩28600石「一柳直家」⇒播磨小野藩23600石(⇒寛永19(1642)年5月29日、死去)
1637年1月26日-08:00|中国| |||明・崇禎10年|<即位>ジュンガル・ホタイン「エルデニ・バートル」(~1653年、死去)
1637年1月26日-08:00|中国| |||明・崇禎10年|宗応星の「天工開物」が成る、中国の産業技術を集大成
1637年1月29日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|寛永14年1月4日|<分封>上野伊勢崎藩22500石「酒井忠能」父の遺領(〜寛文2(1662)年6月4日、信濃小諸3万石へ加増移封)
1637年2月2日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「バイラム パシャ」(~16380826)
1637年2月15日-01:00|トイ/オーストリア/イタリア/チェコ/クロアチア/スロベニア| |||<死去>神聖ローマ皇帝・イタリア王・トイ王・ボヘミア王・ハンガリー王・クロアチア王・オーストリア・シュタイアーマルク大公・インナーエスターライヒ公・ケルテン公・カルニオラ公「フェルディナント2世」
1637年2月15日-01:00|トイ/ハンガリー/オーストリア/イタリア/チェコ| |||<即位>神聖ローマ帝国皇帝・イタリア王「フェルディナント3世」兼ハンガリー王国国王「フェルディナント3世」兼オーストリア・シュタイアーマルク大公「フェルディナント4世」フェルディナント2世の三男(~16570402死去48歳)兼ボヘミア王「フェルディナント3世」(~1646年)
1637年2月20日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダのペイルベイ「ボシュナク・ムサ・パシャ」(3回目~16380223)
1637年2月24日-08:00|中国/韓国/朝鮮| |||朝鮮・崇徳2年1月30日|漢城(現ソウル)近郊の漢江岸の三田渡で、李朝の王仁祖(42)が、清の皇帝ホタイン(太宗)に臣下の礼を行う
1637年2月27日-09:00|日本|京都府京都市|寛永14年2月3日|<死去>本阿弥光悦(80)(誕生:永禄1(1558))江戸時代初期を代表する芸術家、寛永の三筆の一人
1637年3月 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領バミューダ 総督「トマス・チャドック」(~1640.11)
1637年3月1日 03:00|ブラジル/オランダ/ポルトガル| |||Baguoli(ナポリ人)の率いるポルトガルのポルトガル部隊、2週間の包囲戦のあと降伏。マウリッツはサンフランシスコ河口を30キロさかのぼったペネートに砦(マウリッツ砦)を建設
1637年3月7日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領ブラジル植民地総督「ウィリアム・ブラットフォード」(~16380605)
1637年3月10日-01:00|ポーランド/トイ| |||<死去>ポズナニ公「ボキスラフ12世社交公」
1637年3月27日-09:00|日本|福井県福井市|寛永14年3月|<加増>越前福井藩50万石「松平忠昌」+旧木本藩領25000石のうち2万石⇒52万5280石(⇒正保2(1645)年8月1日、死去)
1637年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエトロ・トシニ」「ジャンバティスタ・マリ」
1637年4月5日-09:00|日本|秋田県横手市|寛永14年3月10日|<死去>元老中・本多正純、配所の横手で/73
1637年4月12日-09:00|日本|東京都台東区|寛永14年3月17日|天海僧正が上野寛永寺で一切経の刊行を始める(〜慶安1.3.17完了)
1637年4月12日-09:00|日本|長野県長野市|寛永14年3月17日|<死去>信濃須坂藩10053石「堀直升」⇒長男「堀直輝」が継ぐ(⇒寛文9年7月8日(16690804)死去)
1637年4月15日 00:00|モロッコ| |||<就任>タンジール首長「サルティダス伯ロドリゴ・ロペス・ダ・シルヴェイラ」(~16430828)
1637年4月18日 06:00|アメリカ/スペイン| |||<就任>スペイン領ニューメキシコ総督「Luis de Rosas」(~1641年春)
1637年4月19日-02:00|リトアニア| |||<死去>リトアニア大元帥(首相)「クリストパス・ウイェシオフスキ」
1637年4月19日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア大元帥(首相)「アレクサンドラス・リウタウ・イカス・ラドビラ」(5.2まで代行~16540303)

1640迄 (2503件)

1637年4月30日-09:00|日本|福島県白河市|寛永14年閏3月6日|<死去>陸奥白河藩100700石「丹羽長重」⇒4月、三男「丹羽光重」が継ぐ(⇒寛永20(1643)年7月4日、陸奥二本松藩100700石に転封)
1637年5月2日-05:30|イェリシ| |||<死去>マイール王国(チヤ朝)国王「チャマ・ラジヤ6世」
1637年5月2日-05:30|イェリシ| |||<即位>マイール王国(チヤ朝)国王「ラジヤ・オヤ2世」(~16381008死去)
1637年5月17日 06:00|アメリカ/イェリシ| |||<再任>イェリシ領マチュセツ湾植民地総督「ジョン・ウインスロップ」(~16400513)
1637年5月26日-09:00|日本|福岡県柳川市|寛永14年4月3日|<交替>筑後柳河藩109200石「立花宗茂」隠居⇒養子「立花忠茂」が継ぐ(⇒寛文4(1664)年閏5月7日、隠居)
1637年6月-01:00|オランダ| |||デカルトがオランダで「方法序説」を出版
1637年6月-01:00|イタリヤ| |||マントヴァ・モンフェラート公のカロ1世死去。息子のカロ2世が後継
1637年6月 00:00|ガーナ/オランダ/ポルトガル| |||マリッツ、黒人奴隷確保のためアフリカ黄金海岸に部隊を派遣。ポルトガル奴隷貿易の拠点Sao Jorge da Mina(エルミナ)を奪取
1637年7月 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官代理「Juan Cornejo」(~1638.5)
1637年7月5日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|寛永14年5月13日|<死去>下野烏山藩25000石「堀親良」⇒嫡男「堀親昌」が継ぐ(次弟「堀親智」に3000石、三弟「堀親泰」に2000石を分与し2万石⇒寛文12(1672)年閏6月1日、信濃飯田2万石へ移封)
1637年7月13日-01:00|イタリヤ| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドーージェ「アゴスティーノ・パウル・イシニ」(~16390713)
1637年7月15日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・崇徳2年5月24日|朝鮮で明年号の使用停止
1637年7月16日-09:00|日本|長崎県平戸市|寛永14年5月24日|<死去>肥前平戸藩63196石「松浦隆信」⇒長男の「松浦鎮信」が継ぐ(⇒寛文4(1664)年、従弟松浦信貞に1500石を分与し平戸藩は61700石)
1637年7月25日-09:00|日本|群馬県富岡市|寛永14年6月4日|<死去>上野七日市藩1万石「前田利孝」⇒長男「前田利意」が継ぐ(⇒貞享2(1685)年4月27日、61歳で死去)
1637年8月1日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|寛永14年6月11日|<死去>日向国佐土原藩3万石「島津忠興」39歳⇒長男「島津久雄」が継ぐ(⇒寛文3(1663)年12月2日、死去)
1637年8月2日-09:00|日本|島根県松江市|寛永14年6月12日|<死去改易>出雲松江藩26万石「京極忠高」無嗣断絶
1637年8月6日 00:00|イェリシ| |||<死去>ベン・ジョンソン、イェリシの劇作家・詩人(生年1572年)
1637年8月11日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|寛永14年6月21日|<死去>備中足守藩2万5千石「木下利房」⇒9月、長男「木下利当」が継ぐ(~寛文元年12月28日(16620216)死去)
1637年8月29日 00:00|ガーナ/オランダ/ポルトガル| |||オランダ軍がサン・ジョルジュ・エ・ダ・ミサを占領
1637年9月1日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|寛永14年7月13日|<死去改易>大和高取藩25000石「本多政武」無嗣断絶
1637年9月19日 05:00|エクトル/スペイン| |||<就任>スペイン領北総督・総司令官・大審問院長「アロンソ・ペレス・デ・サラザール」(~1643年9月没)
1637年9月21日-01:00|ドイツ| |||<死去>ハッセン=カッセル方伯「ゲイルヘルム5世(不変伯)」
1637年9月21日-01:00|ドイツ| |||<就任>ハッセン=カッセル方伯「ゲイルヘルム6世(正義伯)」ゲイルヘルム5世の息子(~16630716死去)
1637年9月22日-01:00|イタリヤ/フランス| |||<死去>マントヴァ公・モンフェラート公「カロ1世」兼サヴェール公・ルテル伯「シャル3世」
1637年9月22日-01:00|イタリヤ/フランス| |||<即位>マントヴァ公・モンフェラート公「カロ2世・ゴンザーガ=ネグエリス」カロ1世の孫(~16650814死去)兼サヴェール公・ルテル伯「シャル4世」(~1659年譲位)マインス公
1637年10月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Kurshuncu Mehmed Pasha」(~1641年)
1637年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ルカ・マッジョ・ベルツィ」
1637年10月3日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永14年8月15日|江戸城本丸の造営が完成
1637年10月4日 00:00|イェリシ| |||<死去>初代クレア伯「ジョン・ホルズ」
1637年10月4日 00:00|イェリシ| |||<就任>2代クレア伯「ジョン・ホルズ」初代伯の長男(~16660102死去)
1637年10月5日 05:00|コロンビア/スペイン| |||<就任>ヌバゲラナ大統領・総督・総司令官「プラト」男爵マルティン・デ・サバド・ラ・ガリンド・デ・ゲスマン(~1645年12月)
1637年10月7日-01:00|フランス/イタリヤ| |||<死去>サヴォイア公「ヴィットーリオ・アメーオ1世」
1637年10月7日-01:00|フランス/イタリヤ| |||<即位>サヴォイア公「フランチェスコ・ジャン」(~16381004死去)マントヴァ公フェルディナントの庶子
1637年10月14日-01:00|イタリヤ| |||<死去>ガブリエッロ・キアブレラ、イタリヤの詩人(生年1552年)
1637年10月17日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永14年8月29日|マストリが長崎で殉教
1637年10月20日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李弘胄」(~16380823)
1637年10月24日 00:00|イェリシ| |||<死去>ノーリッチ伯「エドワード・デニー」
1637年10月28日 04:30|ベネチア/スペイン| |||<就任>スペイン領ベネチア総督「Ruy Fernandez de Fuenmayor」(~16440229)
1637年11月 03:00|ブラジル/オランダ/ポルトガル| |||オランダ西インド会社がブラジル北東部セルジッパ・デ・レイを占領(~12月)
1637年11月4日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メラ総督「Gabriel de Penalosa y Estrada」(~1648年)
1637年11月18日-01:00|ドイツ/イタリヤ/オーストリア/チェコ| |||<即位>神聖ローマ皇帝・イタリヤ王「フェルディナント3世」フェルディナント2世の子(~16570402死去、三十年戦争に敗北、ヴェストファーレン条約でイタリヤ王位の実権を事実上喪失)
1637年11月21日-02:00|フィンランド/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン王領フィンランド総督「パー・ブラーエ・ティル・ガイジングスホリ」(1回目~16400807)
1637年11月29日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「メンド・デ・ラ・クエバ・イ・ベナグアイデス」(~16401108)

1640迄 (2503件)

1637年12月 03:00|ブラジル/オランダ/ポルトガル| ||セアラの州都フォルタレサ、オランダ人に占拠される。ポルトガルはペリンを除くブラジル北半分の支配権を喪失

1637年12月5日-09:00|日本|京都府京都市右京区|寛永14年10月19日|嵯峨清凉寺火災

1637年12月11日-09:00|日本|長崎県島原市|寛永14年10月25日|<島原の乱>有馬村のキリシタンが中心となって天草四郎(益田四郎時貞、16歳)を一揆軍の総大将とし決起/代官所に強談に赴き代官・林兵左衛門を殺害

1637年12月15日-09:00|日本|熊本県天草市|寛永14年10月29日|肥後国天草のキリスト教徒が、島原一揆に応じて蜂起

1637年12月19日-09:00|日本|奈良県天理市|寛永14年11月3日|<死去>大和柳本藩1万石「織田尚長」⇒翌年3月7日、長男「織田長種」が継ぐ(⇒寛永20(1643)年9月8日、死去)

1637年12月23日 03:00|ブラジル| ||フランスコ・フェノ、サンタ・テレサのミッションを襲撃

1637年12月30日-09:00|日本|長崎県島原市|寛永14年11月14日|<島原の乱>一揆軍は本渡の戦いで富岡城代の三宅重利(藤兵衛、明智秀満の子)を討ち取った/一揆軍は唐津藩兵が籠る富岡城を攻撃、北丸を陥落させ落城寸前まで追い詰めたが本丸の防御が固く落城させることは出来なかった

1638年-08:00|インドネシア/イギリス| ||<就任>パンナム大統領「ジョエル・Pinson」(~1639年)

1638年-07:00|オース| ||<死去>ランサーン王「ビ・チャイ」

1638年-07:00|オース| ||<即位>ランサーン王「スリナ・ホ・ンサ」(~1694年死去)

1638年-06:30|ミャンマー| ||ビルマのタールン王が初の租税台帳を作成

1638年-05:30|インド/オランダ| ||<就任>オランダ領インド総督「アレント・ガ・テ・ニア」(2回目~1643年)

1638年-05:30|インド| ||<就任>ラージガル国支配者(ラウト)「モハン・シン」(~1697年)

1638年-05:30|インド| ||アーデル・シャヒー朝軍がウイジヤナガル王国へ侵入

1638年-05:00|パキスタン| ||<設立>カッタ国

1638年-04:00|ロシア| ||ロシアがホーヅ海に到達

1638年-03:00|イラク/トルコ| ||オスマン朝がバグダッドを奪回し、イラクを併合

1638年-02:00|ラトビア| ||<死去>ケルラント・ゼムガレン公国政府議長「マティアス・フォン・デア・レック」

1638年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Mustafa Pasha4世」(2回目~1639年)

1638年-01:00|アルジェリア/トルコ| ||<就任>アルジェのバシャ「シェイク・フェイン・ハ・シャ」(~1640年8月)

1638年-01:00|フランス| ||<就任>オマル公「Louis of Savoy」ヌール公(~16410916死去)

1638年-01:00|ポズニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ポズニア総督「シラフダル・メフメト・ハ・シャ」(~1639年)

1638年-01:00|フランス/スペイン/ハイチ| ||スペイン軍800名、フランス人の手薄な時期を狙い、トルテュ島に侵入。島の主要部を占領し山頂部に本拠を構える/フランス人は夜襲をかけスペイン軍を殲滅

1638年-01:00|オランダ/ポルトガル/スリランカ| ||ポルトガルがキャンディ王国を侵略。しかし、ラジャシンハ2世に包囲され壊滅。オランダが、トリンコマリとパツィカマを奪取し、ラジャシンハ2世に返還

1638年 00:00|イギリス| ||<死去>第7代アーガイル伯「アーチボルド・キャンベル」

1638年 00:00|イギリス| ||<就任>第8代アーガイル伯「アーチボルド・キャンベル」(⇒1641年初代アーガイル侯~16610527死去爵位剥奪)

1638年 00:00|セネガル/フランス| ||フランス商人がセネガル河口に拠点を建設

1638年 03:00|ブラジル/オランダ/ポルトガル/スペイン| ||オランダによって占領されていたブラジルの砂糖生産地域を奪還するために派遣されたスペイン・ポルトガル連合艦隊が敗北

1638年 04:00|アンティグア・ババーター/イギリス| ||<就任>アンティグア総督「ヘンリー・ハクス卿」(~1639年12月)

1638年 04:00|セントルシア/イギリス| ||<就任>イギリス領セントルシア総督「ユトリー」(~1640年8月)

1638年 04:00|バルバドス/イギリス| ||<就任>イギリス領バルバドス総督代理「ウィリアム・ホリー」(~1639年)

1638年 04:00|キュラソー/オランダ| ||<就任>オランダ植民地キュラソー指導者「Jacob Pietersz. Tolck」(~1641年)

1638年 04:00|マルティニーク/フランス| ||<就任>フランス領アンティル総督「Rene de Bethoulat de La Grange-Fromenteau」(~1639.2)

1638年 05:00|ハイチ/スペイン| ||スペインがトルトゥーガ島占領(~1639年)

1638年 06:00|アメリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領ニューハンプシャー植民地ロウアー・プランテーション総督「フランス・ノートン」(~1640年)

1638年 06:00|アメリカ/オランダ| ||<就任>オランダ領ニューネーデルラント指導者「ウィルム・キフト」(~16470927死去)

1638年1月-01:00|ルクセンブルグ/スペイン| ||<就任>スペイン領ルクセンブルグ総督兼総司令官代行「モッテリー・伯クロード・ド・ラノイ」(~同年)

1638年2月3日-09:00|日本|長崎県島原市|寛永14年12月20日|(10日及び)<島原の乱>板倉重昌に率いられた九州諸藩による討伐軍は原城を包囲して再三攻め寄せ、に総攻撃を行うがことごとく敗走させられた

1638年2月6日-09:00|日本|兵庫県たつの市|寛永14年12月23日|<再興>播磨龍野藩6万石「京極高和」(⇒明暦4(1658)年2月26日、讃岐丸亀6万石へ移封)

1638年2月14日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・順徳1年|<死去>莫朝(大越)第9代皇帝「光祖莫敬寛」

1638年2月14日-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・順徳1年1月|大越莫朝・順徳と改元(-1677)

1638年2月14日-09:00|日本|愛知県額田郡幸田町|寛永15年1月1日|<死去>三河深溝藩15000石「板倉重昌」島原の乱で戦死⇒翌年6月、長男「板倉重矩」が継ぐ(弟重直に5千石分与し1万石、藩庁を深溝から中島へ移転)

1638年2月14日-09:00|日本|東京都|寛永15年1月1日|江戸などで100年に一度という暴風があり民家多数が倒壊

1638年2月14日-09:00|日本|長崎県島原市|寛永15年1月1日|<島原の乱>板倉重昌は再度総攻撃を行うが都合4,000人ともいわれる損害を出し、総大将の重昌は鉄砲の直撃を受けて戦死し、攻撃は失敗

1638年2月23日-01:00|ハンガリー/トルコ| ||<就任>ブダのバイエル・ペイ「タハ・ニヤ・メフメト・ハ・シャ」(~16390205没)

1638年2月27日-09:00|日本|千葉県佐倉市|寛永15年1月14日|<死去>下総佐倉藩4万石「松平家信」74歳⇒5月16日、次男「松平康信」が継ぐ((弟「氏信」「信忠」に2千石ずつ分与し36000石)⇒寛永17(1640)年9月28日、摂津高槻4万

1640迄 (2503件)

石に移封)

- 1638年3月22日-01:00|ドイツ| |||<死去>ホーエンツォレルン=ジグマリンゲン侯「Johann」
1638年3月22日-01:00|ドイツ| |||<就任>ホーエンツォレルン=ジグマリンゲン侯「Meinrad1世」(~16810130死去)
1638年3月23日-09:00|日本|千葉県館山市|寛永15年2月8日|<再興>安房北条藩1万石「屋代忠正」(⇒寛文2(1662)年4月24日、69歳で死去)
1638年3月23日-09:00|日本|千葉県南房総市|寛永15年2月8日|<拝領>安房三枝藩1万石「三枝守昌」(⇒寛永16(1639)年閏11月29日、死去。跡を継いだ「守全」が弟「勘兵衛頼増」に3千石を分知し旗本に降格)
1638年3月26日-09:00|日本|島根県松江市|寛永15年2月11日|<加増移封>信濃松本藩7万石「松平直政」⇒出雲松江藩18万6千石(⇒寛文6(1666)年2月3日、病死)
1638年3月27日-01:00|イタリア| |||イタリア・カラブリア地震(M6.9)、死者3万人
1638年3月28日-05:30|スリランカ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セイロン総督「アントニオ・マスカレニャス」(~1640年)
1638年3月29日 06:00|アメリカ/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン領ニュースウェーデン総督「ピーテル・ミヌイット」(~6.15)
1638年3月29日 06:00|アメリカ/スウェーデン| |||スウェーデンの南方会社、デラウェア川の岸沿いにニュースウェーデン植民地を建設(現代のウィルミントン周辺)
1638年4月-07:00|ベトナム| ||大越莫朝・順徳1年|<即位>莫朝(大越)第10代皇帝「明宗莫敬宇(莫敬完)」(~1677.9)
1638年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「クラウデ・イオ・ベルツィ」「ヒュー・レオネ・コルベッリ」
1638年4月1日 00:00|イギリス| |||<死去>第2代マルバウ伯「ヘンリー・リー」
1638年4月1日 00:00|イギリス| |||<就任>第3代マルバウ伯「ジェームズ・リー」(~16650603死去)
1638年4月5日-09:00|日本|長崎県島原市|寛永15年2月21日|島原の乱、原城の一揆が幕府軍に攻勢をかけるが、撃退される
1638年4月7日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|寛永15年2月23日|<死去>薩摩藩(鹿児島城)72万8700石「島津家久」(生年1576年)⇒次男「島津光久」が継ぐ(⇒貞享4(1687)年7月、隠居)
1638年4月12日-09:00|日本|長崎県島原市|寛永15年2月28日|<島原の乱>老中・松平信綱率いる討伐軍は鍋島勝茂の抜け駆けにより総攻撃開始、諸大名が続々と攻撃、この総攻撃で原城は落城/天草四郎は討ち取られ、乱は鎮圧された
1638年4月14日-09:00|日本|東京都中央区|寛永15年3月|村山又三郎弟の村山左近が女形をはじめる/村山座
1638年4月15日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||ベルナルト公はドイツのラインフェルデンで皇帝軍に勝利をおさめ、皇帝軍は後退を続ける
1638年4月21日-09:00|日本|長野県松本市|寛永15年3月8日|<加増移封>武蔵川越藩35000石「堀田正盛」⇒信濃松本藩10万石(⇒寛永19(1642)年7月16日、下総佐倉11万石へ加増移封)
1638年5月5日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島総司令官「Luis Fernandez de Cordoba y Arce」(~1644年)
1638年5月6日-04:00|モリシャス/オランダ| |||<就任>オランダのモリシャス植民地司令官「コネリス・シモンズ・ゾーン・グーヤ」(~16391107)
1638年5月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン=ホンブルク方伯「フリートリヒ1世」
1638年5月9日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン=ホンブルク方伯「グー・イルヘルム・クリストフ」(~1669年退任)
1638年5月25日 03:00|ブラジル/オランダ| |||オランダ軍、サルバドル総攻撃に失敗し撤退
1638年5月25日-09:00|日本|佐賀県唐津市|寛永15年4月12日|<減封>肥前唐津藩12万5千石「寺沢堅高」⇒85000石(天草騒乱の責任⇒正保4年11月18日(16471214)、自殺無嗣断絶)
1638年5月25日-09:00|日本|長崎県島原市|寛永15年4月12日|<改易>肥前島原新田藩1万石「松倉勝友」宗家「勝家」に連坐
1638年5月25日-09:00|日本|長崎県島原市|寛永15年4月12日|<改易>肥前島原藩43000石「松倉勝家」天草騒乱の責任、切腹
1638年5月26日-09:00|日本|長崎県島原市|寛永15年4月13日|<移封>遠江浜松藩40000石「高力忠房」⇒肥前島原藩4万石(⇒明暦元(1655)年12月11日、死去)
1638年5月28日-09:00|日本|熊本県天草郡苓北町|寛永15年4月15日|<加増移封>備中国成羽藩35000石「山崎家治」⇒肥後富岡藩42000石(⇒寛永18(1641)年9月、讃岐国丸亀藩53000石に加増移封)
1638年5月29日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウケー国王「サイ」(~6.17)
1638年6月-04:00|レユニオン/フランス| |||サロモン・グー・ベールがフランス領宣言し、イル・サン・ポールと名付けた
1638年6月3日 00:00|イギリス| |||<死去>デヴオン伯「フランス・コートニー」
1638年6月3日 00:00|イギリス| |||<就任>デヴオン伯「ウィリアム・コートニー」(~17020801死去)
1638年6月4日-09:00|日本|埼玉県さいたま市岩槻区|寛永15年4月22日|<加増移封>下野鹿沼藩13000石「阿部重次」⇒武蔵岩槻藩59000石(⇒慶安元(1648)年7月18日、父の遺領をあわせて99000石)
1638年6月4日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|寛永15年4月22日|<立藩>上総大多喜藩1万石「阿部正能(正令)」祖父「正次」から分与(⇒慶安4(1651)年4月20日、叔父「重次」の遺領6千石分与され16000石)
1638年6月5日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領フロリダ植民地総督「トマス・ブレクス」(~16390603)
1638年6月6日-09:00|日本|愛知県西尾市|寛永15年4月24日|<加増移封>下野山川藩15600石「太田資宗」⇒三河西尾藩35000石(⇒寛永21(1644)年2月28日、遠江浜松藩35000石へ移封)
1638年6月6日-09:00|日本|茨城県つくば市|寛永15年4月24日|<死去>常陸玉取藩14000石「堀利重」⇒長男「堀利長」が継ぐ(弟・利直に2千石を分知し12000石⇒万治元(1658)年10月12日、死去)
1638年6月7日-09:00|日本|静岡県掛川市|寛永15年4月25日|<加増移封>美濃岩村藩2万石「松平乗寿」⇒遠江浜松藩36000石(⇒正保元(1644)年2月28日、上野館林藩6万石に加増移封)

1640迄 (2503件)

1638年6月9日-09:00|日本|岐阜県恵那市|寛永15年4月27日|<加増移封>三河伊保藩1万石「丹羽氏信」⇒美濃岩村藩2万石(⇒正保3(1646)年5月11日、死去)

1638年6月9日-09:00|日本|東京都品川区|寛永15年4月27日|徳川家光が沢庵を開山として、品川に東海寺創立

1638年6月13日-09:00|日本| ||寛永15年5月2日|幕府が諸大名に対し商船に限り500石以上の大船の建造を許可/将軍家光、諸大名に隣国出兵の禁を緩める

1638年6月15日 06:00|アメリカ/スウェーデン| ||<就任>スウェーデン領ニュースウェーデン総督「モン・ニルソン・クリンク」(~16400417)

1638年6月17日-06:30|ミャンマー| ||<即位>ムラウケー国王「ナラパティ」(~16451213)

1638年7月-01:00|イタリア/オランダ| ||イタリアの物理学者ガリレオ・ガリレイが「新科学対話」をオランダで出版

1638年8月1日-01:00|オランダ| ||<死去>ヨハム・ウテワール、オランダの画家・版画家(生年1566年)

1638年8月6日 00:00|イギリス| ||<死去>3代マリ伯「ジェームズ・ステュアート」

1638年8月6日 00:00|イギリス| ||<就任>4代マリ伯「ジェームズ・ステュアート」先代の息子(~16530304死去)

1638年8月10日-09:00|日本|新潟県村上市|寛永15年7月|<死去改易>越後村上藩10万石「堀直次」断絶

1638年8月26日-09:00|日本| ||寛永15年7月|仁勢物語が刊行

1638年8月27日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「サイヤル・メフメト・パシャ」(~12.24)

1638年8月28日-09:00|日本|東京都|寛永15年7月19日|松倉勝家:乱の責任を問われ、江戸の森家下屋敷で死罪

1638年8月28日-09:00|日本|長崎県島原市|寛永15年7月19日|<死去>松倉勝家、島原の乱の直接の原因となった肥前国島原藩藩主(生年1597年)

1638年9月7日-09:00|日本|栃木県栃木市|寛永15年7月29日|<死去>下野榎本藩28000石「本多政遂」⇒長男「本多犬千代」が継ぐ(~寛永17年5月13日(16400702)死去無嗣断絶)

1638年9月8日-09:00|日本|奈良県生駒郡斑鳩町|寛永16年8月1日|<死去>大和龍田藩4万石「片桐孝利」⇒弟「片桐為元」が継ぐ(絶家のところ領地を減らされて1万石相続⇒承応3(1654)年5月11日、44歳で死去)

1638年9月24日 00:00|イギリス/アメリカ| ||ユリウス暦:1638/9/14|ジョン・ハーヴァード 没/30歳(誕生:16071129)ハーヴァード大学創立基金の寄贈者

1638年10月-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・テ・クアマ、モ/モパ 総司令官「フランシスコ・デ・ソト・マイオール」(1回目~1639年)

1638年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ルビオ・ペリチェリ」「フェデリコ・トシーニ」

1638年10月4日-01:00|イタリア/フランス| ||<死去>サヴォイア公「フランチェスコ・ジヤント」

1638年10月4日-01:00|イタリア/フランス| ||<即位>サヴォイア公「カルロ・エマヌエーレ2世」(~16750612死去)

1638年10月5日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|寛永15年8月28日|<死去>荒木又右衛門(41) 剣客

1638年10月8日-05:30|インド| ||<死去>マイソール王国(ティヤ朝)国王「ラージャ・ティヤ2世」

1638年10月8日-05:30|インド| ||<即位>マイソール王国(ティヤ朝)国王「ナラサー・ラージャ1世」(~16590731死去)

1638年10月19日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「崔鳴吉」(~16400206)

1638年10月23日-01:00|ドイツ| ||<死去>ザクセン・ゴットルプ公・ザクセン・アイゼナハ侯「ヨハン・エルンスト」ザクセン・アイゼナハはザクセン・アルテンブルクとザクセン・バイマルで分割

1638年10月27日-09:00|日本| ||寛永15年9月20日|幕府がキリシタン禁止令を諸大名・旗本に重ねて布告し、密告者に褒賞を与える

1638年11月3日 05:00|パナマ/スペイン| ||<死去>パナマ大審問院総督・長官「エンリケ・エンリケス・デ・ソト・マヨール」

1638年11月3日 05:00|パナマ/スペイン| ||<就任>パナマ大審問院暫定総督・長官「アントニオ・ガレト・デ・レオン・エ・イレカス」⇒総督・長官「ニコ・デ・ラ・モッタ・サルメント」(~16420529没)

1638年11月13日 00:00|イギリス| ||<就任>スコットランド 大法官代理「ハミルトン侯」ジェームズ・ハミルトン」(~16410930)

1638年12月4日-09:00|日本| ||寛永15年10月29日|幕府薬園を品川・牛込に開く

1638年12月11日-09:00|日本|群馬県沼田市|寛永15年11月6日|<死去>上野沼田藩30000石「真田熊之助」⇒叔父「真田信政」が継ぐ(翌年6月2日5000石を末弟兵吉に分与し25000石襲封⇒明暦2(1656)年10月晦日、松代藩を相続)

1638年12月12日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永15年11月7日|<就任>老中「阿部重次」(~1651年4月20日)

1638年12月12日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永15年11月7日|<就任>老中「酒井忠勝」⇒大老(~明暦2年5月26日)

1638年12月12日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永15年11月7日|<就任>老中「土井利勝」⇒大老(~正保1年7月10日)

1638年12月19日-09:00|日本|千葉県鴨川市|寛永15年11月14日|<死去>安房東条藩1万石「西郷正員」⇒長男「西郷延員」が継ぐ(⇒元禄3(1690)年12月25日、隠居)

1638年12月23日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「ケンケシュ・カラ・ムスタファ・パシャ」(~16440131)

1638年12月24日-03:30|イラン/トルコ| ||オスマン朝のムタ4世が、サファヴィー朝からバグダードを奪還

1638年12月25日-09:00|日本|長野県飯山市|寛永15年11月20日|<死去改易>信濃国飯山藩3万石「佐久間安次」9歳、無嗣断絶

1638年12月25日-09:00|日本|兵庫県姫路市|寛永15年11月20日|<交替>播磨姫路新田藩4万石「本多政勝」宗家播磨姫路藩15万石を継ぐ⇒長男「本多勝行」が継ぐ(⇒寛永16(1639)年3月3日、大和国郡山新田藩4万石へ移封)

1638年12月25日-09:00|日本|兵庫県姫路市|寛永15年11月20日|<死去>播磨姫路藩15万石「本多政朝」⇒養子「本多政勝」が継ぐ(⇒寛永16(1639)年3月3日、大和国郡山藩15万石に移封)

1639年-08:00|インドネシア/イギリス| ||<就任>パシム大統領「ジョージ・Muschamp」(2期目~1640年)

1639年-06:00|ブータン| ||ンガワン・ナムゲルがブータンを統一しラマ教国家を樹立

1639年-05:30|インド| ||<就任>パシヤル国統治者(ラ)「ケフリ・シン」(~1696年)

1639年-04:00|ジョージア| ||<死去>イメレティ王「ジョージ3世」

1640迄 (2503件)

1639年-04:00|ジョージア| |||<即位>イメリ王「アレクサンドル3世」(~1660年死去)
1639年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ニコロ・リッポマーノ」(~1641年)
1639年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Gifteli Othman Pasha」(~1640年)
1639年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス・デ・クアマ、モノモタパ 総司令官「デ・イゴ・デ・バスコンセロス」(~1640年3月没)
1639年-02:00|ラトビア| |||<就任>ドン・タンゲンはピルテンと正式に合流
1639年-01:00|ポーランド| |||<就任>オレシツァ公「カレル・ベジフ」(~1647年)
1639年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「シャヒン・ハサン・パシャ」(~1640年)
1639年-01:00|モンテネグロ| |||<就任>モンテネグロ司教公「マルタリエ1世」(~1649年)
1639年-01:00|フランス/コスタリカ| |||フランス、エスパニョーラ島沖のトルトゥーガ島を奪回
1639年-01:00|フランス/ポルトガル| |||フランス軍がカタルーニャに侵入
1639年 00:00|イギリス| |||<就任>初代ナーク伯「ウィリアム・ハミルトン」(⇒16490309兼2代ハミルトン公・3代ケンブリッジ伯~16510912死去)
1639年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「ジェロニモ・カヴァルカンティ・デ・アルバ・カーキ」(~1640年)
1639年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地ネイビス総督「ジョン・ジエンクス」
1639年 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「ヘンリー・Hawley」(5期目~16400623)
1639年 04:00|シント・マルテン/スペイン| |||<就任>スペイン領シント・マルテン知事「Diego Guajardo Fajardo」(~1648年)
1639年 05:00|ハイチ/イギリス| |||<就任>イギリスのトルトゥーガ 総督「ロバート・フラット」(~1640年)
1639年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サティアゴ 総督「ジャシント セデーニョ・パスロブ」(1回目~1640年)
1639年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領セイロン植民地総督「ジョージ・フェンウィック」(~16441205コネチカット植民地に統合)
1639年 06:00|ホンジュラス/スペイン| |||<就任>コマカグア県総督「フランシスコ・デ・アビラ・イルゴ」(~1641年)
1639年 06:00|アメリカ| |||マサチューセッツ植民地で植民地初の郵便局が開設
1639年1月4日-09:00|日本|東京都墨田区|寛永15年12月|本行院日優江戸常泉寺境内に本行坊を創す
1639年1月5日-09:00|日本|千葉県船橋市|寛永15年12月2日|<死去改易>下総栗原藩16000石「成瀬之虎」5歳、無嗣断絶
1639年1月20日-02:00|トルコ| |||<死去>ムスタファ1世、元オスマン帝国第15代スルタン(生年1592年)
1639年1月20日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「トレ伯フェルナント・ド・セ・デ・マスカレニャス」(~10. 21)
1639年1月24日 06:00|アメリカ| |||アメリカのコネチカット植民地ハートフォードで、近代民主主義思想が成分化された「コネチカット基本法」が制定される
1639年1月29日-01:00|スペイン| |||<死去>第5代アルバ公「アントニオ・アルバ・レス・デ・トレ・イ・ベ・アウメント」
1639年1月29日-01:00|スペイン| |||<就任>第6代アルバ公「フェルナント・アルバ・レス・デ・トレ・イ・メンドーサ」先代の子(~1667年)
1639年2月-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダット・ワリス「キチュク・ハッサン」(1回目~5月)
1639年2月 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユースティウス司令官「Pieter Gardijn」(~1641年)
1639年2月 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領アンティル総督「Philippe de Longvilliers」(1期目~1645. 11)
1639年2月3日-09:00|日本|大分県豊後高田市|寛永16年|<移転>豊前国竜王藩37000石「松平重直」⇒豊後高田藩37000石(高田城に本拠を移す⇒寛永19年11月28日(16430118)死去)
1639年2月3日-08:00|中国| ||明・崇禎12年|<即位>ヤルカント・ハン「アブドゥッラー・ジュンジャウッディーン・アフマド」, クライシュの従兄弟(~1667年)
1639年2月3日-08:00|中国| ||明・崇禎12年|明で徐光啓が「農政全書」を刊
1639年2月5日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<死去>ブダのベイルベイ「タハ・ニヤシ・メフメット・パシャ」
1639年2月5日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>ブダのベイルベイ「イブシム・ムスタファ・パシャ」(~16400219)
1639年2月7日-09:00|日本|埼玉県川越市|寛永16年1月5日|<加増移封>武蔵忍藩3万石「松平(大河内)信綱」⇒武蔵川越藩6万石(⇒正保4(1647)年7月5日、15000石加増され75000石)
1639年2月7日-09:00|日本|埼玉県行田市|寛永16年1月5日|<加増移封>下野壬生藩25000石「阿部忠秋」⇒武蔵忍藩5万石(⇒正保4(1647)年7月5日、1万石加増され6万石)
1639年2月16日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|寛永16年1月14日|<加増移封>下総矢作藩1万石「三浦正次」⇒下野壬生藩25000石(⇒寛永18年10月27日(16411129)死去)
1639年3月2日-09:00|日本|千葉県富津市|寛永16年1月28日|<拝領>上総佐貫藩15000石「松平勝隆」(⇒寛文2(1662)年9月、隠居)
1639年3月5日-09:00|日本|埼玉県川越市|寛永16年2月|喜多院多宝塔完成
1639年3月9日 00:00|イギリス| ||ユリウス暦2月27日|イングランドとスコットランドの第1次主教戦争が始まる
1639年3月16日-09:00|日本|静岡県掛川市|寛永16年2月12日|<死去>遠江掛川藩4万石「松平(桜井)忠重」⇒長男「松平忠俱」が継ぐ(⇒同年3月3日、信濃飯山藩4万石に転封)
1639年3月30日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Radcliffe Gerard」(~7. 20)
1639年4月1日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン＝アルテンブルク公「ヨハン・フィリップ」
1639年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ヴィンチェンツォ・ロレンツォーニ」
1639年4月1日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝アルテンブルク公・ザクセン＝コーブルク公「フリードリヒ・ヴィルヘルム2世」(~16690422死去)
1639年4月4日-09:00|日本|東京都台東区|寛永16年3月|<焼失>寛永寺五重塔⇒直ちに再建
1639年4月6日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|寛永16年3月3日|<移封>播磨明石藩7万石「松平(戸田)光重」⇒美濃国加

1640迄 (2503件)

納藩7万石(⇒寛文8年7月30日(16680906)死去)
1639年4月6日-09:00|日本|静岡県掛川市|寛永16年3月3日|<加増移封>播磨姫路新田藩5万石「本多忠義」⇒遠江掛川藩7万石(⇒正保元(1644)年3月8日、越後村上藩10万石へ加増移封)
1639年4月6日-09:00|日本|長野県飯山市|寛永16年3月3日|<移封>遠江掛川藩4万石「松平忠俱」⇒信濃飯山藩4万石(⇒元禄9(1696)年5月26日、大坂で病死)
1639年4月6日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|寛永16年3月3日|<移封>播磨姫路新田藩4万石「本多勝行」⇒大和国郡山新田藩4万石(⇒慶安3(1650)年6月11日、16歳で死去無嗣断絶、本家大和国郡山藩に収公)
1639年4月6日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|寛永16年3月3日|<移封>播磨姫路藩15万石「本多政勝」⇒大和国郡山藩15万石(⇒寛文11(1671)年10月30日、死去)
1639年4月6日-09:00|日本|兵庫県明石市|寛永16年3月3日|<加増移封>美濃加納藩5万石「大久保忠職」⇒播磨明石藩7万石(⇒慶安2(1649)年7月4日、肥前唐津藩83000石へ加増移封)
1639年4月10日-09:00|日本|大阪府大阪市|寛永16年3月7日|幕府が初めて大坂具足奉行を設置
1639年4月11日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>コネチカット植民地総督「ジョン・ヘインズ」(1期目~1640年)
1639年5月-03:00|イタリ/トルコ| |||<就任>パグ・ダット・ワリス「ダルク・イーシュー・ムハンマド・パシヤ」(~1642年)
1639年5月 04:00|刊/スペイン| |||<就任>刊総督「バティスタ侯爵フランシスコ・ロペス・デ・スニガ」(~1646年5月)
1639年5月2日-05:30|スリランカ/オランダ| |||オランダの侵攻が始まり、トリコマリが占領される
1639年5月17日-04:00|アルメニア/トルコ/イラン| |||<スハフ条約>アルメニアはペルシャ(東アルメニア)とオスマン帝国(西アルメニア)で分割
1639年5月17日-03:30|イラン/トルコ| |||オスマン朝とサファヴィー朝の間で、カス・シーリン和平条約が結ばれ、トルコとペルシャの国境が定められる
1639年5月18日-05:30|スリランカ/オランダ| |||オランダがパッティカワ占領
1639年5月20日-09:00|日本|兵庫県姫路市|寛永16年4月18日|<加増移封>大和郡山藩12万石「松平(奥平)忠明」⇒播磨姫路藩18万石(⇒寛永21(1644)年3月25日、死去)
1639年5月21日-01:00|フランス/イタリ| |||<死去>トマス・カンパネラ、亡命先のパリで(生年1568年)イタリアの聖職者、哲学者
1639年6月1日-01:00|ドイツ| |||<死去>メルカトル・フランク、ドイツの作曲家(生年1579年頃)
1639年6月3日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<再任>イギリス領フロリダ植民地総督「ウィリアム・ブラッドフォード」(~16440605)
1639年6月4日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ニューヘイヴン植民地総督「セオフィラス・イートン」(~16580107死去)
1639年6月12日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ケー伯「トマス・アースキン」
1639年6月12日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ケー伯「トマス・アースキン」(~1643年死去)
1639年6月15日-05:30|インド| |||<即位>ゴ・ラスタン「Tumamenang ri Papambatuna Sultan Malikussaid」(~16531105)
1639年6月24日-05:30|インド/ポルトガル| |||<死去>ポルトガル領インド総督「ペドロ・ダ・シルバ」
1639年6月24日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「ウイラ・フーカ・デ・アギアル伯アントニオ・テレス・デ・メネセス、コンデ」(~16400924)
1639年6月24日-09:00|日本| |||寛永16年5月23日|幕府が奢侈の者の処罰令を布告
1639年6月28日-01:00|クロアチア| |||<死去>クロアチア・ダルマチアのパン「ジゲ・モント・グロ・エルデイ」
1639年6月28日-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ダルマチアのパン代行「ザグレブ司教ベネディクト・ウインコヴィッチ」(~16400710)
1639年7月5日-09:00|日本|岡山県高梁市|寛永16年6月5日|<加増移封>常陸下館藩25000石「水谷勝隆」⇒備中成羽藩5万石(⇒寛永19(1642)年7月、備中松山藩5万石へ移封)
1639年7月13日-09:00|日本|北海道|寛永16年6月13日|蝦夷駒ヶ岳が噴火、大津波により船100余艘が被害、内陸10里に至り700人が溺死。牛馬魚貝鳥傷亡無数。灰が一丈を埋め、また飛翔して松前、陸奥の空昼夜暗きこと2日。焦土海に入り島を生ず
1639年7月15日-09:00|日本|愛知県岡崎市|寛永16年6月15日|<移転>三河深溝藩15000石「板倉重矩」弟重直に5千石分与し1万石、藩庁を深溝から中島へ移転⇒三河中島藩1万石(⇒万治3(1660)年11月、1万石を加増し2万石)
1639年7月16日-01:00|フランス| |||フランスでヴァ・ニュ・ピエの反乱が始まる
1639年7月18日 00:00|カナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールド=コースト総裁「アレント・ジェイコブス・ヴァン・モンフォル」(~16410106)
1639年7月20日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「Foulkes Hunckes」(~1640年)
1639年7月20日-09:00|日本|石川県|寛永16年6月20日|<交替>加賀・能登・越中119.5万石「前田利常」隠居(次男「前田利次」に富山藩10万石、三男「前田利治」に大聖寺藩7万石を分封し102万5千石)⇒長男「前田光高」が継ぐ(⇒正保2年4月5日(16450430)死去)
1639年7月20日-09:00|日本|石川県加賀市|寛永16年6月20日|<分封立藩>加賀大聖寺藩7万石「前田利治」加賀前田家から(⇒万治3年4月21日(16600529)死去)
1639年7月20日-09:00|日本|富山県富山市|寛永16年6月20日|<分封立藩>越中富山藩10万石「前田利次」加賀前田家から(⇒延宝2(1674)年7月7日、死去)
1639年7月20日-09:00|日本|長野県長野市|寛永16年6月20日|<交替>信濃埴科藩17000石「真田信政」上野沼田領を相続⇒弟「真田信重」が嗣ぐ(⇒慶安元年2月23日(16480415)死去継子なく、宗家に返上)
1639年7月28日-01:00|イタリ| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドージェ「ジョヴァンニ・バチスタ・ド・ウラツ」(~16410728)
1639年7月29日-09:00|日本|新潟県五泉市|寛永16年6月29日|<拝領>越後安田藩3万石「堀直時」父堀直寄の遺領を分与(⇒寛永20(1643)年2月29日、死去)
1639年7月31日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永16年7月|江戸城内に紅葉山文庫設立(富士見亭御文庫を移す)
1639年8月4日-01:00|スペイン| |||<死去>フアン・ルイス・デ・アラゴン、スペインの劇作家(生年1581年)

1640迄 (2503件)

1639年8月4日-09:00|日本/ポルトガル| ||寛永16年7月5日|幕府、ポルトガル船の来航とキリスト教の厳禁を通達する(第5次鎖国令)

1639年8月12日-09:00|日本|茨城県筑西市|寛永16年7月13日|<拝領>常陸下館藩5万石「松平頼重」(水戸藩「徳川頼房」の長男⇒寛永19(1642)年5月28日、讃岐高松12万石へ)

1639年8月27日-09:00|日本| ||寛永16年7月28日|幕府が外国漂着民処分令を布告

1639年8月29日 00:00|イギリス| ||<死去>15代クロフォート伯「アレクサンダー・リンジー」

1639年8月29日 00:00|イギリス| ||<就任>16代クロフォート伯「ルトヴィック・リンジー」(~16440725剥奪)

1639年8月29日-09:00|日本|北海道松前郡松前町|寛永16年8月|島原の乱後の禁教令強化を受け松前藩、東部大沢において切支丹宗徒50人を処刑・斬首。西部日市村(一に比石に作り、のちの石崎村)において残党6人、千軒岳金山において50人斬首/この年処刑の宗徒、都合106人

1639年9月8日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永16年8月11日|江戸城本丸が大奥台所から出火して全焼

1639年9月15日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「アルバロ・デ・ルナ・イ・サルミェント」(~16470927)

1639年9月24日 03:00|ブラジル/ポルトガル| ||<ペルナンブコ奥地のオロコ族、ポルトガル軍を撃破。司令官アルフォンソ・アトルを殺害>

1639年9月27日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|寛永16年9月|<拝領>肥前蓮池藩52625石「鍋島直澄」(⇒寛文5(1665)年、隠居)

1639年9月30日-09:00|日本|滋賀県高島市|寛永16年9月4日|<加増>近江朽木藩1万石「朽木植綱」+1万石⇒2万石(⇒正保4年12月14日(16480108)、下野鹿沼藩25000石へ加増移封)

1639年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フルゲンツィオ・マッジョーニ」「アンニバレ・ロリ」

1639年10月1日-01:00|デンマーク| ||<就任>デンマーク王国執事代行「ヨルゲン・ウルン・ティル・アルスレフ」(~1640年5月)

1639年10月9日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||(~1640.8)ペンソルック伯の後継者ウオリック伯ロバート・リッチによりトバゴにイギリス入植(1642~1643、再度)

1639年10月18日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル王領西アフリカ総督「ペドロ・セザール・デ・メネセス」(1641年8月から、オランダの支配に反対してペンソ川、次にマッサンガノで~1645年)

1639年10月21日 03:00|ブラジル/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「ホセ・ド・スベラ・デ・アスコ・デ・マスカレニャス」(1回目~16400526)

1639年10月27日-09:00|日本|龍谷大学|寛永16年10月|西本願寺学寮設立

1639年10月28日-01:00|イタリア| ||<死去>ステファノ・ランデッィ、ローマの作曲家(生年1587年)

1639年10月29日-09:00|日本| ||寛永16年10月3日|諸国で牛疫が流行し、伊賀で6511頭が死ぬ

1639年11月2日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永16年10月7日|幕府、本丸殿舎全焼を受け、奥火之番を任命し表火之番と分ける、大奥防火体制強化

1639年11月4日 00:00|イギリス| ||<死去>2代ウィンチル伯「トマス・フィンチ」

1639年11月4日 00:00|イギリス| ||<就任>3代ウィンチル伯「ヘンリッ・フィンチ」(~1689年死去)

1639年11月7日-04:00|モリシャス/オランダ| ||<就任>オランダのモリシャス植民地司令官「エイトリアン・ヴァン・デル・ステル」(~1645年)

1639年11月10日-09:00|日本|東京都|寛永16年10月15日|幕府、奉書火消を専任化し初めて組織的な消火体制に、ただし町方対策は特になし

1639年11月21日 00:00|イギリス| ||<死去>第8代ケント伯「ヘンリー・グレイ」

1639年11月21日 00:00|イギリス| ||<就任>第9代ケント伯「アンソニー・グレイ」(~16431109死去)

1639年11月24日 00:00|イギリス| ||金星の太陽面通過をイギリス牧師ロックスが初観測

1639年11月26日 06:00|アメリカ/スペイン| ||<就任>スペイン領フロリダ植民地総督「タミアン・デ・ベガ・カストロ・イ・パルド」(~16450410)

1639年12月 04:00|アンティグア・バーブーダ/イギリス| ||<就任>アンティグア総督「ロランド・トンプソン」(~1640年)

1639年12月7日-09:00|日本|福岡県直方市|寛永16年11月13日|<死去>筑前東蓮寺藩4万石「黒田高政」28歳⇒甥「黒田之勝」が継ぐ(⇒寛文3(1663)年7月25日、死去)

1639年12月18日 05:00|ペルー/スペイン| ||<就任>ペルー副王「マヌエル侯爵ペドロ・アルバレス・デ・トレド・イ・レイグァ」(~16480920)

1639年12月19日-01:00|フランス| ||フランスの同盟者ザクセン・ヴァイマル大公ヘルンハルト、アルザスのブライザハを占領

1639年12月21日-09:00|日本|福井県福井市|寛永16年11月27日|越前で大地震があり、福井城が倒壊

1640年-08:00|インドネシア/イギリス| ||<就任>パトナム大統領「Aaron Baker」(1期目~1643.1)

1640年-08:00|インドネシア/スペイン| ||<就任>モルッカ諸島スペイン総督「Francesco Suarez de Figueroa」(~1642年)

1640年-08:00|インドネシア| ||<即位>ティモール・スルタン「Saidi」(~1657年)

1640年-08:00|インドネシア| ||マタラム王国:第3代アグンがジャワ島最東端ランバンガン制圧

1640年-07:00|カンボジア| ||<死去>カンボジア王国国王「アントン・レアチャ」

1640年-07:00|カンボジア| ||<即位>カンボジア王国国王「パドゥ・マラジャ」(~1642年1月死去)

1640年-05:30|スリランカ/ポルトガル| ||<再任>ポルトガル領セイロン総督「フィリペ・マスカレニャス」(2期目~1645年)

1640年-04:00|レユニオン/フランス| ||フランス人がレユニオンに上陸してフランス領と宣言

1640年-02:00|エジプト/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「ナッサム・ムスタファ・パシャ」(~1642年)

1640年-02:00|ギリシャ/イタリア| ||<就任>カンティニア王国総督「ミケーレ・フリオリ」(~1643年)

1640年-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Mehmed Pasha1世」(~1641年)

1640年-01:00|ドイツ| ||<就任>ザクセン・アイゼナハ侯「Albrecht」(~16441220死去、ザクセン・コータとザクセン・ヴァイマルで分割)

1640年-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領セウタ暫定総督「Francisco de Almeida」(~1641年)

1640迄 (2503件)

1640年-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン=コータ公「エルスト1世」(~16750326死去)
 1640年-01:00|ドイツ| |||エルベの東でプロシエンのフリードリヒ=ウイヘルムが即位
 1640年-01:00|オランダ/ポルトガル/スリランカ| |||オランダが、ゴールとコンボをポルトガルから奪取
 1640年-01:00|フランス| |||ギーズ公クロード・アンリ2世即位(~1664年6月2日)
 1640年-01:00|フランス/グアテマラ/マルティニーク| |||グアテマラ島、マルティニーク島でカリブ族先住民の反乱
 1640年-01:00|フランス| |||フランスがハバリア十字軍を企てるが失敗
 1640年 00:00|イギリス| |||<死去>6代バカン伯(妻の権利)「ジェームズ・アースキン」
 1640年 00:00|イギリス| |||<死去>初代アナンデイル伯「ジョン・マレー」
 1640年 00:00|イギリス| |||<就任>2代アナンデイル伯「ジェームズ・マレー」(~1658年死去アナンデイル伯爵位廃絶)
 1640年 00:00|イギリス| |||<就任>7代バカン伯「ジェームズ・アースキン」(~1664年死去)
 1640年 00:00|サントメ=プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地総督「Manuel Quaresma Carneiro」(~同年死去)⇒
 総督代理「Miguel Pereira de Mello e Albuquerque」(~1641年)
 1640年 00:00|セカール| |||<就任>フタ・トロ統治者(デナンケ・サティギ)「ホ・カル・タバカリ」(~1669年頃)
 1640年 00:00|モリタニア| |||<設立>トラルザ連邦(トラルザ首長国とも呼ばれる)
 1640年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ総督「ジョアン・セラン・ダ・クーニャ」(~1645年10月没)
 1640年 04:00|アンティグア=バ=プ=ータ/イギリス| |||<就任>アンティグア総督「ヘンリー・アシュトン」(~1652年)
 1640年 04:00|セントクリストファー=ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地ネイビス総督「ジェンキン・ロイド」⇒「ジョン・ミーケム」(~1641年)
 1640年 05:00|ジャマイカ/スペイン| |||<就任>スペイン領サティアゴ総督「フランシスコ=ラド=ロン=デ=セガマ」(~1643年)
 1640年 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>コネチカット植民地総督「エドワード・ホプキンス」(1期目~1641年)
 1640年1月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド総督「クリストファー=ワンデ=スフォード」(~16401203死去)
 1640年1月9日-09:00|日本|広島県福山市|寛永16年閏11月16日|<交替>備後福山藩101000石「水野勝成」隠居⇒嫡男「水野勝俊」が継ぐ(⇒承応4年2月21日(16550328)死去)
 1640年1月12日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ストラフォード伯「トマス=ウェントワース」(~16410512処刑爵位剥奪)
 1640年1月22日-09:00|日本|千葉県南房総市|寛永16年閏11月29日|<死去>安房三枝藩1万石「三枝守昌」55歳⇒子の「三枝守全」が継ぎ、弟「勤兵衛頼増」に3千石を分知し廃藩
 1640年2月6日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「洪瑞鳳」(~16410915)
 1640年2月9日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国第17代スルタン「ムラト4世」
 1640年2月9日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第18代スルタン「イブ=レヒム」先代の弟、14代アハメト1世の子(~16480808廃位~16480818殺害される)
 1640年2月11日-08:00|中国| |||明・崇禎13年1月20日|農民反乱の指導者李自成の軍が洛陽を占領
 1640年2月19日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>プダのペイルベイ「シータル=ムスタファ=パシャ」(~21日)
 1640年2月19日-09:00|日本|京都府八幡市|寛永16年12月28日|石清水八幡宮焼亡
 1640年2月21日-01:00|ハンガリー/トルコ| |||<就任>プダのペイルベイ「コムサ=パシャ」(~16440312)
 1640年2月22日-09:00|日本|長野県諏訪市|寛永17年|<交替>信濃高島藩32000石「諏訪頼水」隠居⇒子の「諏訪忠頼(忠恒)」が継ぐ(⇒明暦3(1657)年9月28日、63歳で死去)
 1640年2月25日-08:00|インド=ネア/オランダ| |||<就任>モルッカ諸島オランダ総督「Anthonij Caen」(~16420220)
 1640年3月-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク、ソファラ、リオス=テ=クマ、モ/モタハ総司令官「アントニオ=デ=フリト=パチョ」(~1641年)
 1640年3月5日-09:00|日本| |||寛永17年1月13日|幕府が旗本に倭約令を出す
 1640年3月8日 00:00|イギリス| |||<死去>初代クイーンズベリー伯「ウィリアム=ダ=グラス」
 1640年3月8日 00:00|イギリス| |||<就任>2代クイーンズベリー伯「ジェームズ=ダ=グラス」(~1671年)
 1640年3月13日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<就任>オランダ領セイロン指揮官「ウィルム=ジェイコブ=スゾーン=コスター」(~8.1死去)
 1640年3月13日-05:30|スリランカ/オランダ| |||オランダがゴール占領
 1640年4月 04:00|BES諸島/オランダ| |||サハ島はオランダ植民地(サハ)(セント=ユースティウス島に從属~18030117)
 1640年4月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「マルクアントニオ=ホ=ネッティ」「ジュリア=ノ=ベルツツ」
 1640年4月13日-09:00|日本|山形県米沢市|寛永17年2月22日|<米沢寛永17年の大火>1000戸以上延焼
 1640年4月17日 06:00|アメリカ/スウェーデン| |||<就任>スウェーデン領ニュー=スウェーデン総督「ピーテル=ホランデル=リッデル」(~1643.2)
 1640年4月23日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦4月13日|イギリス国王チャールズ1世が、11年ぶりに議会を召集する(短期議会)
 1640年5月-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事代行「クリスチャン=セハステッド=ティル=スト=ガート」(1回目~16430401)
 1640年5月-01:00|ポズニア=ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズニア総督「メフメト=パシャ」(~1641年12月)
 1640年5月 00:00|ポルトガル/スペイン| |||防衛の為に進駐してきたスペイン軍がカタルニャで略奪を働いたために、カタルニャで暴動が発生
 1640年5月3日 00:00|イギリス/インド| |||イギリスがマドラスに、聖ジョージ要塞を構築
 1640年5月13日 06:00|アメリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領マサチューセッツ総督「トマス=ダ=トリ」(~16410602)
 1640年5月15日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦5月5日|国王チャールズ1世が議会を解散
 1640年5月16日 04:00|ポルトリコ/スペイン| |||<就任>ポルトリコ知事兼提督「Agustin de Silva y Figueroa」(~1641年死去)
 1640年5月25日-09:00|日本|東京都千代田区|寛永17年4月5日|江戸城本丸が完成し、家光が西丸から移る
 1640年5月26日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ブラジル総督「モンタルヴァン侯爵ルイ=デ=マスカレンハス」(~16410416)
 1640年5月30日-01:00|オランダ| |||<死去>ピーテル=パウル=ルーベンス、フランドルの画家(62歳、15770628生)

1640迄 (2503件)

1640年6月3日 00:00|イギリス| |||<死去>サフォーク伯「セオフィラス・ハート」
 1640年6月3日 00:00|イギリス| |||<就任>サフォーク伯「ジェームズ・ハート」(~16880107死去)
 1640年6月7日-01:00|スペイン| |||バルセロナで国王軍と市民が戦闘となり、副王が殺害される
 1640年6月20日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島知事「John Greenhalgh」(~16510919死去)
 1640年6月23日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督「ヘンリー・Hunks卿」(~16410618)
 1640年6月23日-09:00|日本|沖縄県|寛永17年5月4日|<死去>琉球王「尚豊」51歳(誕生:天正18(1590))
 1640年7月2日-09:00|日本|栃木県栃木市|寛永17年5月13日以降|<移封>上総百首藩10500石「松平重則」⇒下野皆川藩10500石(⇒翌年12月27日、死去)
 1640年7月2日-09:00|日本|栃木県栃木市|寛永17年5月13日|<死去改易>下野榎本藩28000石「本多犬千代」無嗣断絶
 1640年7月6日 00:00|イギリス| |||<死去>エクセター伯「ウィリアム・セシル」
 1640年7月6日 00:00|イギリス| |||<就任>エクセター伯「デヴィッド・セシル」(~1643年死去)
 1640年7月6日-09:00|日本/ポルトガル|長崎県長崎市|寛永17年5月17日|使節ルイス・パ・エス・パ・チェコを乗せたポルトガル船1隻が、長崎に来航。貿易再開を求める
 1640年7月10日-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア・ダルマチアのバン「イワン3世」ゴロト・ラシュコヴィッチ(=ヤノス・トラスコヴィチ)「(~16460925)」
 1640年7月13日-01:00|オランダ| |||<就任>ネーデルラント連邦共和国フリースラント州総督「デ・イツ侯ウィレム・フレデリック」デ・イツ伯エルンスト・カミールの子(~16641031死去51歳)
 1640年7月22日-01:00|スペイン| |||<死去>アンソニア伯「Enric3世」
 1640年7月22日-01:00|スペイン| |||<就任>アンソニア伯「Lluís」(~1670年)
 1640年7月30日-09:00|日本|千葉県成田市|寛永17年6月12日|<拝領>下総高岡藩1万石「井上政重」(⇒寛永20(1643)年5月23日、3000石加増され13000石)
 1640年7月31日-09:00|日本|北海道|寛永17年6月13日|<北海道駒ヶ岳寛永17年噴火>(～7月初旬)昼ごろ、はげしい山鳴りの後に山頂部が崩壊、岩塊は折戸川をせき止め現在の大沼、小沼などの湖沼群を形成したが、一方、大規模な泥流が南東部の鹿部町海岸から内浦湾に流れ込み、湾全体に津波を広げた/津波は津軽海峡や十勝方面にも押し寄せ、松前藩の商船や昆布漁船など100隻あまりを流し、人家流失もあり、700余名が犠牲になった
 1640年8月-01:00|アルジェリア/トルコ| |||<就任>アルジェのバシャ「アブ・ジャマル・ユセフ・バシャ」(~1642年)
 1640年8月 05:00|ハイチ/フランス| |||<就任>フランスのタートル島総督「ルネ・ド・ボアト・ウフレ・エ・デ・レトル卿フランソワ・ルヴァスール」(~1652年7月没)
 1640年8月1日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<死去>オランダ領セイロン指揮官「ウィレム・ジェイコブ・スローン・コスター」
 1640年8月1日-05:30|スリランカ/オランダ| |||<就任>オランダ領セイロン大統領兼知事「ヤン・ティスローン・パヤート」(~16460324)
 1640年8月3日-09:00|日本|長崎県長崎市|寛永17年6月16日|幕府が、マカより貿易再開要請のため長崎に来航したポルトガル船を焼き、乗組員61人を処刑する(原因は3年前の島原の乱)
 1640年8月4日-09:00|日本|埼玉県川越市|寛永17年6月17日|焼失した川越の東照堂が完成/画家岩佐又兵衛の「三十六歌仙絵巻」が奉納される
 1640年8月14日-09:00|日本|大阪府岸和田市|寛永17年6月27日|<死去>和泉岸和田藩6万石「松平(松井)康重」⇒次男「松平(松井)康映」が継ぐ(甥「康朗」5千石、弟「康命」3千石、弟「康紀」2千石分知し5万石⇒同年9月、播磨山崎藩5万石へ移封)
 1640年8月18日-09:00|日本|京都府京都市|寛永17年7月2日|「嶋原遊郭」京・六条柳の遊郭が朱雀野に移転
 1640年8月18日-09:00|日本|千葉県野田市|寛永17年7月2日|<死去>下総関宿藩22700石「小笠原政信」⇒婿養子の「小笠原貞信」が嗣ぐ(⇒9月14日、美濃高須藩22777石へ移封)
 1640年8月20日 00:00|イギリス| |||<イングランドとスコットランドが第2次主教戦争>
 1640年8月22日-01:00|ドイツ| |||<死去>ナッサウ＝ヴァイルブルク伯「William Louis」
 1640年8月28日 00:00|イギリス| |||<ニュー・ハーンの戦い>清教徒革命で唯一の戦闘、スコットランド 盟約軍が英国に勝利
 1640年8月28日 07:00|メキシコ/スペイン| |||<就任>ヌエバ・イスパニア副王「ヒルヘナ侯・エスカナハ公デ・イコ・ロペス・パ・チェコ・カブレ・イ・ホバデージャ」(~16420610)
 1640年9月10日-01:00|リトアニア| |||<死去>ホーエムス・ガラ・ファト・ウツ伯「カスパー・ゲラフ・ツォー・ホーエンプス」
 1640年9月11日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|寛永17年7月26日|<減移封>讃岐高松藩17万1800石「生駒高俊」⇒出羽矢島藩1万石(家中内紛⇒万治2(1659)年6月16日死去)
 1640年9月11日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|寛永17年7月26日|<減移封>播磨山崎藩63000石「池田輝澄」⇒因幡鹿野藩1万石(家中内紛⇒寛文2(1662)年4月18日、死去)
 1640年9月15日-09:00|日本|北海道|寛永17年7月30日|蝦夷駒ヶ岳爆発。山頂が崩壊し噴火湾に流れ込み、津波を発生する。沿岸の住民700人以上が死亡
 1640年9月21日-01:00|フランス| |||<即位>アンジュ公「フィリップ1世」/兼オルレアン公、シャルトル公、アランソン公、ヌール公、モントペンスル公、シャテルロ公、サント＝ファルゲ・アウ公、ベ・アウ・レ・アウ公、ジョアンヴィル公、ト・ウロダン伯、モランティン伯、モルティン伯、バル＝サル＝セヌ伯、アウゲール子爵、ト・ムフロント子爵、コウシ侯、フォルム・ライ、メジエール侯、ベ・アウ・ワイス男爵、モンタルジ領主/フランス国王ルイ13世とアンヌ・ドートリッシュの次男(~16600202)
 1640年9月24日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド 総督「アヴェイラス伯ジョアン・ダ・シルバ・テロ・デ・メネズ」(~16451230)
 1640年9月25日-01:00|ドイツ| |||<死去>アレンベルク侯「フィリップ・カール」
 1640年9月25日-01:00|ドイツ| |||<就任>アレンベルク侯「フィリップ・フランツ」(⇒1644年、アレンベルク公~16741217死去)
 1640年9月30日-01:00|フランス| |||<死去>ギーズ公「シャルル1世」

1640迄 (2503件)

1640年9月30日-01:00|フランス| |||<即位>ギーズ公「アンリ2世」(~16640602死去)
1640年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャンバティスト・ベルツィ」
1640年10月9日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>ホーエムス・ガラ・ファトゥーツ伯「ヤコブ・ハンニバル2世」(~16460410没)
1640年10月25日-09:00|日本|大阪府岸和田市|寛永17年9月11日|<加増移封>摂津高槻藩5万石「岡部宣勝」⇒和泉岸和田藩58800石(⇒寛文元(1661)年10月27日、隠居)
1640年10月25日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|寛永17年9月11日|<移封>和泉岸和田藩5万石「松平(松井)康映」⇒播磨山崎藩5万石(⇒慶安2(1649)年8月12日、石見浜田藩5万石へ移封)
1640年10月27日-09:00|日本|奈良県奈良市|寛永17年9月13日|<加増>大和柳生藩1万石「柳生宗矩」+500石、続いて2000石加増⇒12500石(⇒正保3年3月26日(16460511)死去領土返上)
1640年10月28日-09:00|日本|岐阜県海津市|寛永17年9月14日|<移封>下総関宿藩22700石「小笠原貞信」⇒美濃高須藩22777石(⇒元禄4(1691)年7月26日、越前勝山藩22000石に移封)
1640年11月 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス領バミューダ総督「ウィリアム・セル大佐」(1期目~16410915)
1640年11月1日-09:00|日本|岡山県倉敷市|寛永17年9月18日|<死去>備中岡田藩10343石「伊東長昌」⇒長男「伊東長治」が継ぐ(⇒万治元(1658)年10月8日死去)
1640年11月8日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督代行「フランシスコ・デ・アヴェンタデーニョ・イ・バルデビエラ」(~12.13)
1640年11月11日-09:00|日本|大阪府高槻市|寛永17年9月28日|<加増移封>下総佐倉藩36000石「松平康信」⇒摂津高槻藩4万石(⇒慶安2(1649)年7月4日、丹波篠山5万石へ加増移封)
1640年11月11日-09:00|日本|千葉県野田市|寛永17年9月28日|<加増移封>遠江久野藩1万石「北条氏重」⇒下総関宿藩2万石(⇒正保元(1644)年3月18日、駿河田中藩25000石へ加増移封)
1640年11月13日 00:00|イギリス| |||ユリウス暦11月3日|エリザベス1世以後、新教(イギリス国教)を選択するスコットランドの王ジェームス1世、チャールズ1世の治政が続いていたが、専政の圧政に議会が反発し、この日から13年間の長期議会が始る
1640年11月15日-01:00|ドイツ| |||<死去>シャウエンブルク伯・ホシュタイン＝ビッセンベルク伯「オットー5世」ホシュタイン＝ビッセンベルク伯領はテンマーク王クリスチャン4世によりホシュタイン公国に併合)
1640年11月23日-09:00|日本|石川県加賀市|寛永17年10月10日|加賀大聖寺で地震/家屋の損壊多く、人畜に死傷が多かった
1640年11月25日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ知事「Jean Aubert」(~1643.9)
1640年12月1日-01:00|ドイツ/ホーランド| |||<死去>ブランデンブルク選帝侯・マルク伯「ゲオルク・ヴィルヘルム」
1640年12月1日-01:00|ドイツ/ホーランド| |||<即位>プロイセン公・ブランデンブルク選帝侯・マルク伯「フリードリヒ・ヴィルヘルム」ゲオルク・ヴィルヘルムの息子(1657年ホーランド王ヤン2世がミェシユから独立国家としてのプロイセン公国の完全な統治権を獲得~16880509死去68歳)
1640年12月1日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル国務長官「ミゲル・デ・パスコエロス・エ・ブリト」
1640年12月1日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「テオドシオ」(~16451027、ブラジル公に変更)
1640年12月1日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル国務長官「フランシスコ・デ・ルセナ」(~1642年)
1640年12月1日 00:00|ポルトガル| |||<即位>ポルトガル王「ジョアン4世」(~16561106死去)マヌエル1世の玄孫
1640年12月1日 00:00|ポルトガル/スペイン| |||スペインから派遣されていたポルトガル副王マルガリータ王女が、ポルトガルの貴族たちによって逮捕され、宮廷革命が成功、ポルトガルの独立を宣言
1640年12月3日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<死去>アイルランド総督「クリストファー・ワンデスフォード」
1640年12月3日-09:00|日本|奈良県高市郡高取町|寛永17年10月19日|<拝領>大和高取藩25000石「植村家政」(⇒慶安3(1650)年間10月23日、死去)
1640年12月13日 03:00|アルゼンチン/スペイン| |||<就任>リオ・デ・ラ・プラタ総督「ベンチュラ・ムヒカ」(~16410109)
1640年12月30日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿代行判事「デイルン男爵ロバート・デイルン/ウィリアム・パーソンズ卿」(~16410210)